

尾張の花  
月

11

375

5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

始



ふたりの花  
月

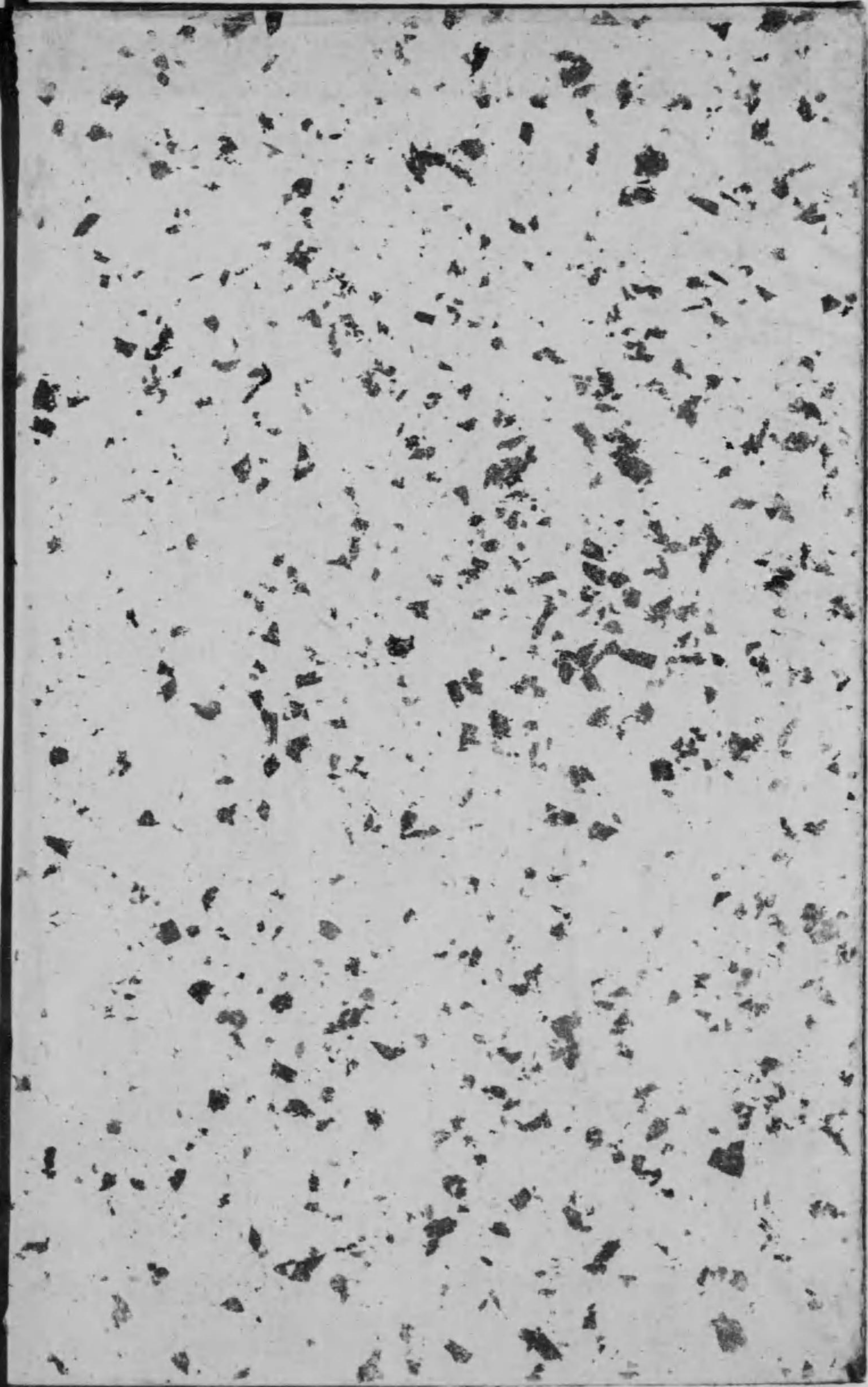
1/4  
375

30.10.25



古今  
集

大正  
9.9.10  
内交



ふ  
城

古瀬戸茶碗  
目録



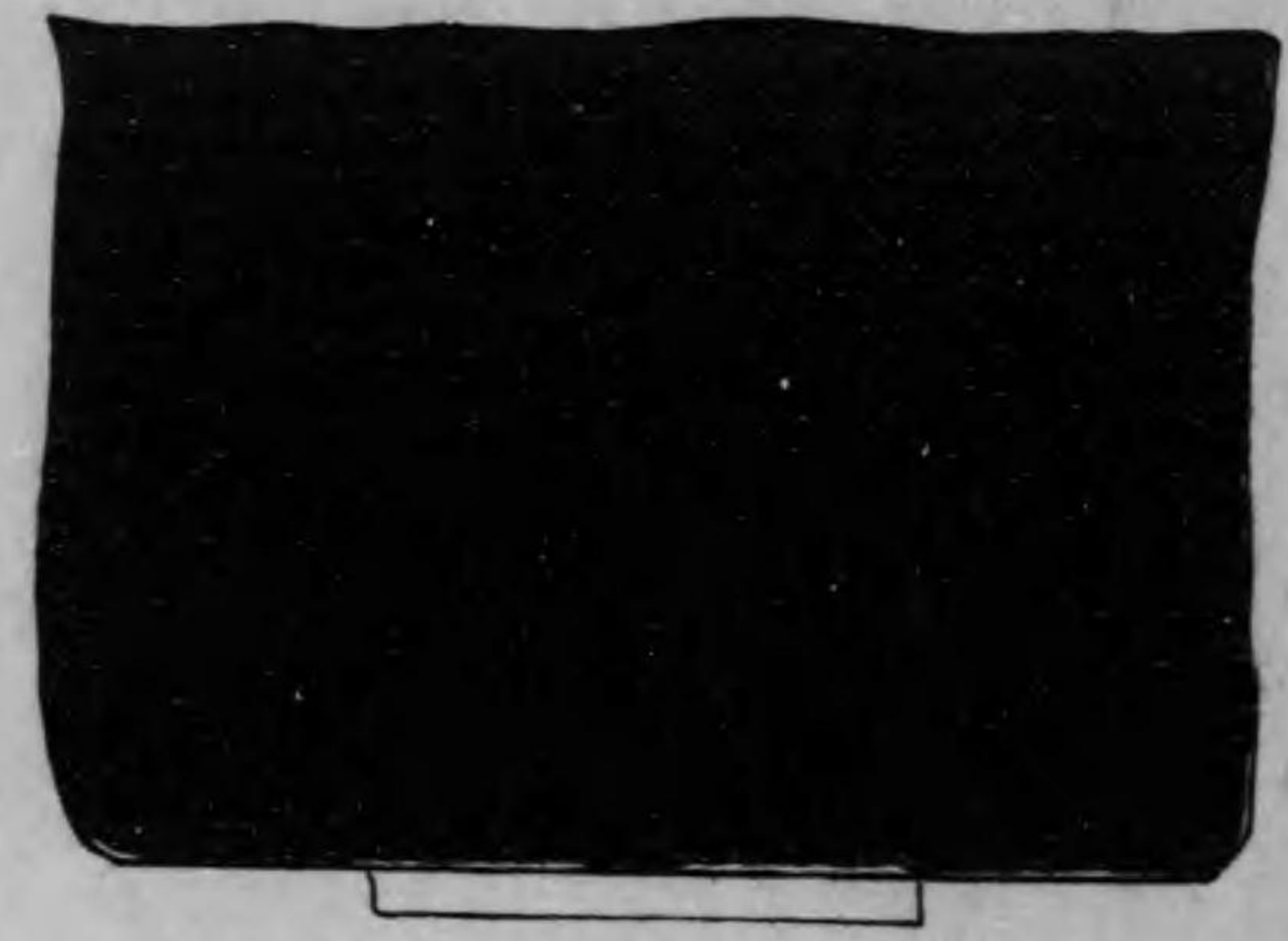
をり刺の花		月見巻		目録	
織部黒の茶碗	藤四郎作	古瀬戸(紺)茶入	半七作	一	二五
糸目茶入	俊白作	古瀬戸茶入	六兵衛作	二	二六
古瀬戸袖水指	藤四郎作	澁紙手茶碗	治兵衛作	三	二七
古瀬戸袖六角香合	市衛門作	志野袖茶碗		四	二八
古瀬戸(梅)三重袖水指	長十作	志野袖鶴子香合	平運郎作	五	三〇
古瀬戸袖茶入	茂右衛門作	古瀬戸袖茶入	密藏院用	六	三一
青袖流茶碗	新五衛門作	志野袖茶碗	佐右衛門作	七	三二
志野袖水指		青袖香爐	見心作	八	三四
古瀬戸(梅)三重袖水指	宇右衛門作	古瀬戸袖茶碗		九	三五
瀬戸黒茶碗	元藏作	瀬戸黒帽形茶碗		一〇	三六
澁紙手茶入	金九郎作	瀬戸黒花生		一一	三七
志野袖茶碗	文八作	古瀬戸菓子岩		一二	三八
古瀬戸袖茶入	友十作	梅形井	春古山作	一三	四〇
志野袖茶碗	佐助作	黄瀬戸茶碗	長手御簾用	一四	四二
瀬戸黒茶碗	八郎次作	尾州家御小納戸茶碗		一五	四四
		天長山茶碗		一六	四六
		地藏尊の像		一七	四八

青釉大水鉢	春宇作	五〇	古瀬戸茶入	源傳彦作	八二
黄瀬戸香爐	加藤善彦作	五二	萩山焼茶碗	源傳彦作	八三
黄瀬戸御神酒壺	磁祖良彦	五四	安南寫茶碗	陳元善作	八四
俵形青華磁茶碗	磁祖良彦	五六	祖母懷茶碗	尾州御庭燒	八六
瑠璃堂茶葉形手鉢	加藤善彦作	五八	馬の目皿		八九
弘法大師正像	加藤善彦	六〇	瀧見觀音	山田慶彦	九〇
黄瀬戸硯	甲訓書作	六二	志野茶碗	九郎作	九二
古瀬戸臼形火鉢	春乾作	六四	木之下冷花生	平澤良郎作	九五
柿茶碗	春山作	六六	御深井蓋置	布谷堂善彦作	九六
織部手鉢	秋二作	六七	黄瀬戸堅俵形置物	正木初代作	九七
織部菓子器	作助作	六八	瀬戸黒茶碗	正木氏作	九九
織部置燈籠	加藤善彦作	七〇	黒袖布袋香合	宗玄作	一〇〇
猿頭硯	加藤善彦作	七二	御深井首座形香合	水室長吉作	一〇一
カナク袖水次	加藤善彦作	七四	織部手鉢	春乾作	一〇二
俵形赤茶碗	春益作	七六			
御深井茶碗	見友彦作	七八			
蘭鉢		八〇			

在大利の花月巻目録終

織部黒の茶碗

慶長年間之作地質柔く器の内京一黒細光澤なき方



高 二寸一分五厘  
口 三寸七分  
底 一寸五分  
形状圖の如し

名古屋市梅川町島田某氏の所藏

系目藤四郎の茶入

二五基通作

名古屋の人島田某氏  
の法藏

其一



高 二寸九分  
口 一寸一分  
底 一寸二分五厘  
其他箇の如し

箱

系目藤四郎  
冬心願ト号  
心空庵

其二

外箱

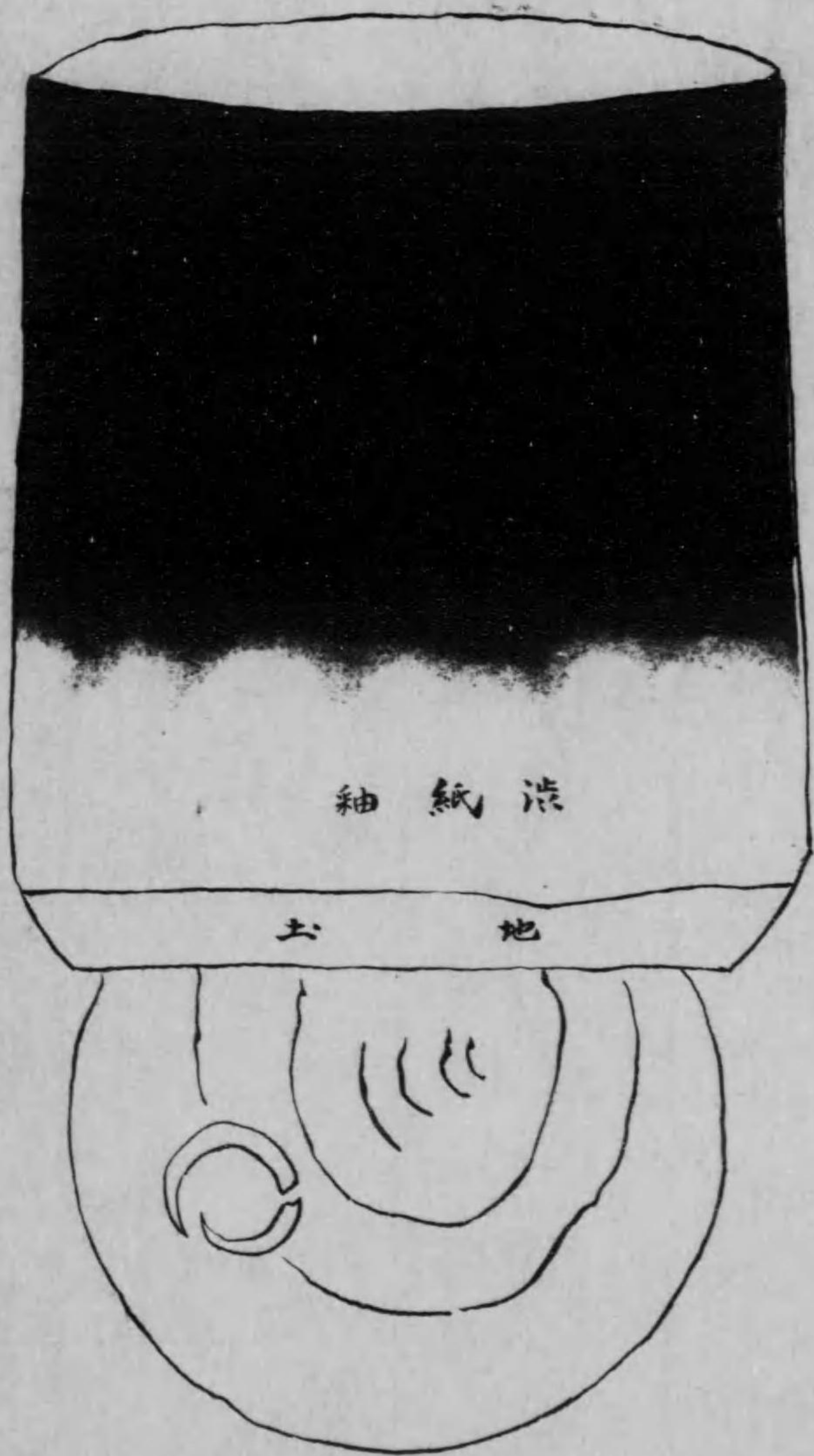
藤四郎二代目藤九郎他系目  
冬心願平尾敦也吉章心空庵  
書付出喉後口系目孤松ト古来  
ヨリニッ掛茶入ト由古法号  
冬心願秀孤堂

文政十二己臘月廿日書

子口庵

瀬戸の名工六作の一人俊白作古瀬戸釉の水指

東京府の人新田某氏の所蔵



箱の蓋の裏に

古瀬戸筒

水指

六十七番

九

新



蓋の寸法

高 四寸九分

口徑 五寸五分 樽田

胴廻 五寸三分

底 四寸九分

形状圖の如し

箱の底に

瀬戸水指

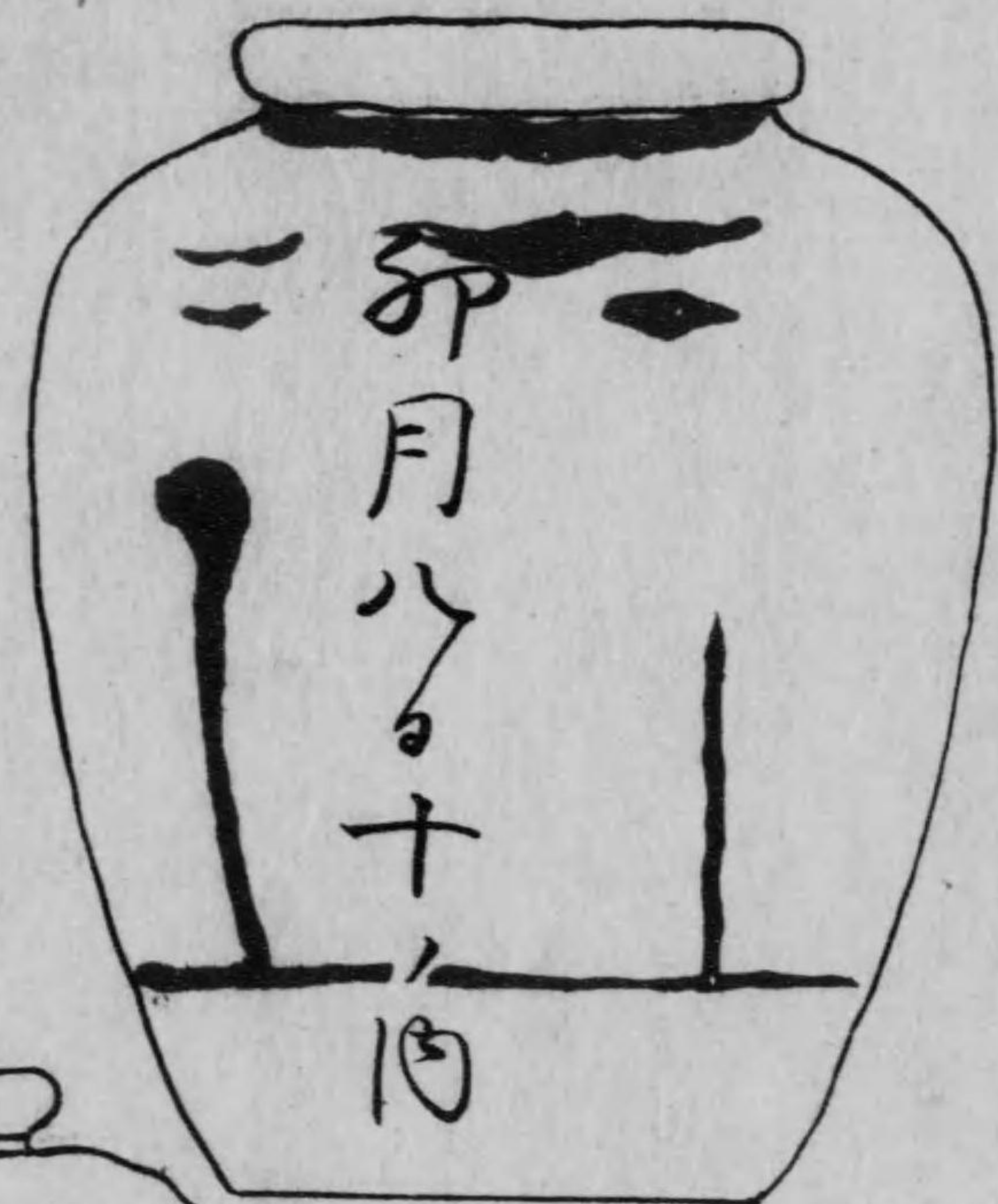
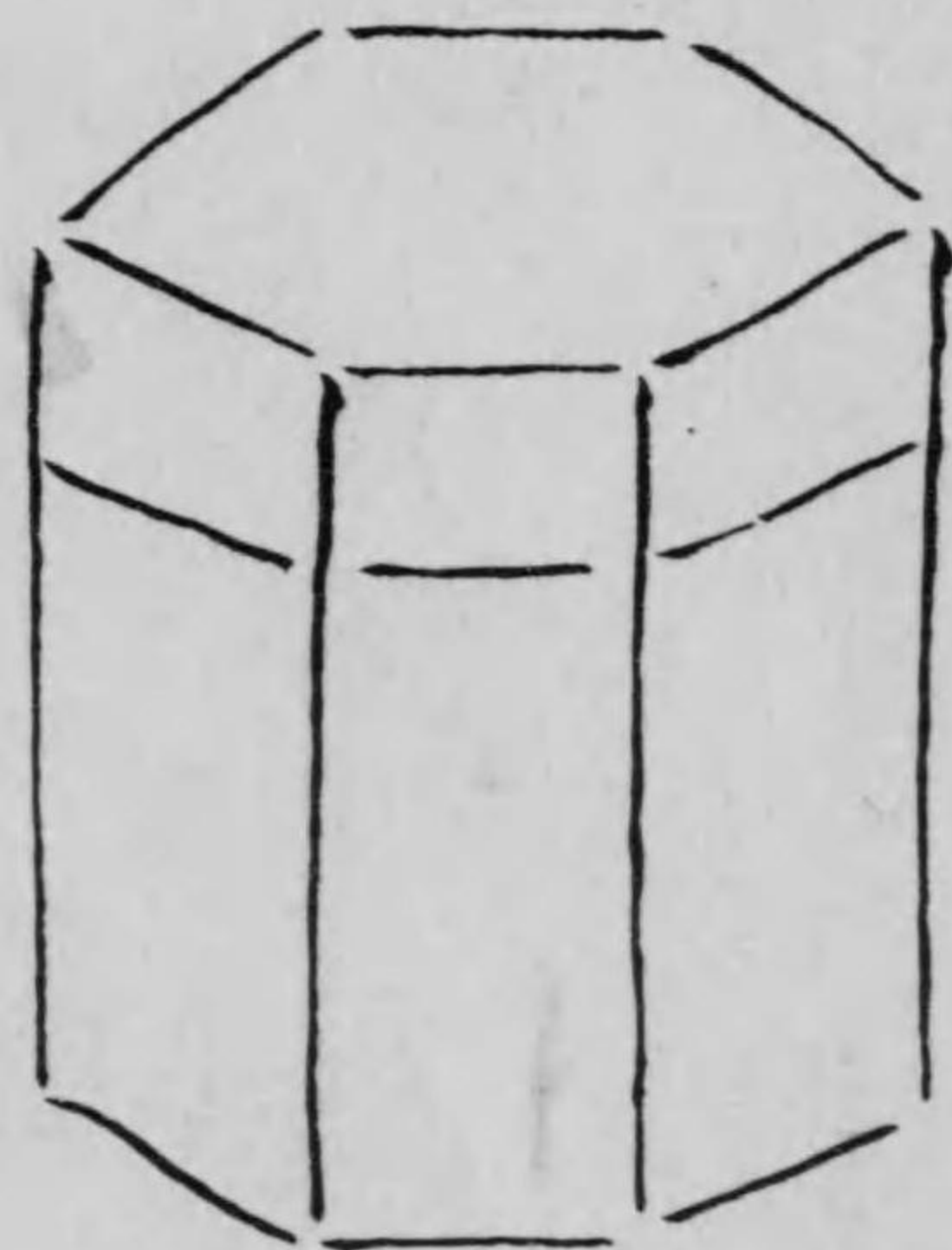
右名家六人之内

俊白此に在り也

入夜 四寸五分

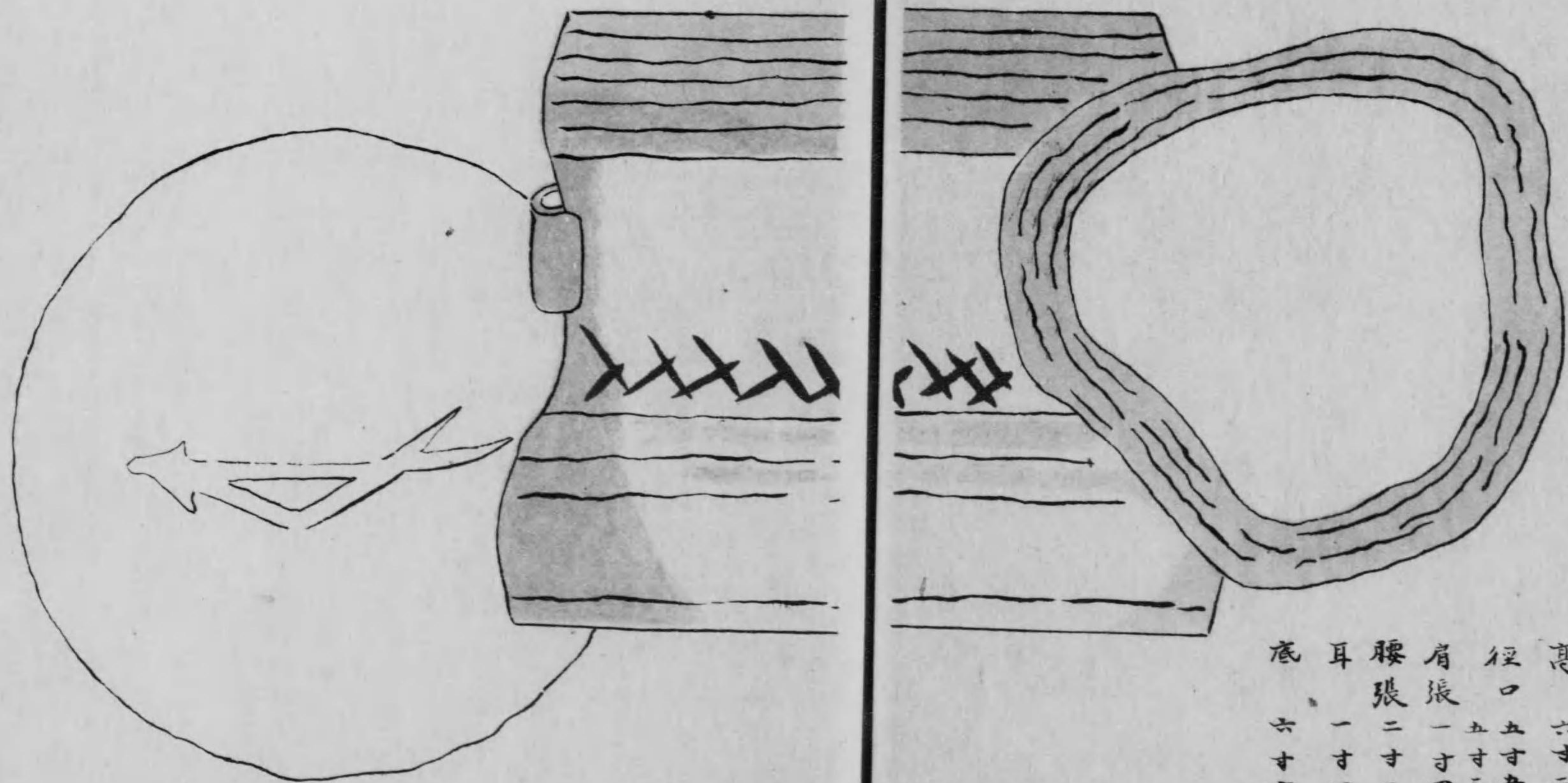
善 山 壽

瀬戸の名工六作の一人市右衛門作古瀬戸釉  
 六角の香合  
 形状寸法本圖の如し





瀬戸の名工六作の一人長十作古瀬戸細（堀の）の水指

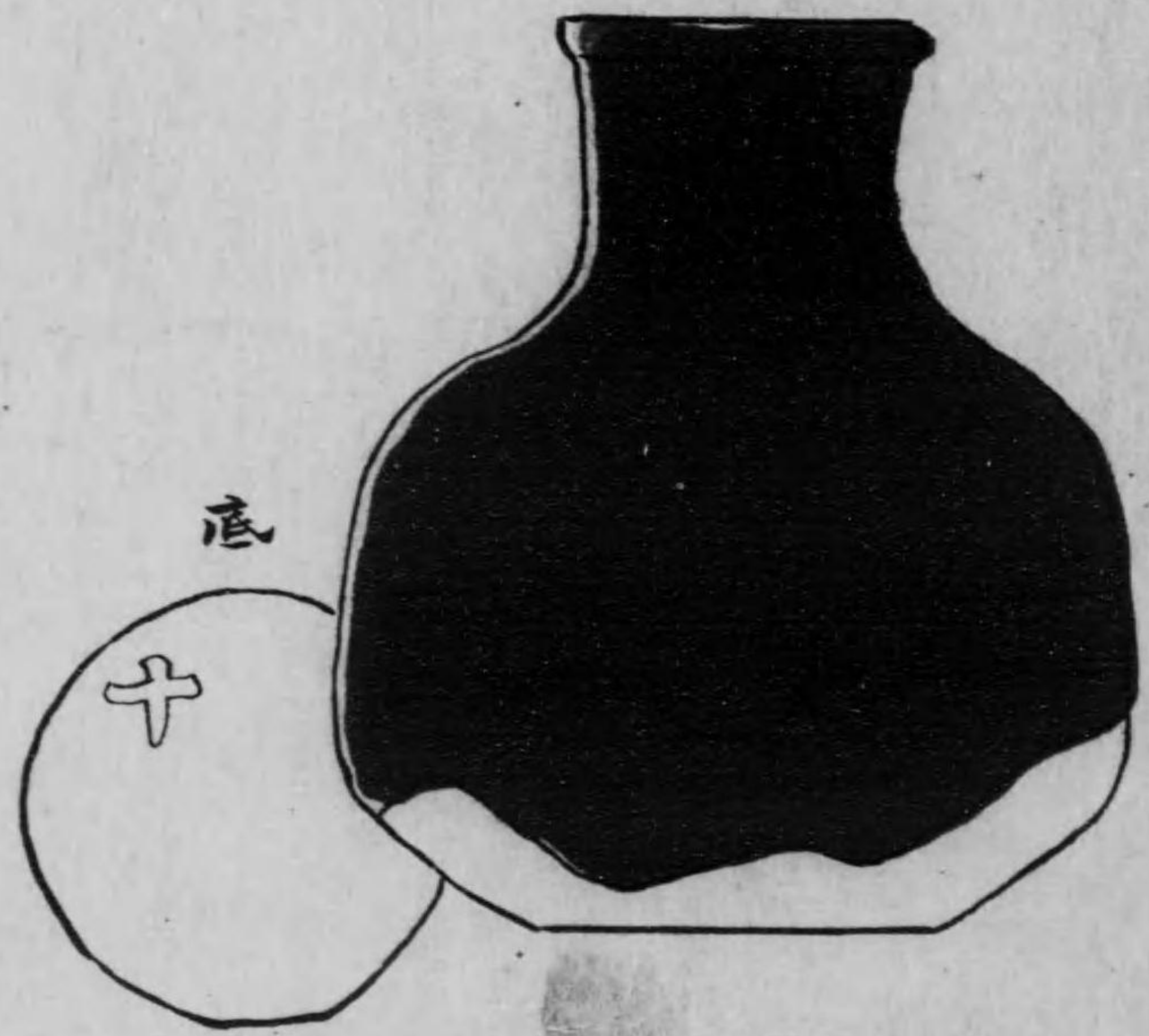


高 六寸二分五厘  
 径口 五寸五分五厘  
 肩張 一寸四分  
 腰張 二寸二分  
 耳 一寸一分  
 底 六寸六分

瀬戸の名工六作の一人茂右衛門徳菴作  
 古瀬戸細の茶入  
 箱三室戸産の筆

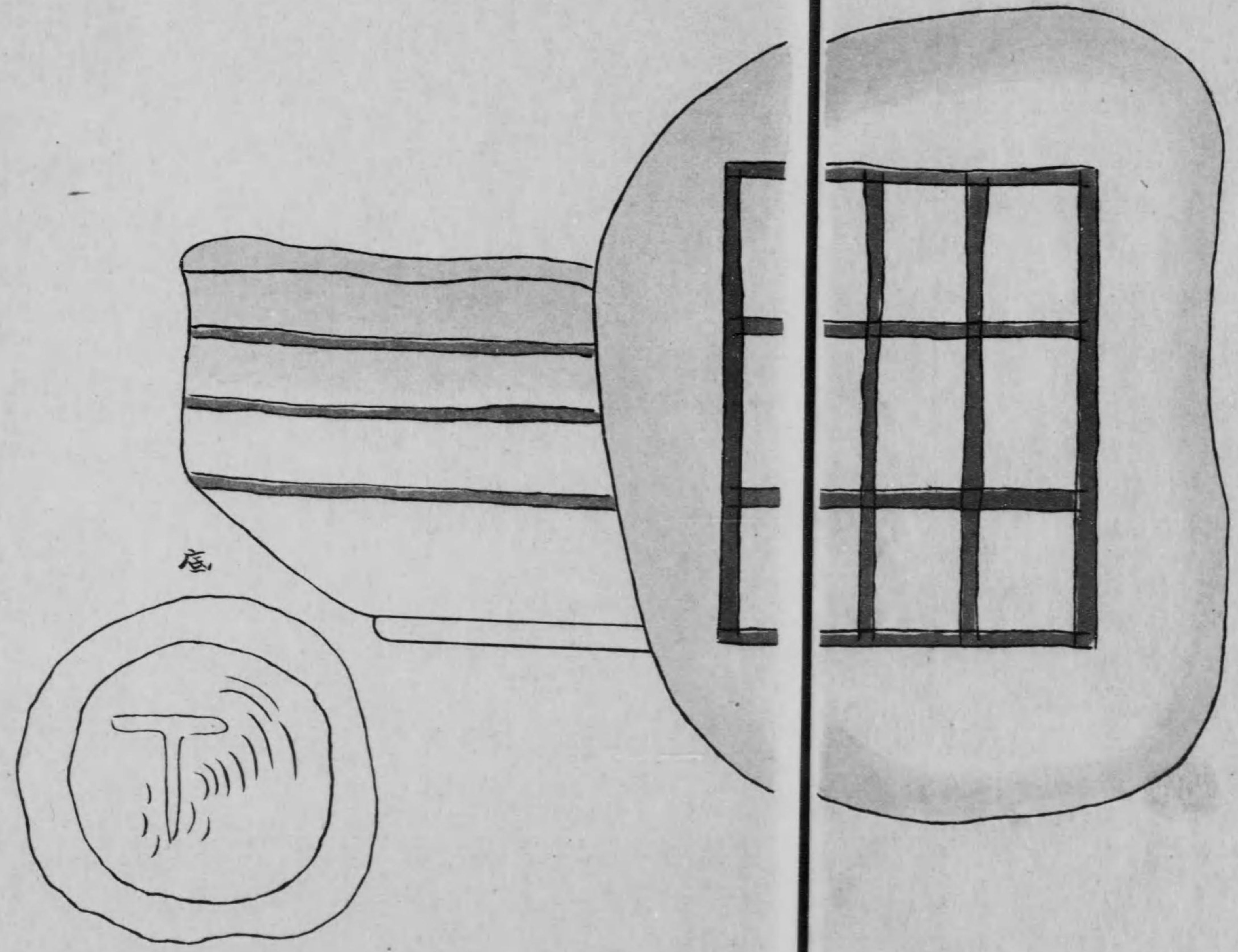


高 二寸六分  
 口 一寸  
 腰長 二寸二分五分  
 底 一寸一分  
 其他同の如し



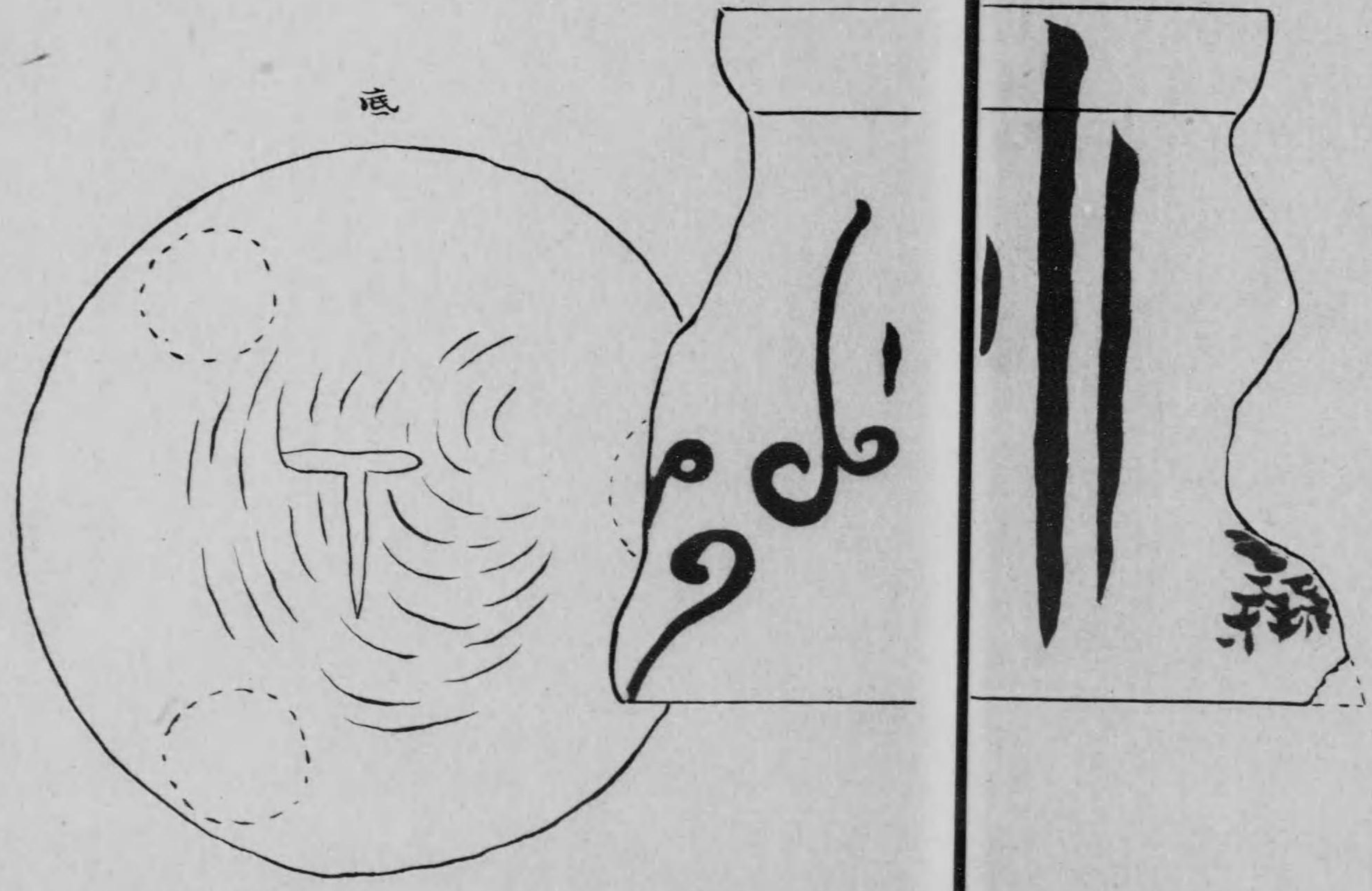
瀬戸の名工六作の一人新兵衛の作青釉沱の  
茶碗

高二寸二分  
径四寸六分  
底二寸一分  
其他圖の如し



瀬戸の各工六作の一人新兵衛作志野袖の水指

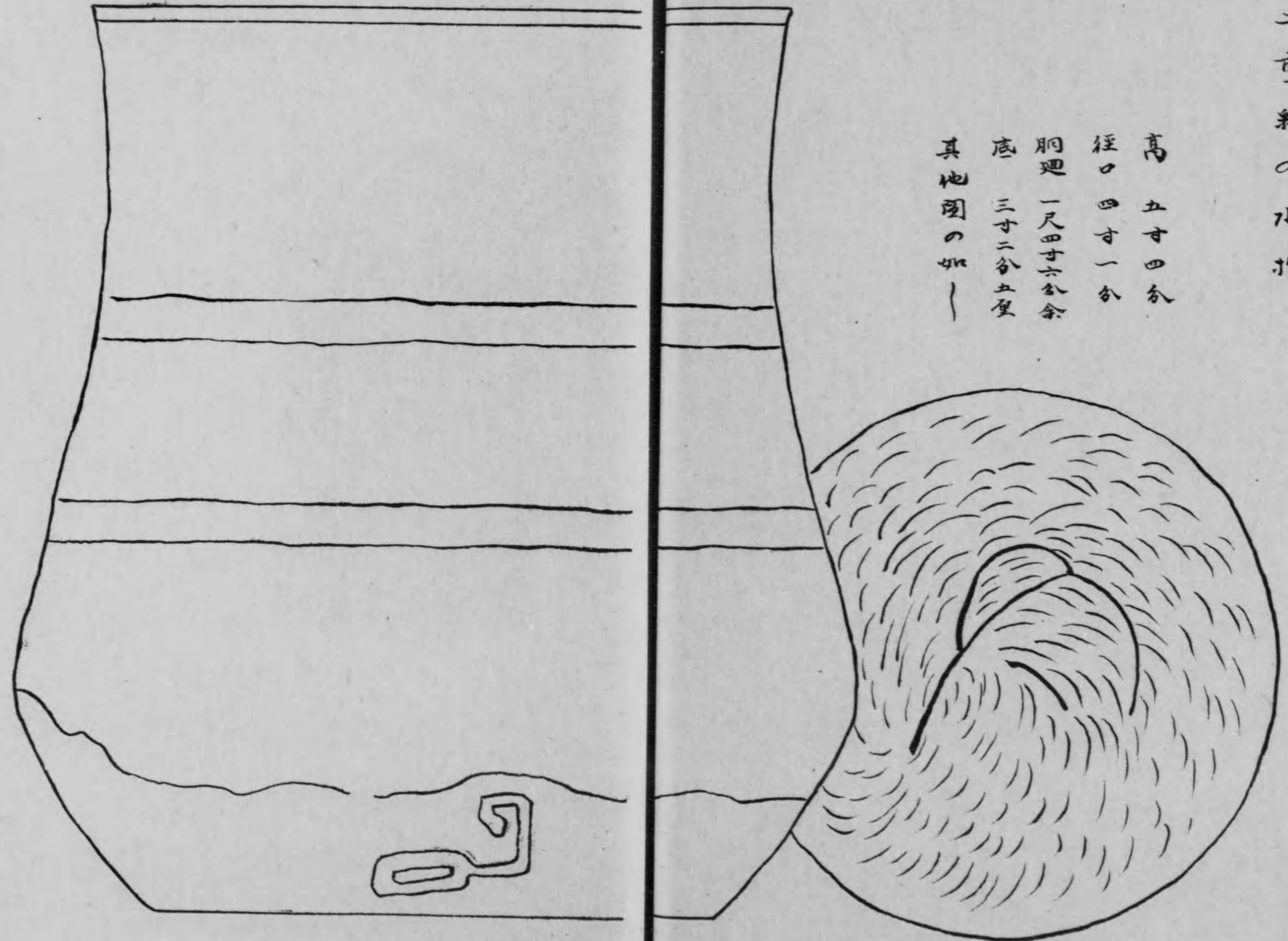
高 六寸五分  
 径口 四寸六分  
 底 六寸五分  
 其他圖の如し



底

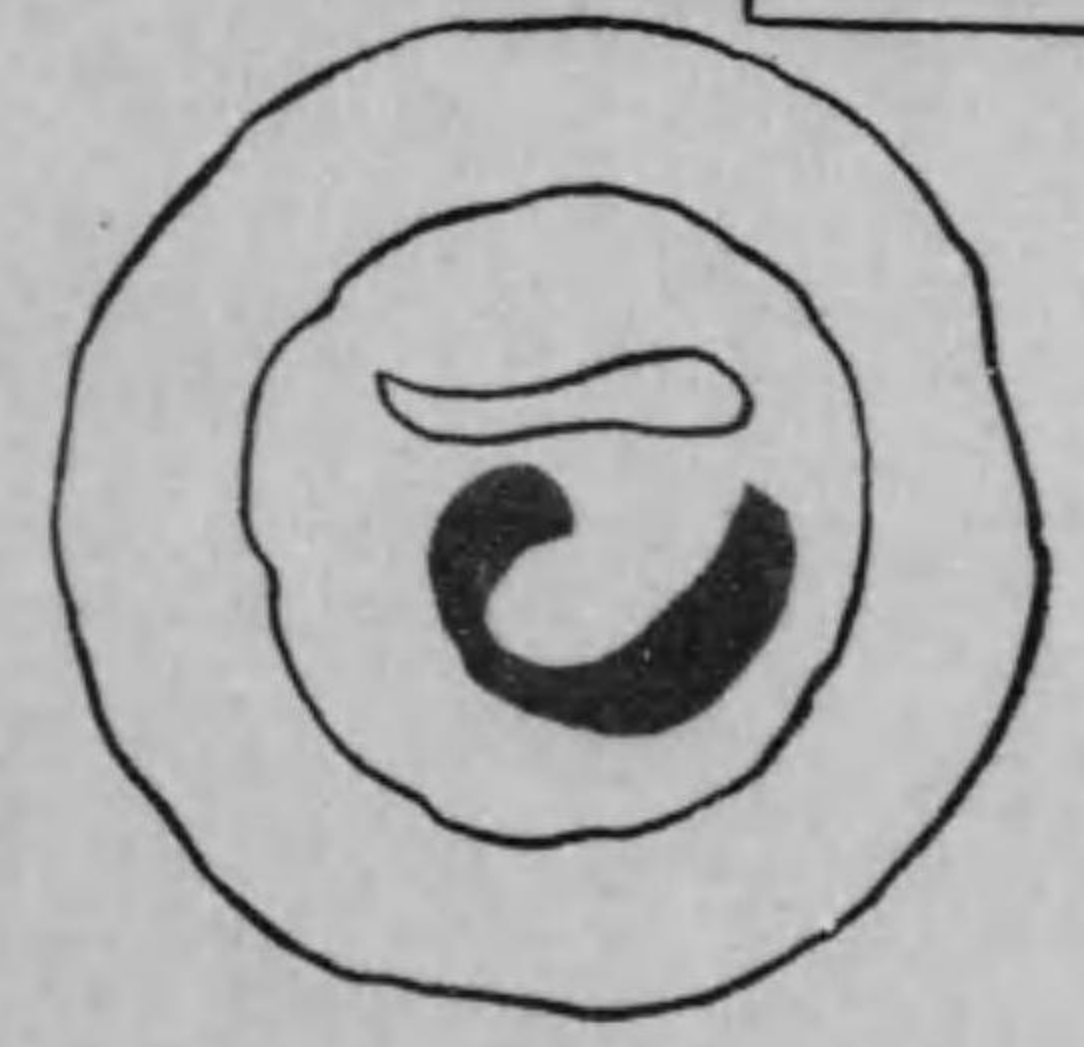
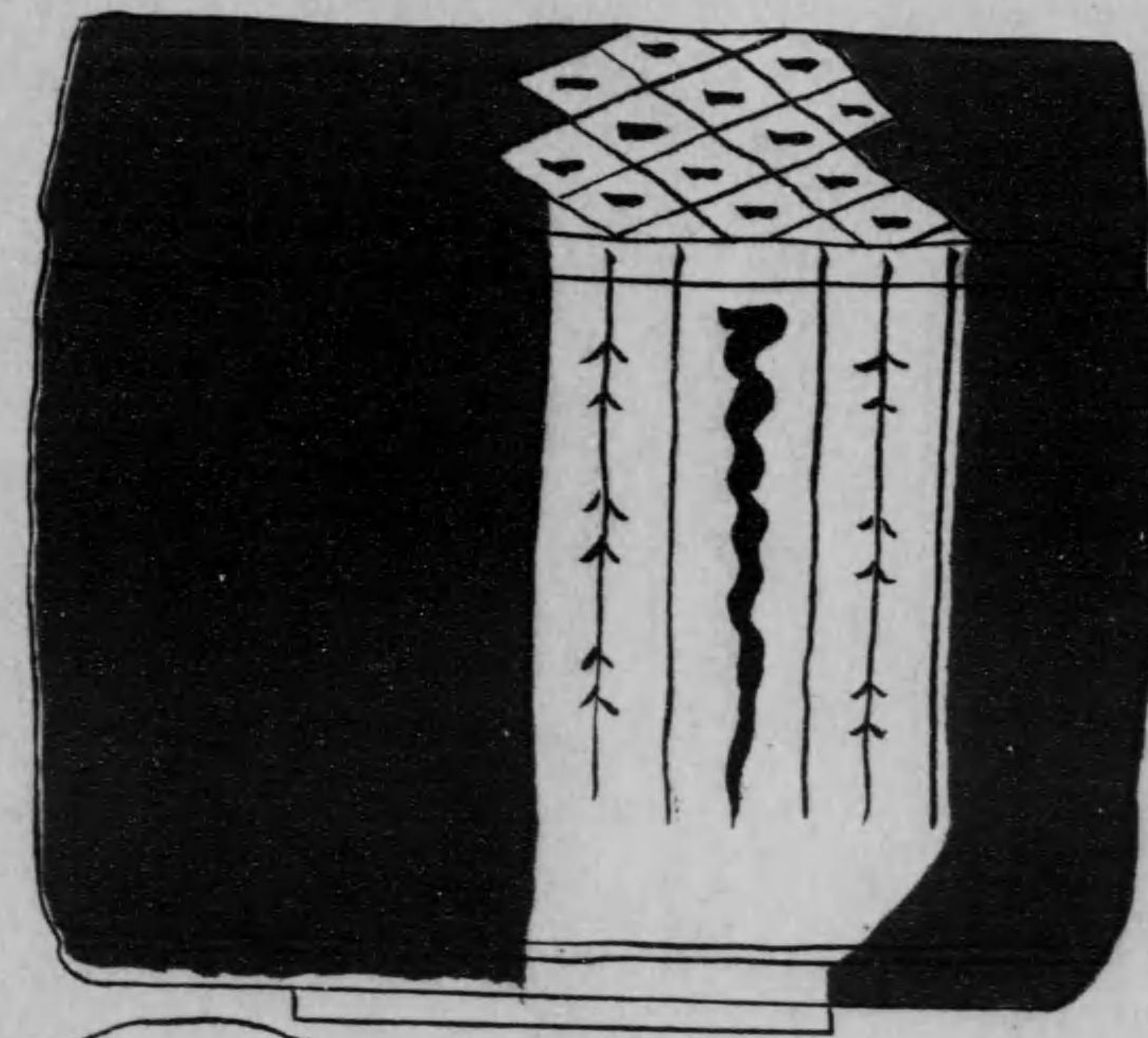
瀬戸の名工六作の一人宗右衛門作古瀬戸（手椿）  
 二重細の水指

高 五寸四分  
 径 四寸一分  
 胴廻 一尺四寸六分余  
 底 三寸二分五厘  
 其他図の如し



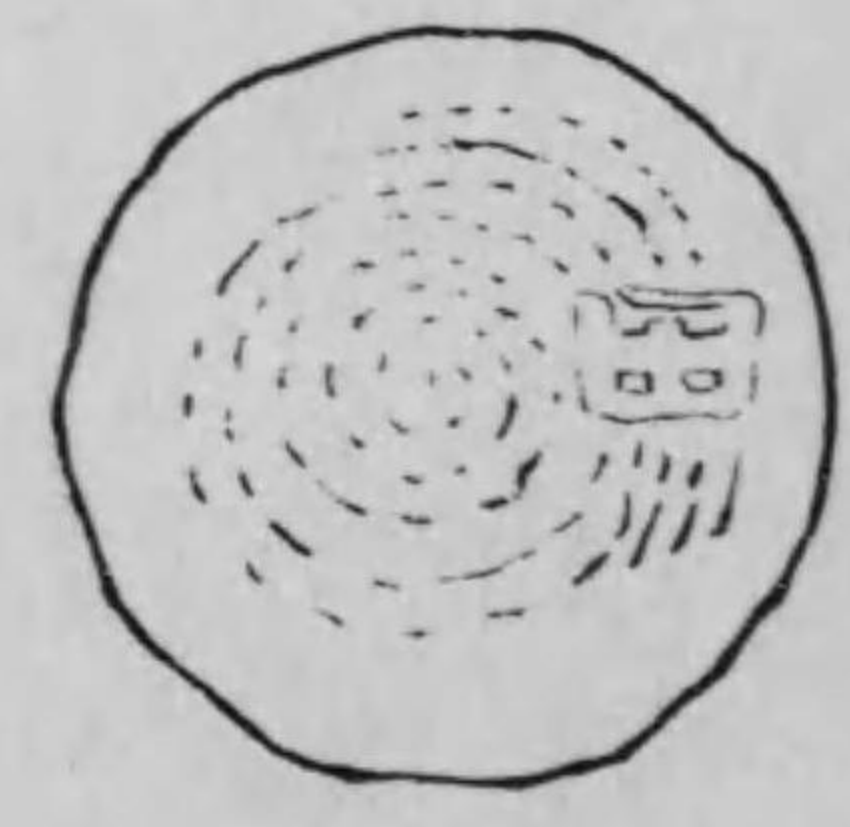
瀬戸の各工十作の一人元藏作瀬戸黒の茶碗

器の肉  
厚く土  
楽子で  
黒細の  
光清ら  
にすて  
水方成  
以て摸  
様以描  
き甚上  
好の作



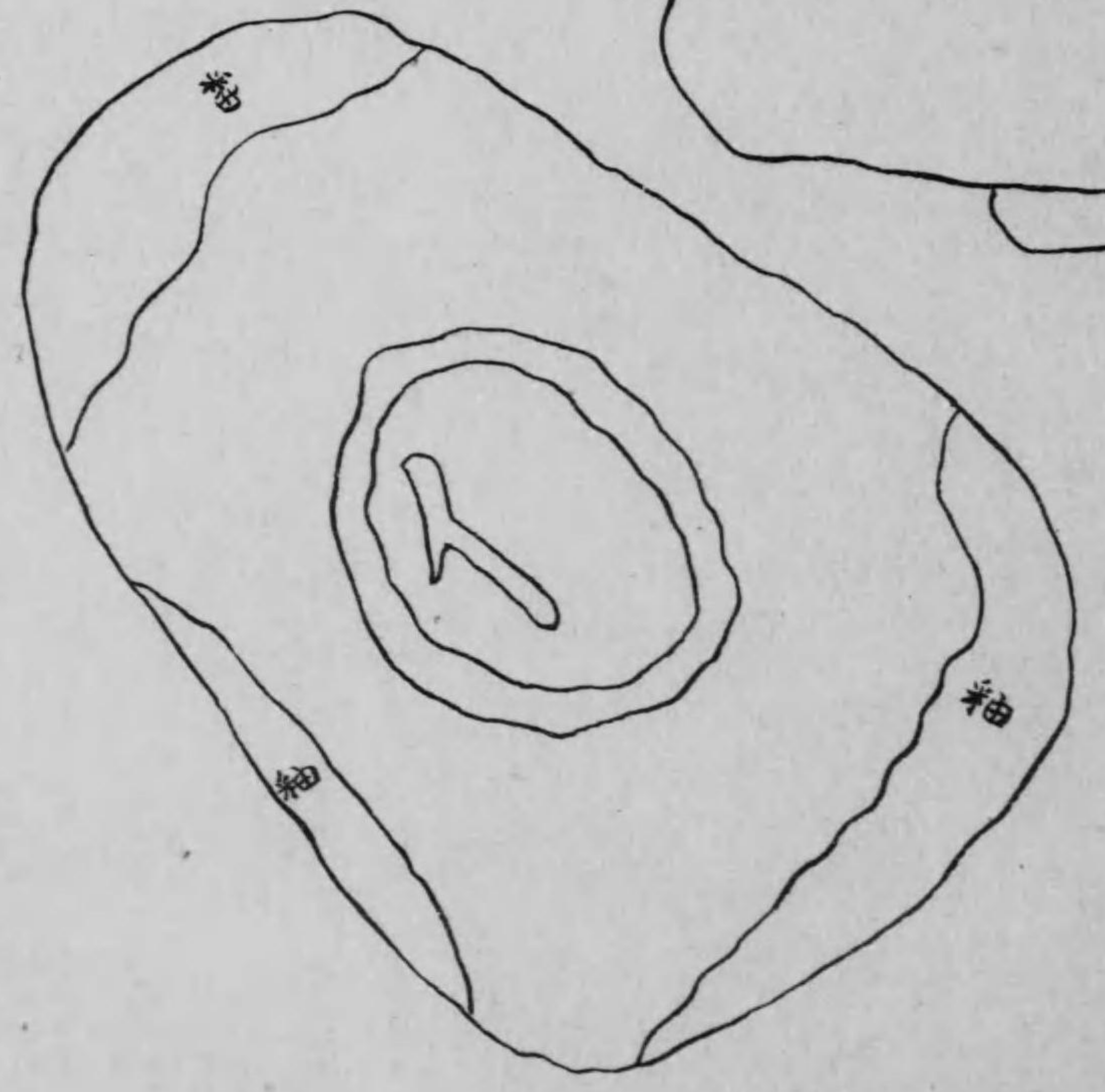
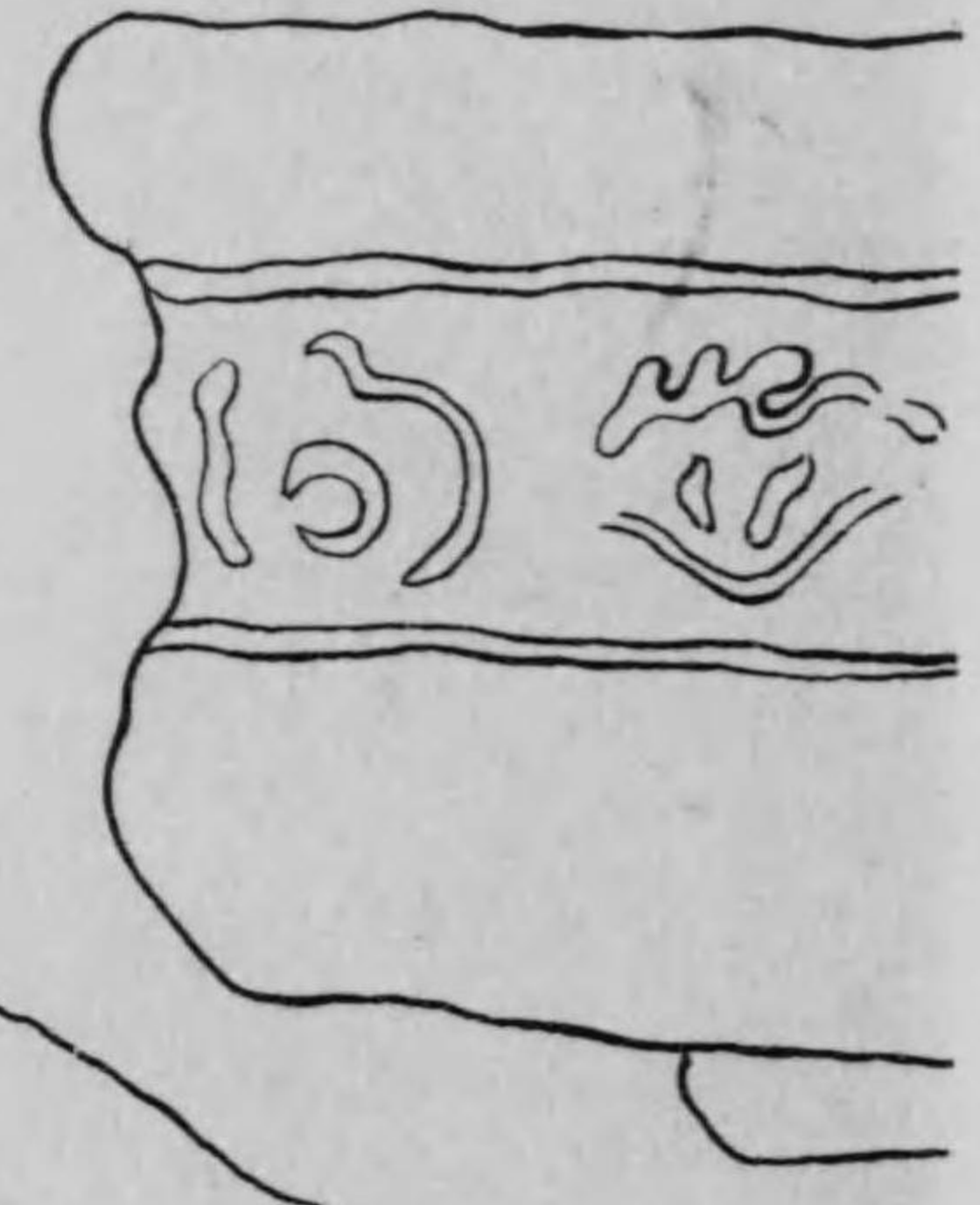
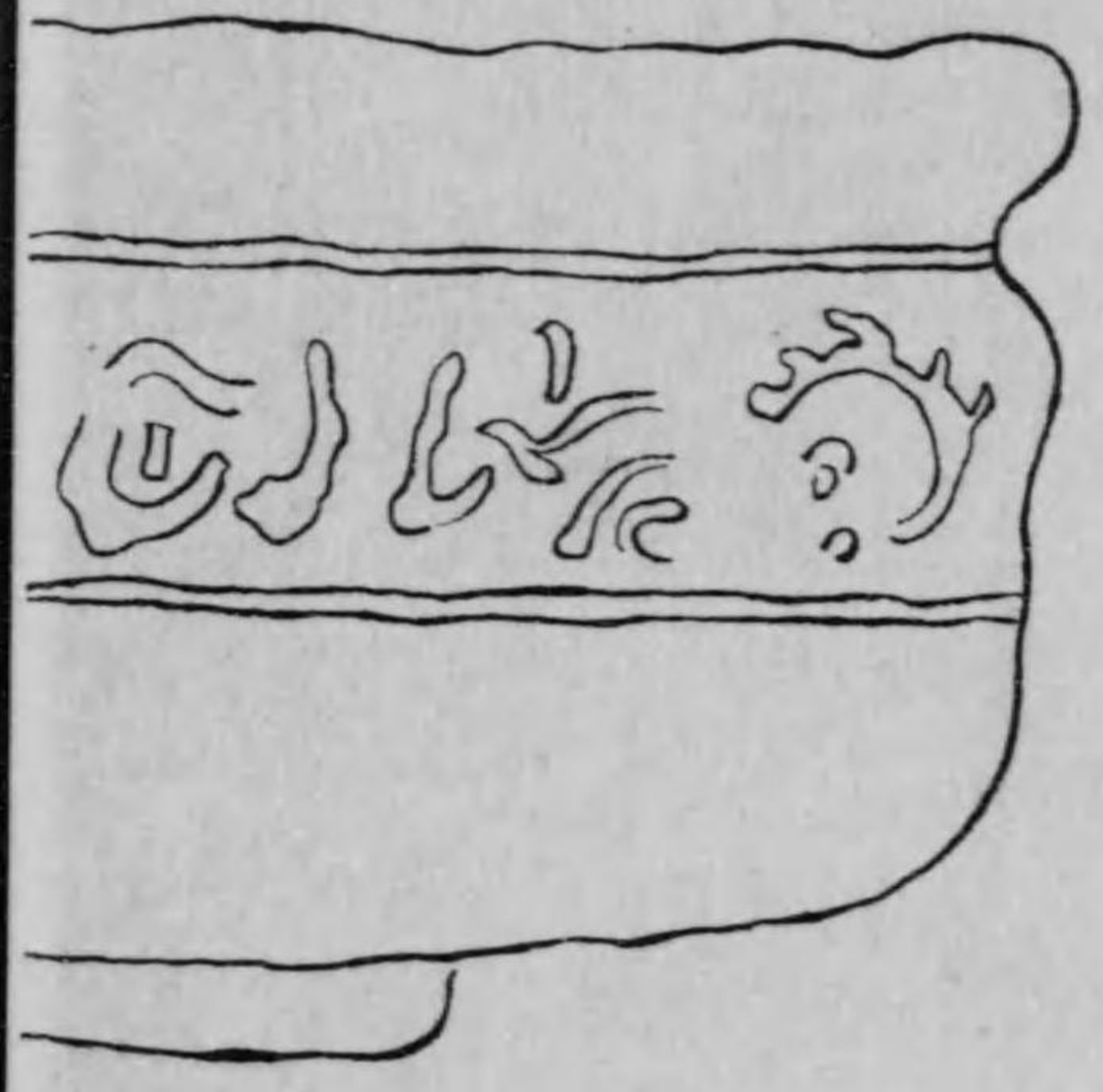
名古屋の人鈴木某  
氏の所藏  
形状寸法圖の如し

瀬戸の名工十作の一人金九郎作濃紙子の茶入  
作薄き方土緻密丸糸切にして高尚の器なり  
形状寸法圖の如し

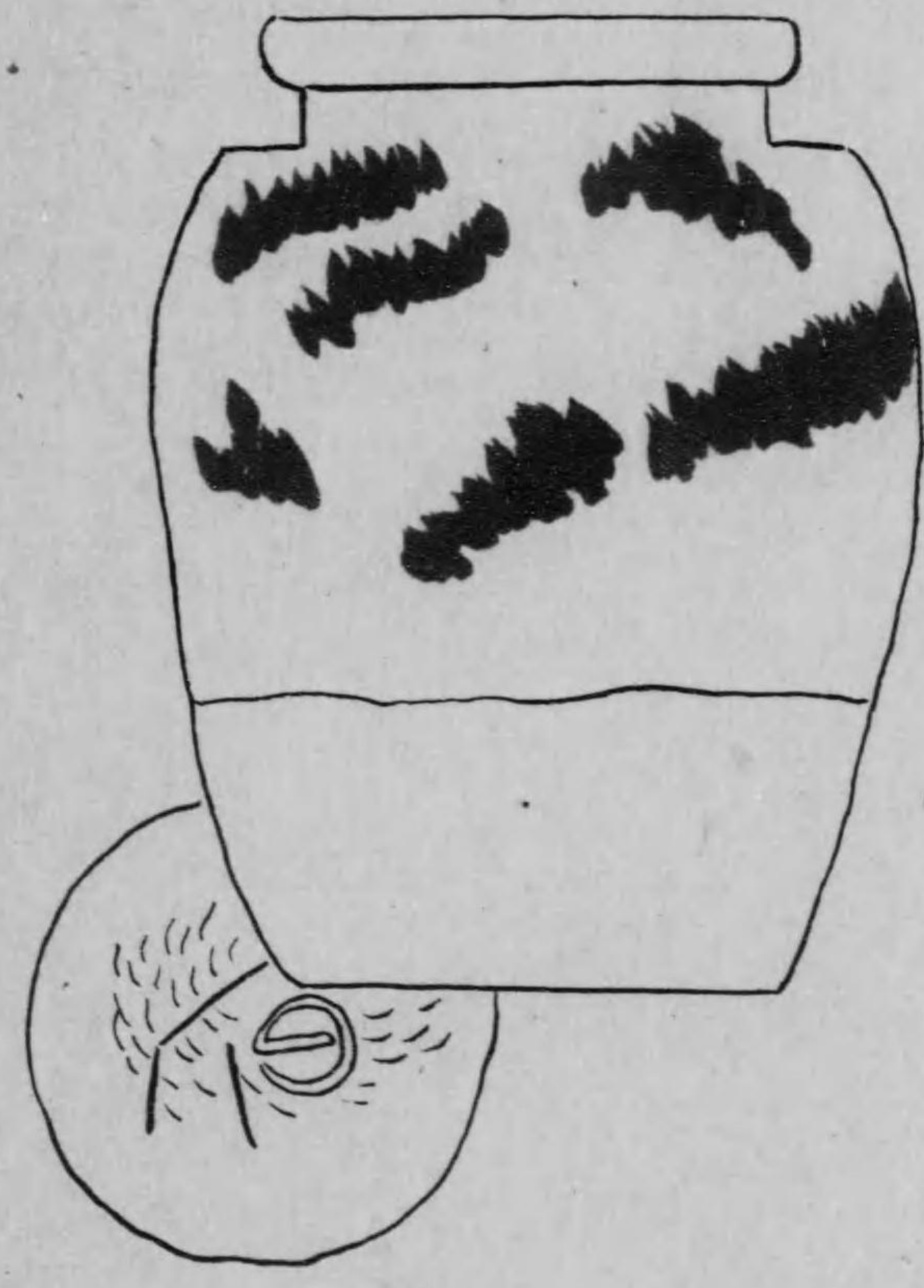


坂野陶林所持故ありて  
五永拾木氏に譲は

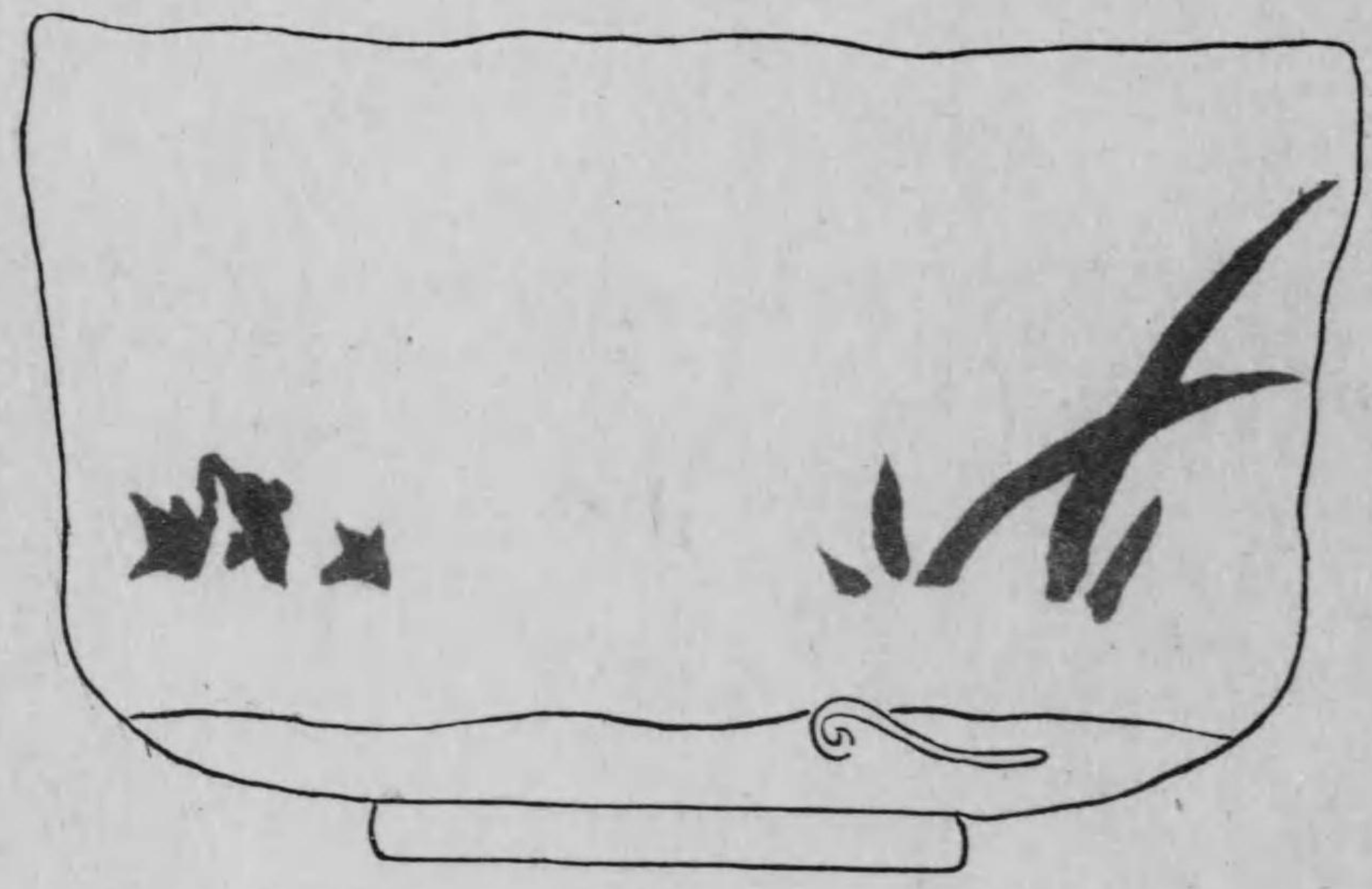
瀬戸の名工十作の一人丈八作志野釉の茶碗  
 但し釉色白き方世土白粘模倣取にして水打  
 薬代以て塗抹其形状可法本圖の如し



瀬戸の名工十作の一人友十作古瀬戸釉の茶入  
 器の肉通常土硬密茶褐色に黒の斑ありて上  
 好の作形状寸法總て糸の如し



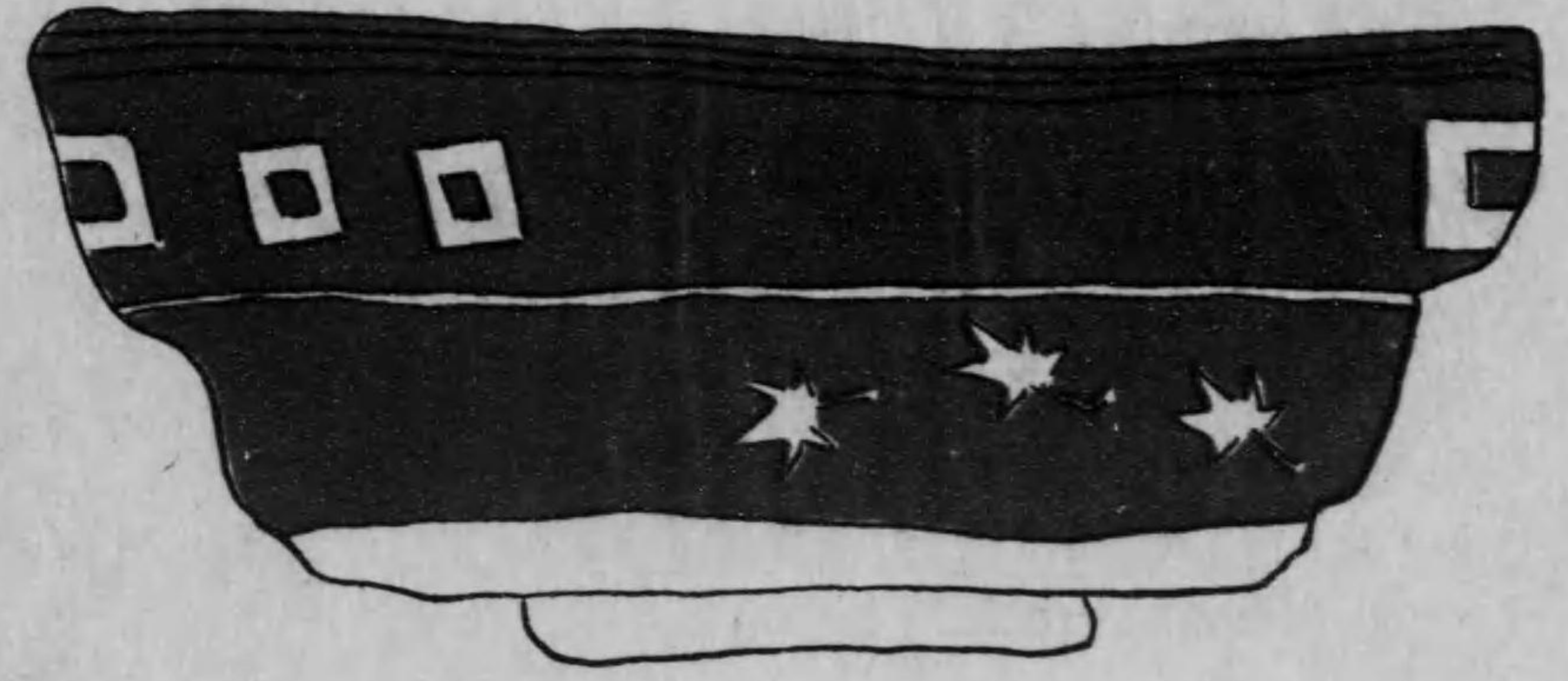
瀬戸の名工十作の一人友十作古瀬戸釉の茶碗  
 器の肉厚く釉又濃く施してて  
 魚甲紋の  
 牙痕多し  
 頗ほ雅致  
 に富む



形状寸法總て  
 糸の如し

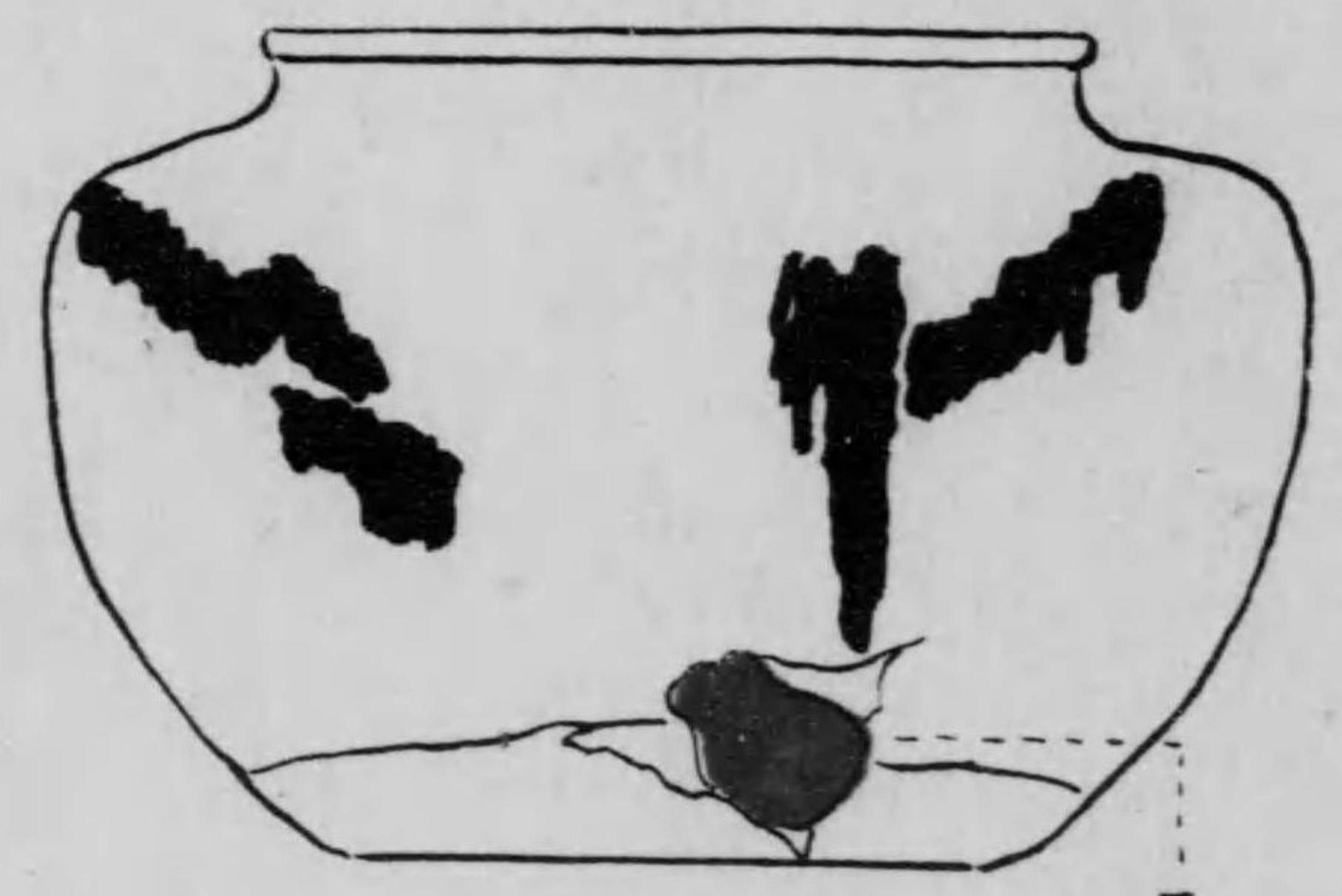


瀬戸の名工十  
 作の一人八郎  
 次作瀬戸黒の  
 茶碗  
 器の肉厚く土  
 柔ふそ軸をハ  
 光澤ふき方に  
 して雅致に富  
 た休作  
 形状可法模様  
 等総て圓の如

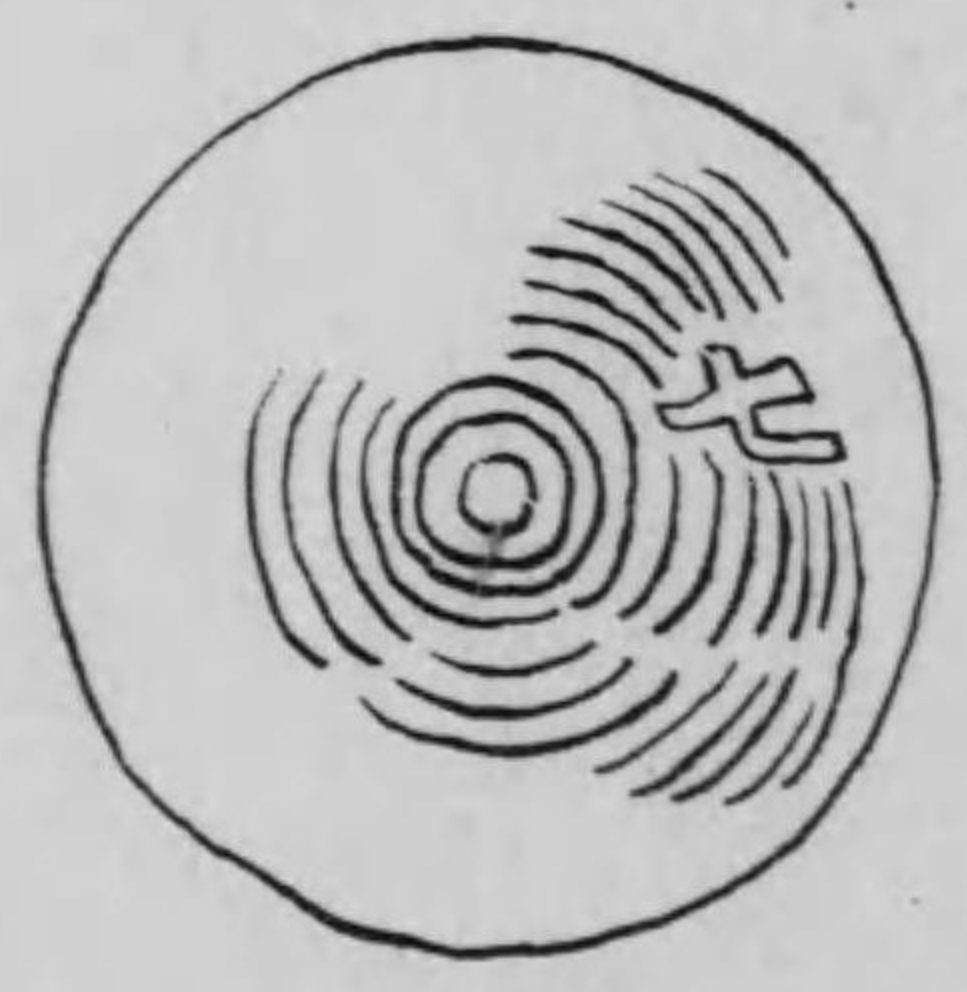


刑部陶痴詩持

器の肉厚  
 き方土緻  
 密ふき共  
 赤色伝帯  
 い稍信樂  
 土に類そ  
 まあ里作  
 雅以含こ  
 て高尚ふ

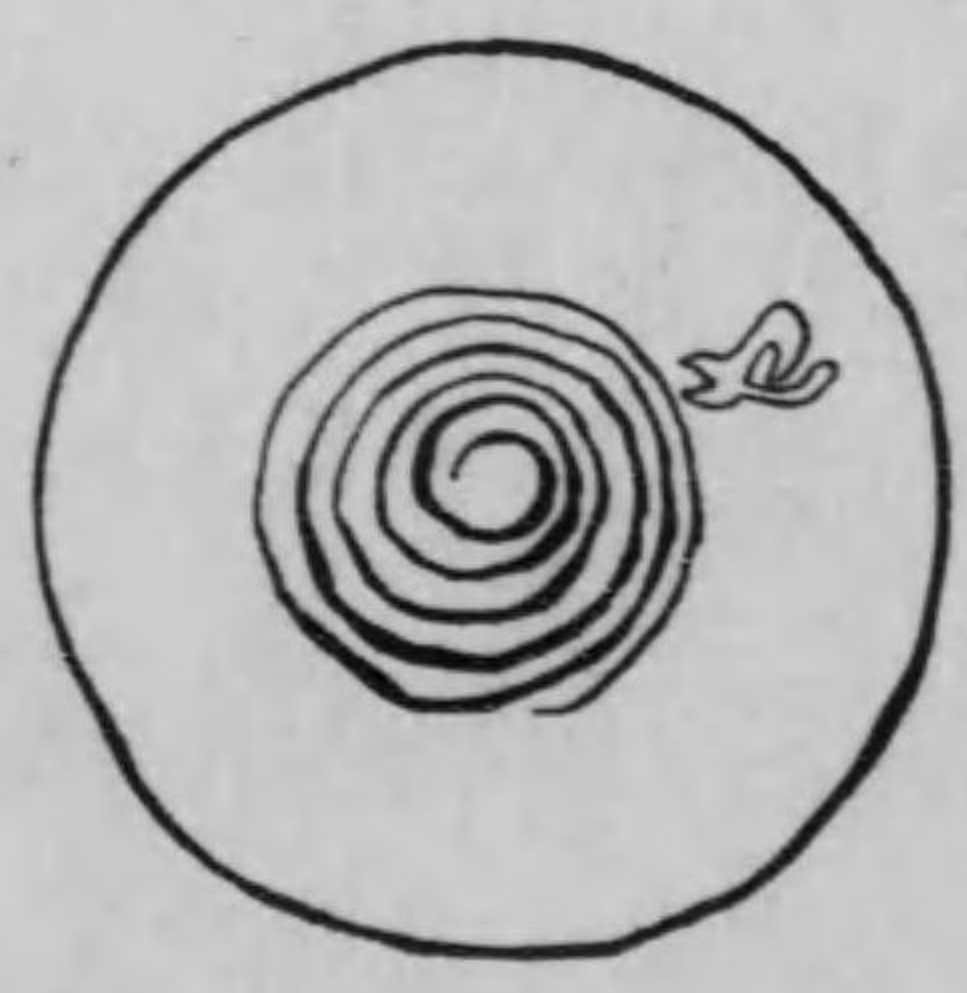


百八七



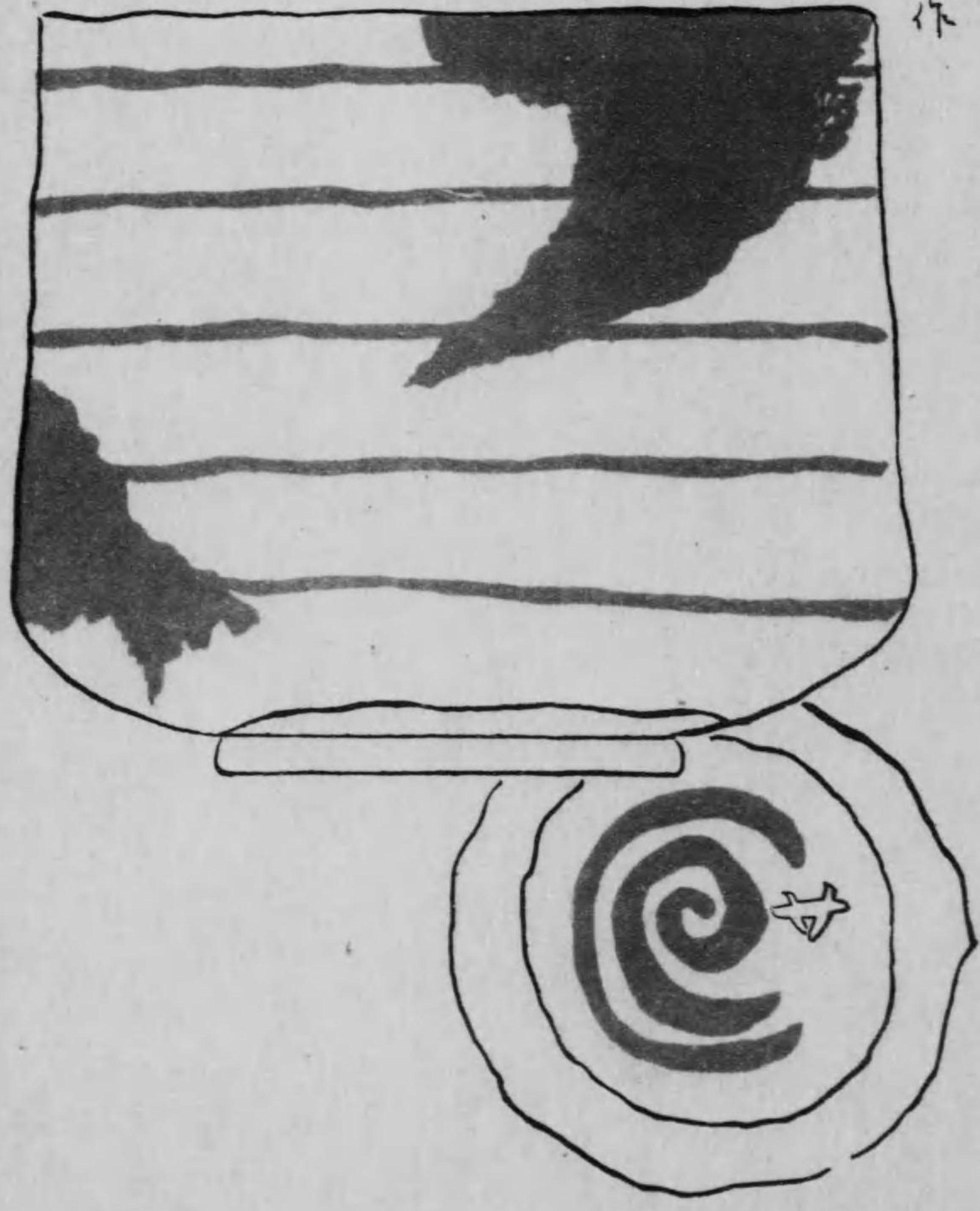
瀬戸の名工十作の一人半七作古瀬戸軸(出方七)  
 の茶入形状寸法総て圓の如し

瀬戸の石工十作の一人六兵衛古瀬戸釉の茶入  
 蓋の内厚き方土硬密黒釉の流きに黄包紙帯  
 ひ瀬戸上作ふと底丸糸切にして形状寸法総  
 て図  
 の如



名古屋の人  
 森某氏の所藏

瀬戸の名工十作の一人治兵衛作濃紙色の茶碗  
 形状寸法総て図の如く瀬戸は雅致に富むた  
 は作

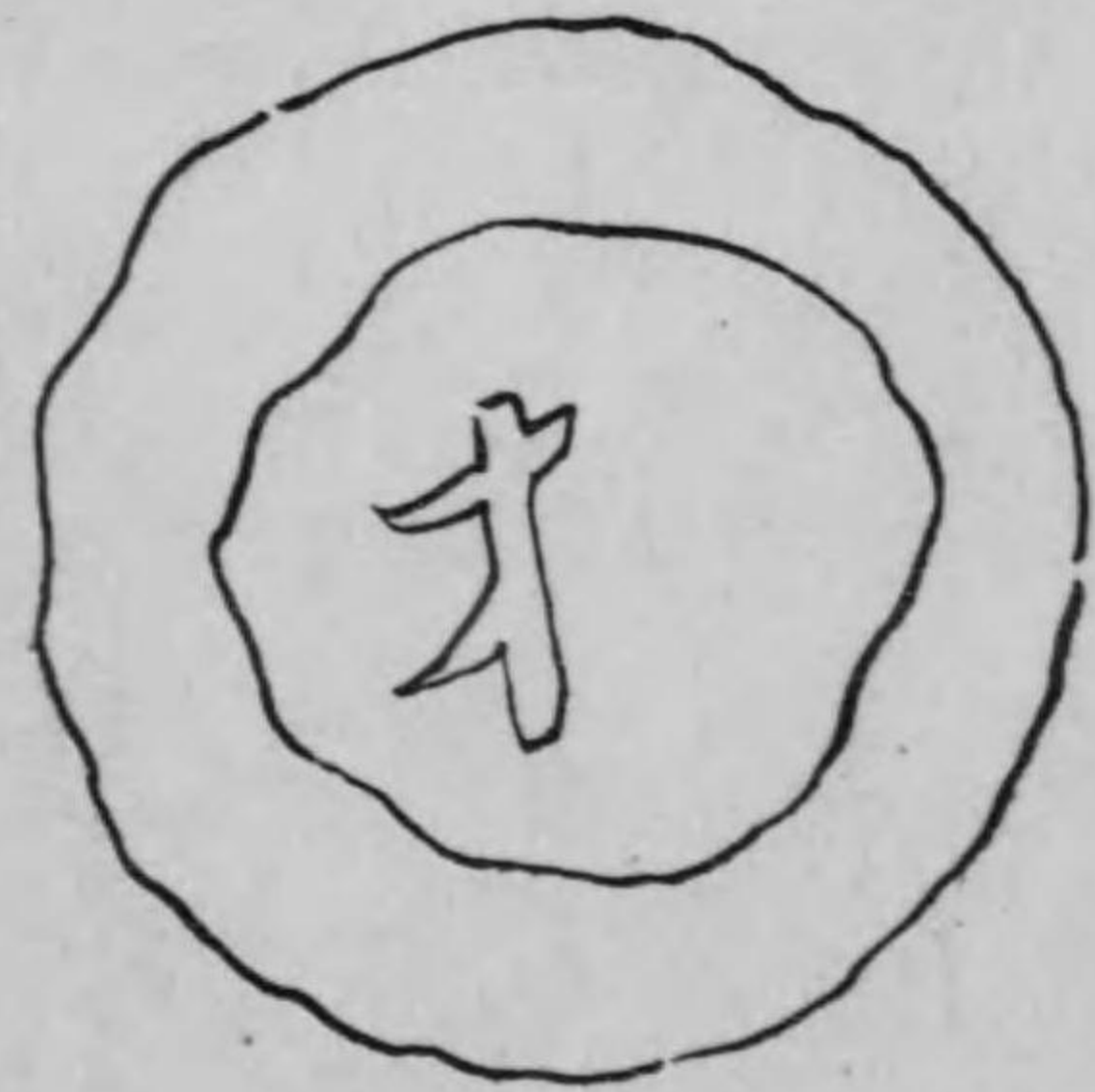
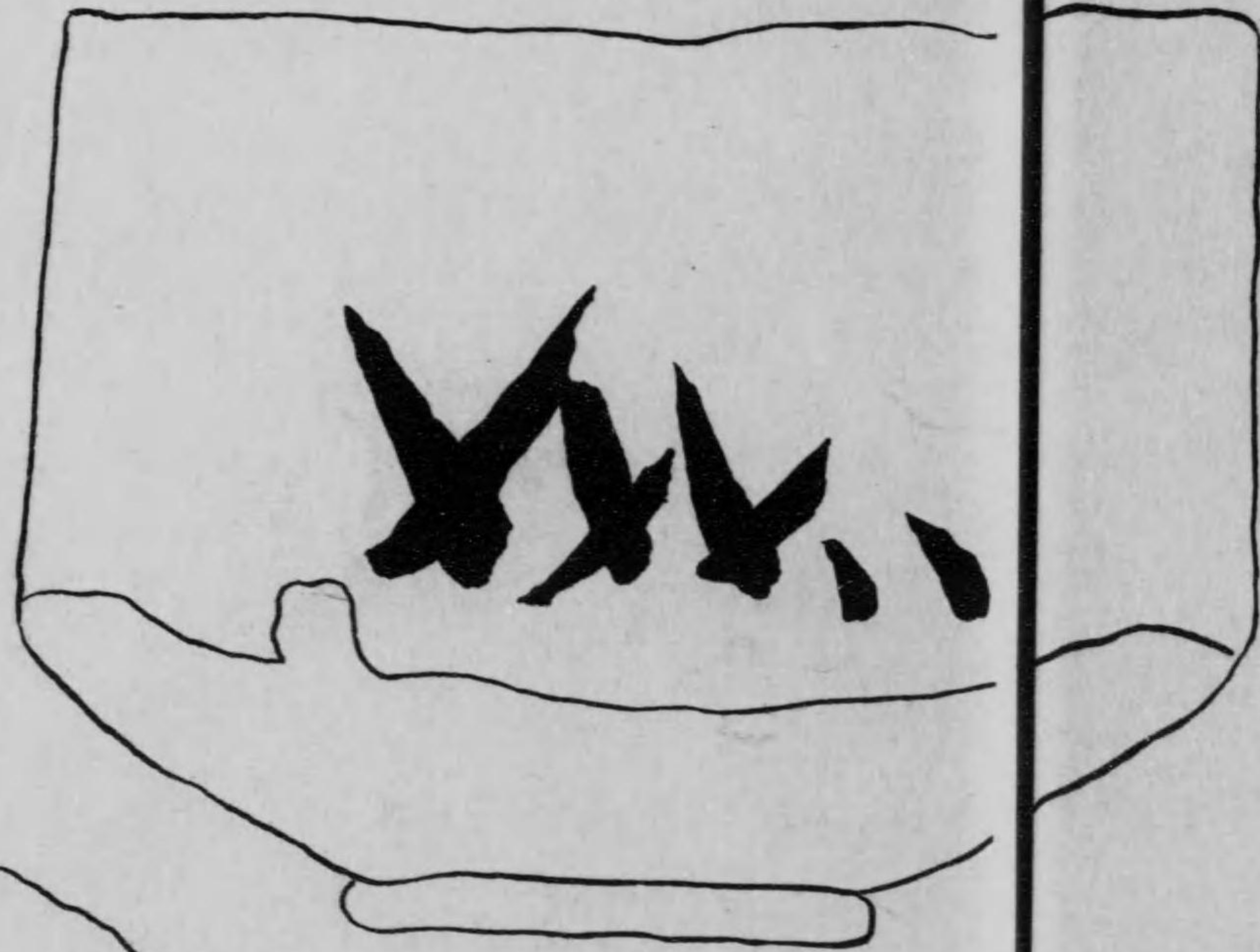


志野釉の茶碗

高三寸

径四寸

輪臺一寸八分



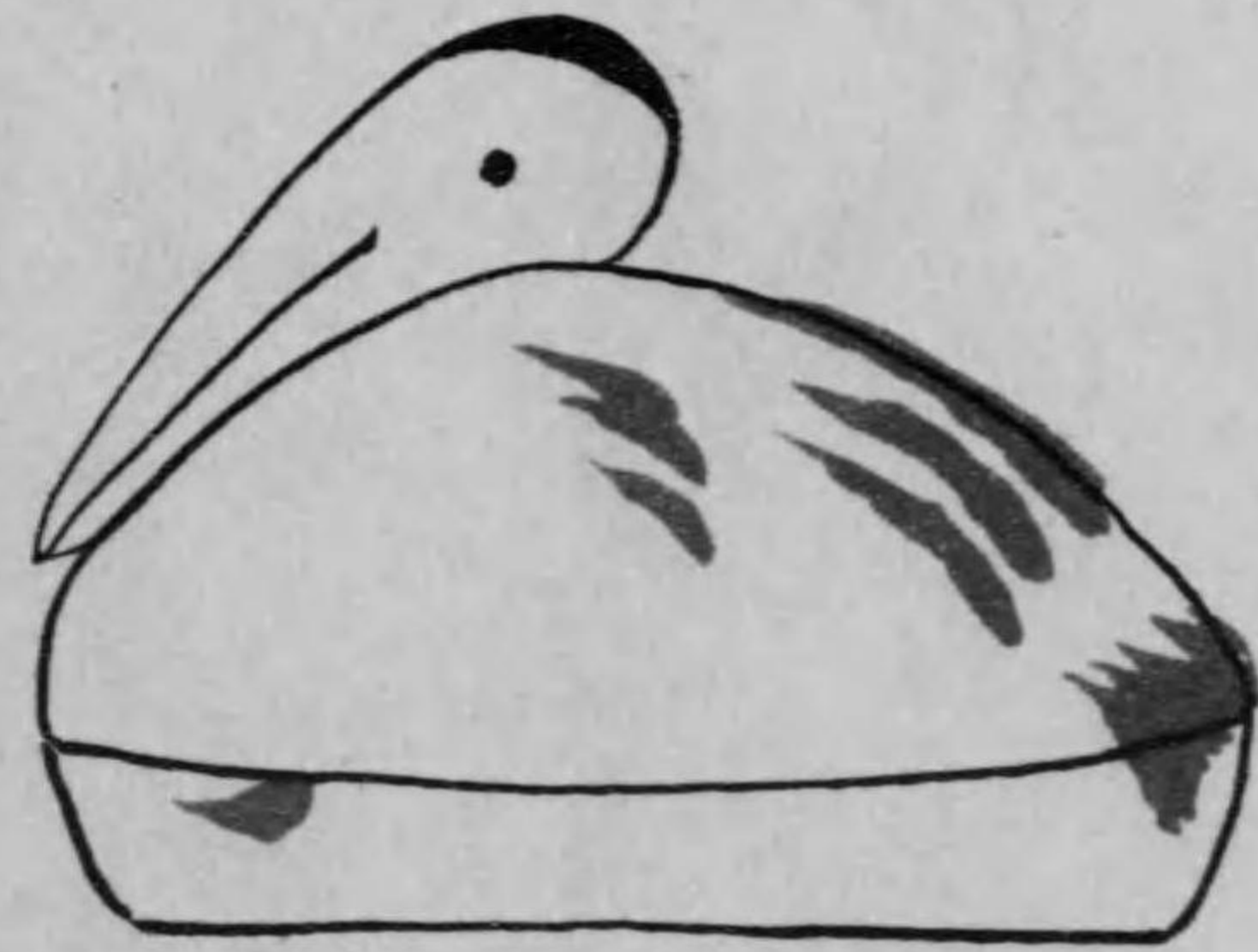
古瀬戸釉の茶入

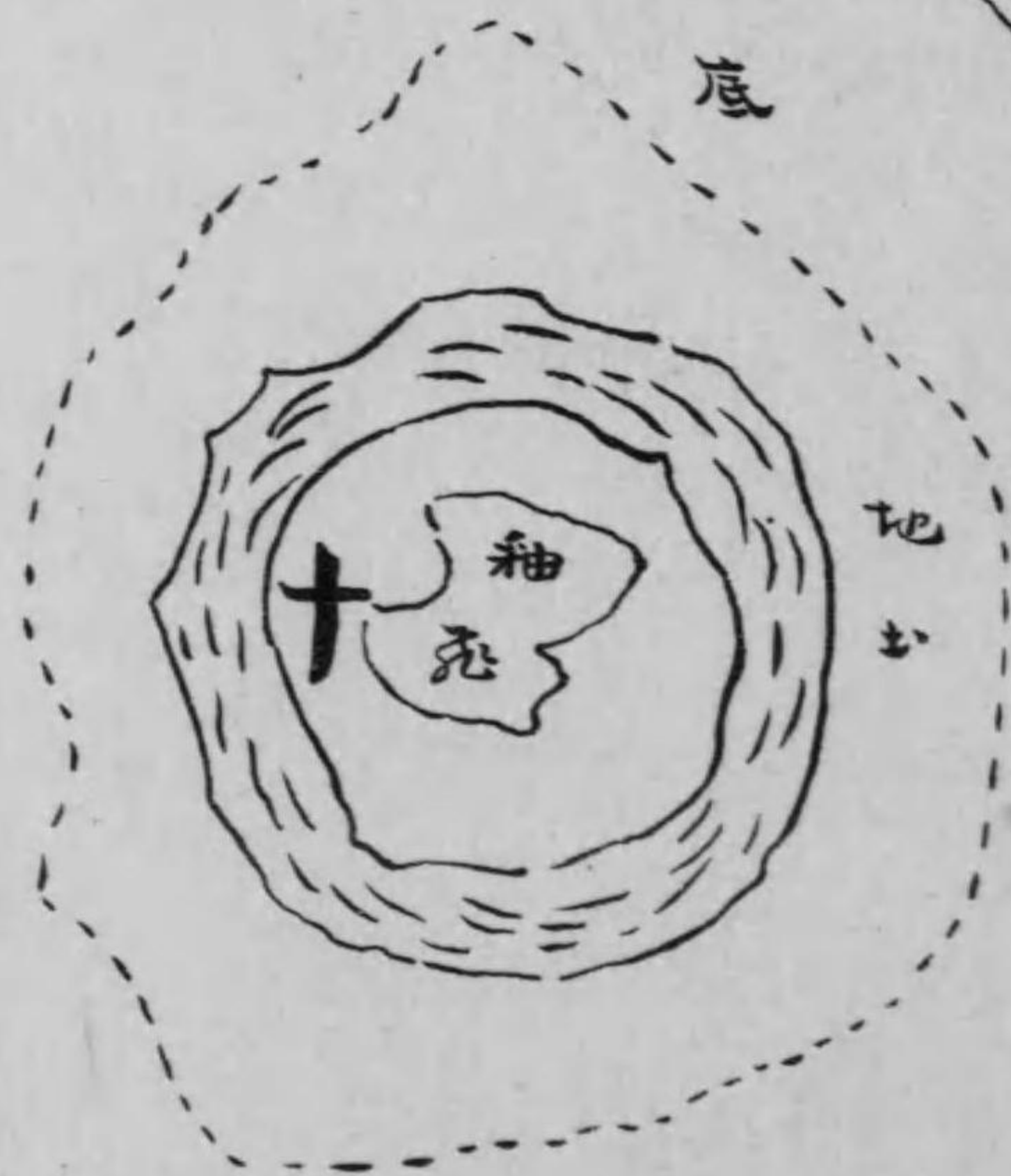
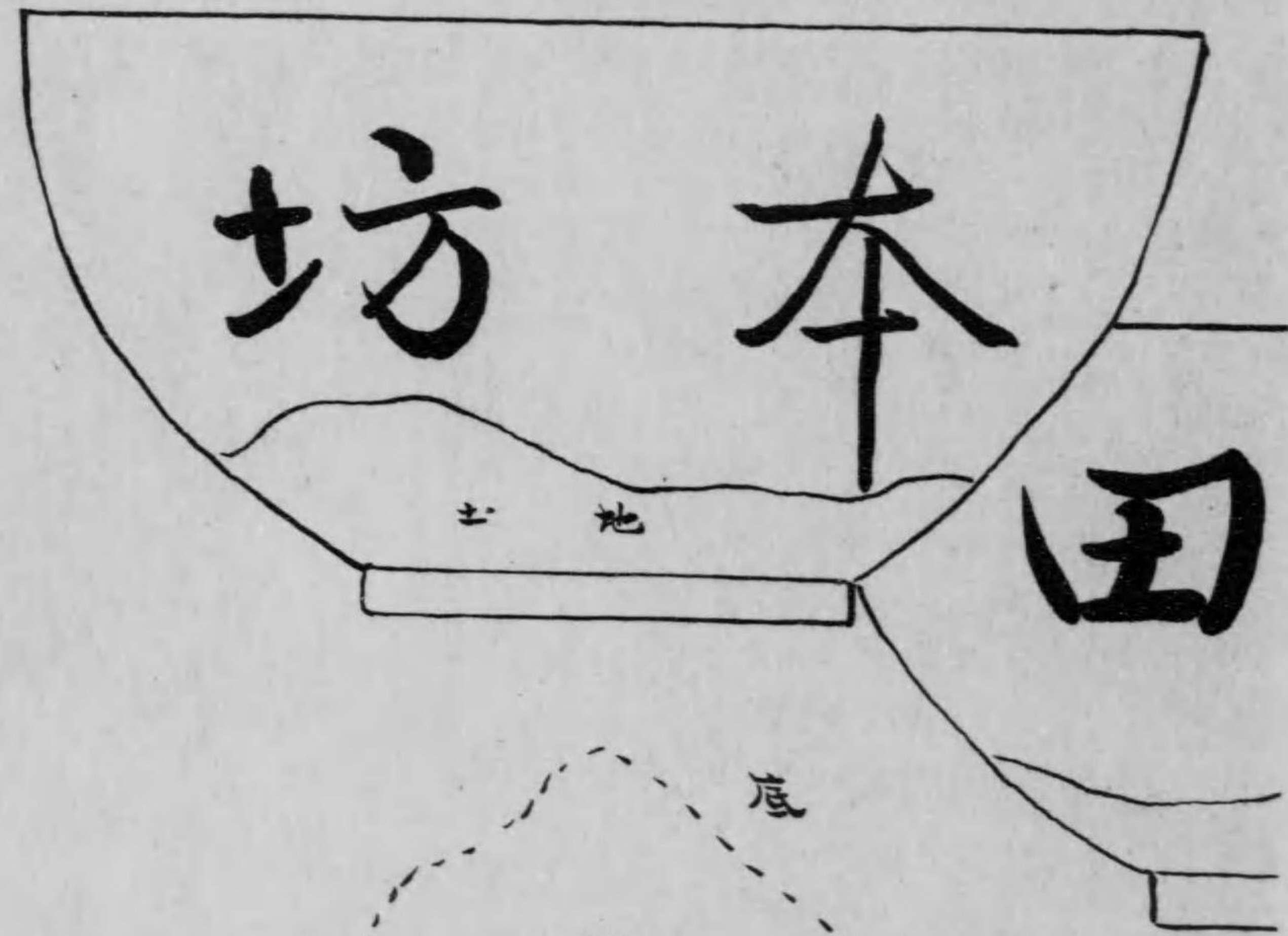


底系切

高三寸四分  
口九分五厘  
底一寸六分  
其他圖の如し

平沢九郎二代目作志野細鶴の子の香合  
形状寸法未圖の如し





高 一寸九分  
 徑口 三寸九分  
 三寸八分  
 底 一寸五分

尾張春日井郡野田天台宗密藏院用  
 志野細の茶碗

瀬戸加藤佐右

瀨門作青釉

の香炉

周団に慶長

拾七年九月

吉日熱田大

神宮加藤佐

右瀨門寄進

仕々と彫し

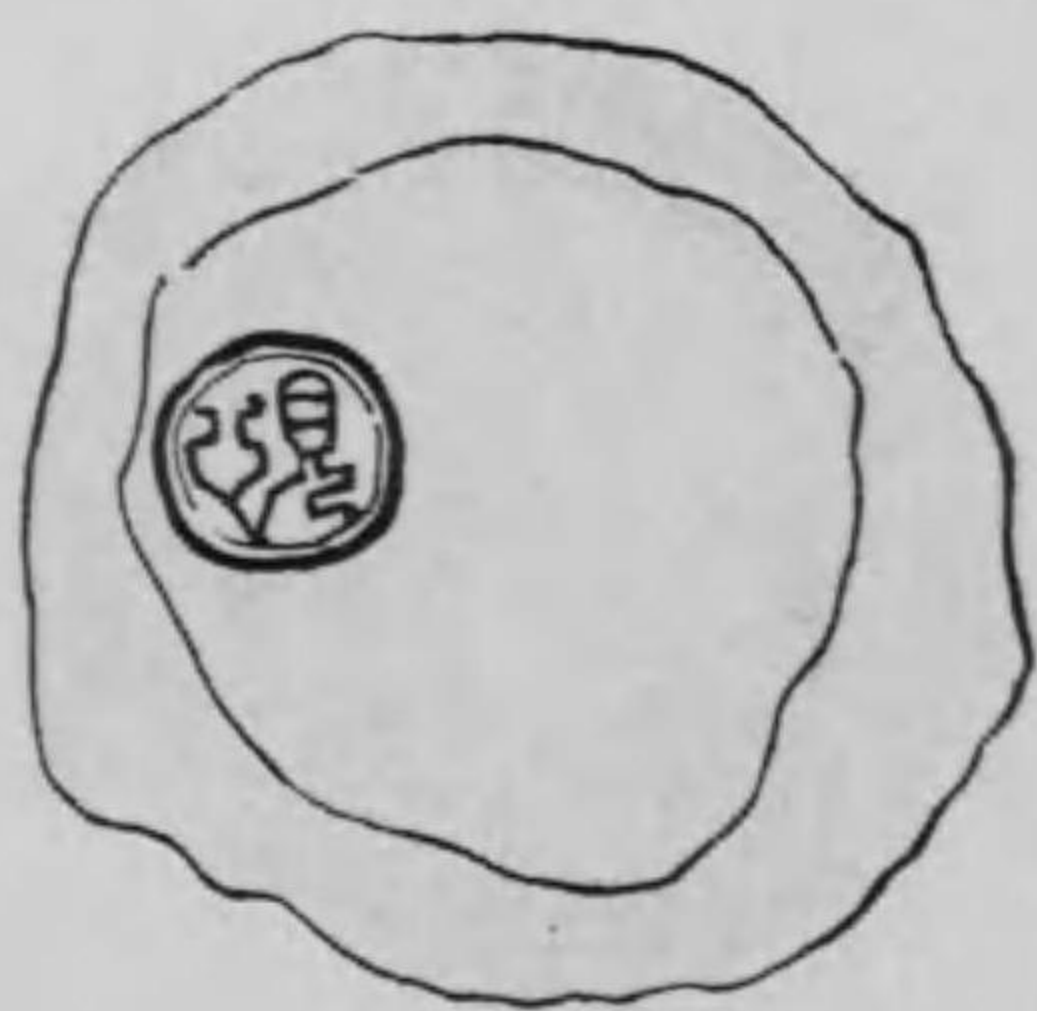
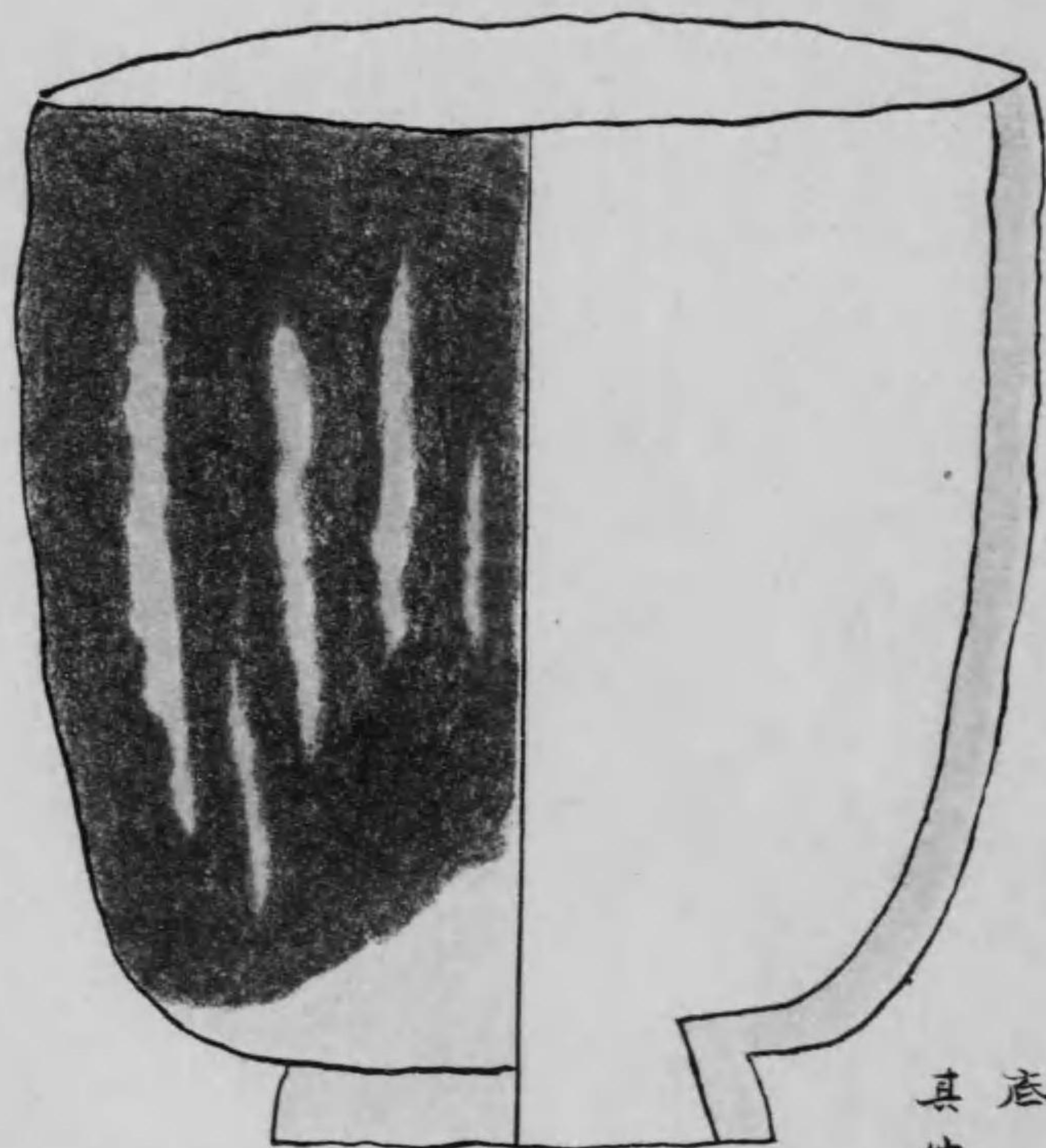
あり



高三寸五分余

見心作古瀬戸釉の茶碗

銘夜の雨



高三寸五分

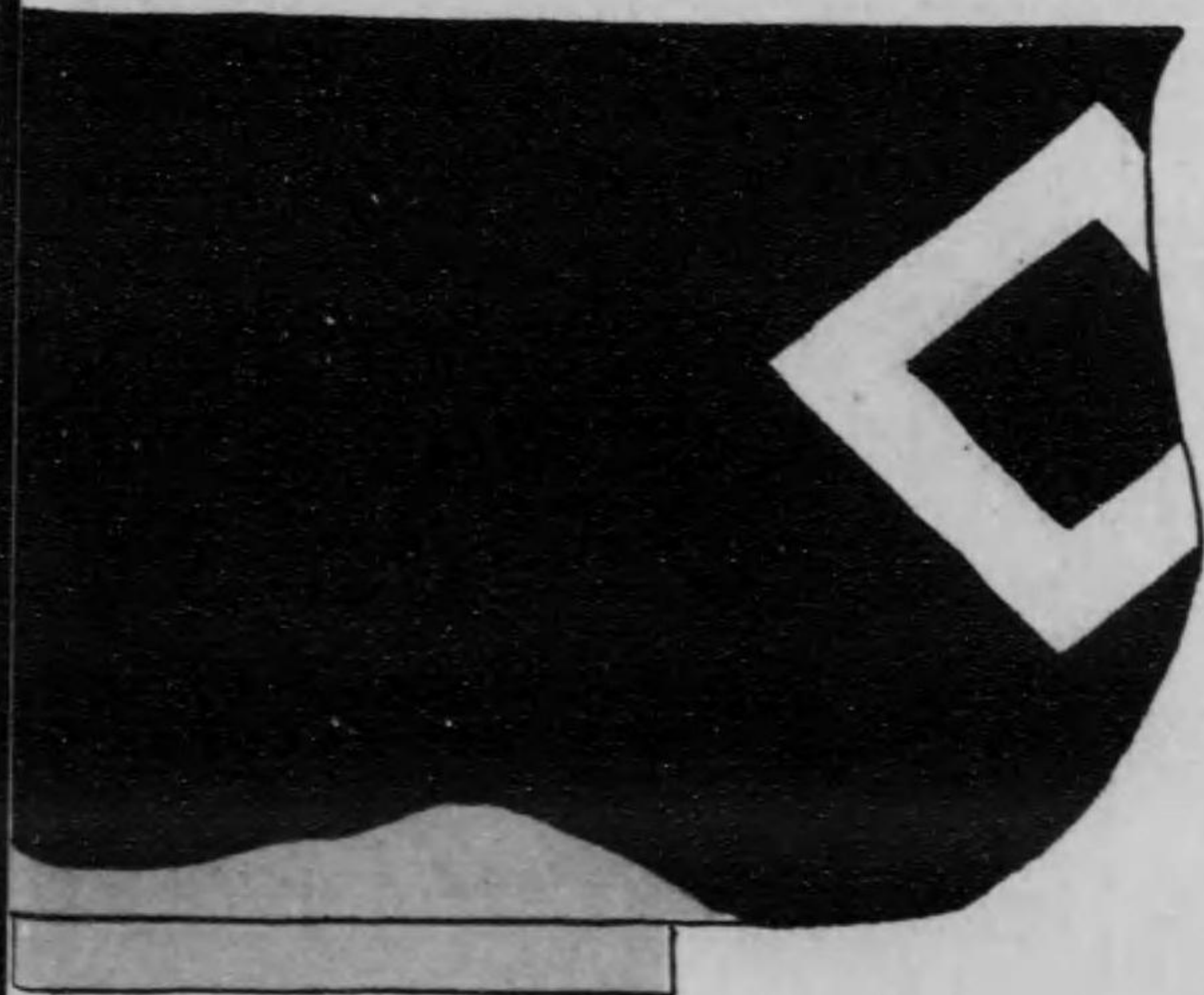
径三寸二分五分

底一寸六分

其他圖の如し

瀬戸黒馬帽子形の茶碗

高 二寸三分五厘  
径 四寸五分  
三寸五分  
底 一寸六分  
其他圖の如し

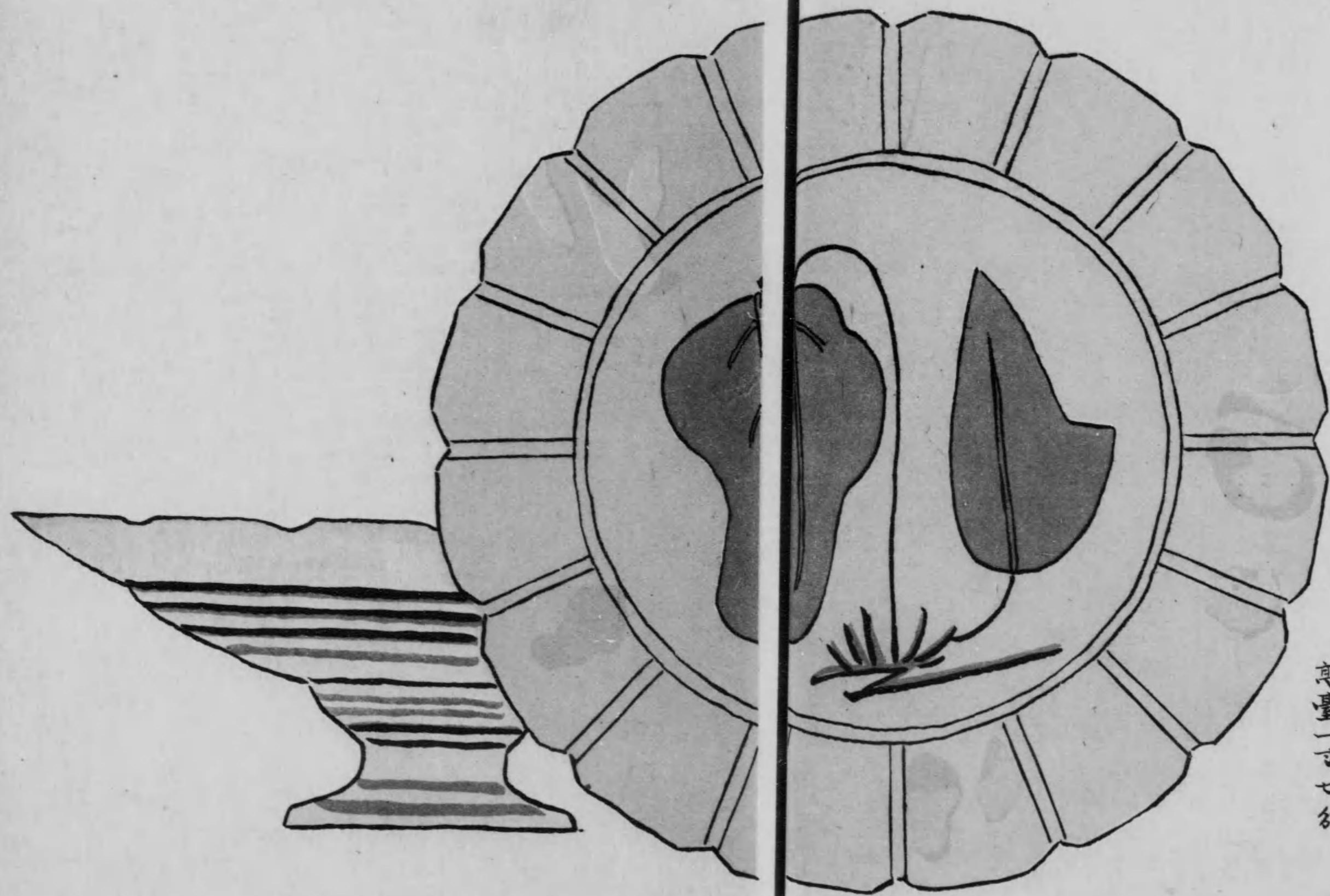


瀬戸黒の花生

高 六寸  
口 六分五厘  
腰 三寸六分  
底 二寸  
其他圖の如し



古織部の菓子鉢



高一寸八分

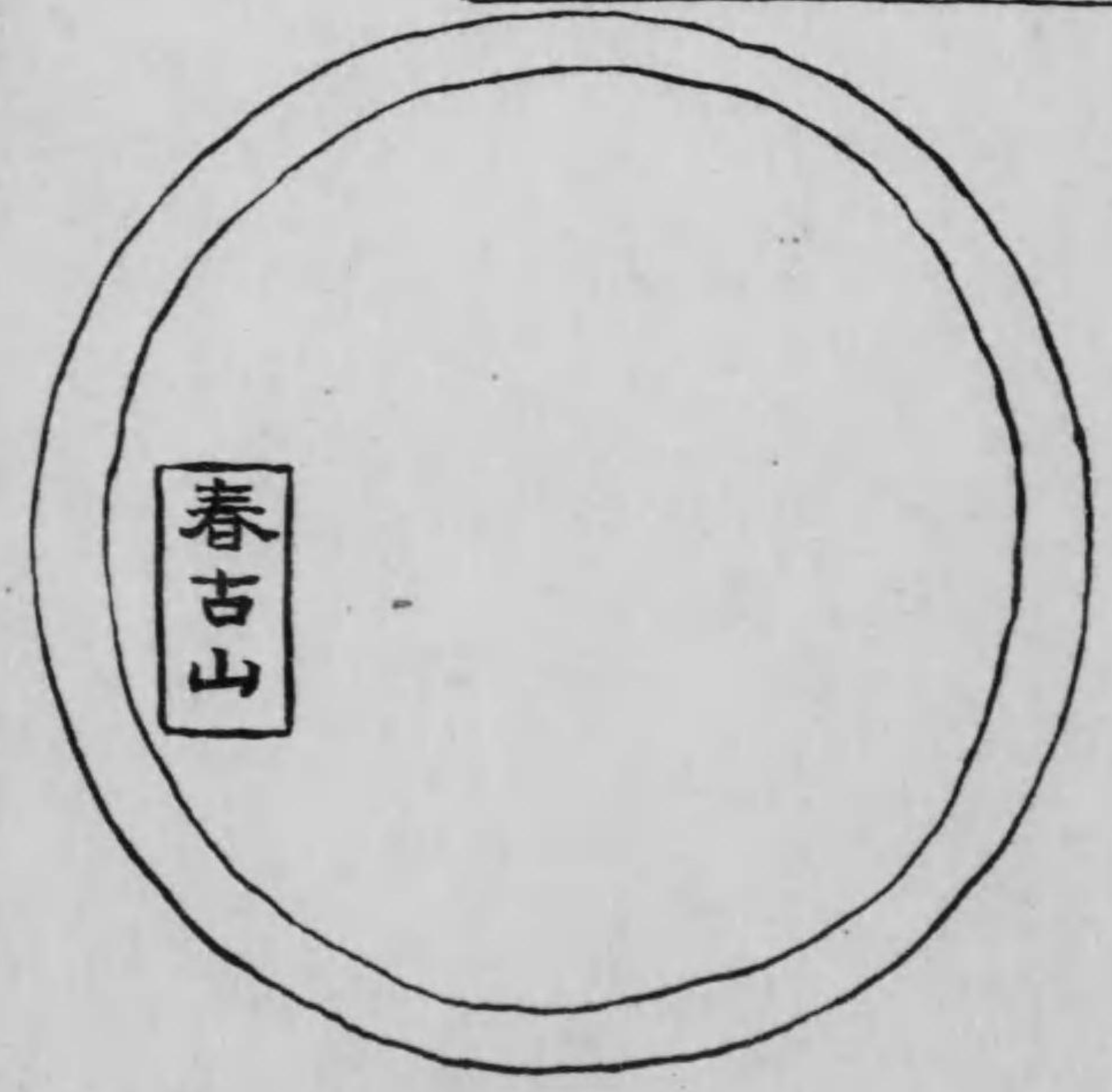
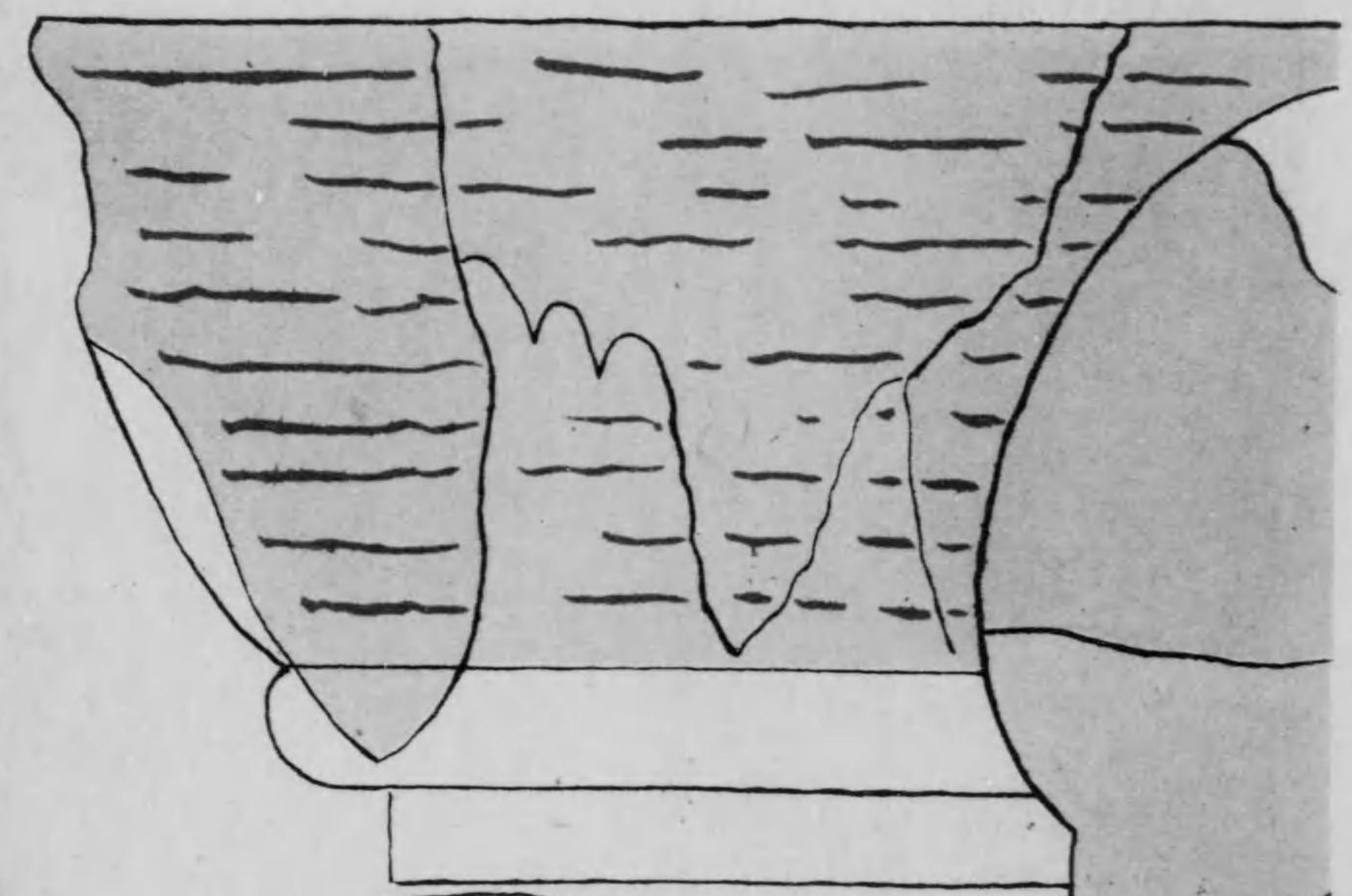
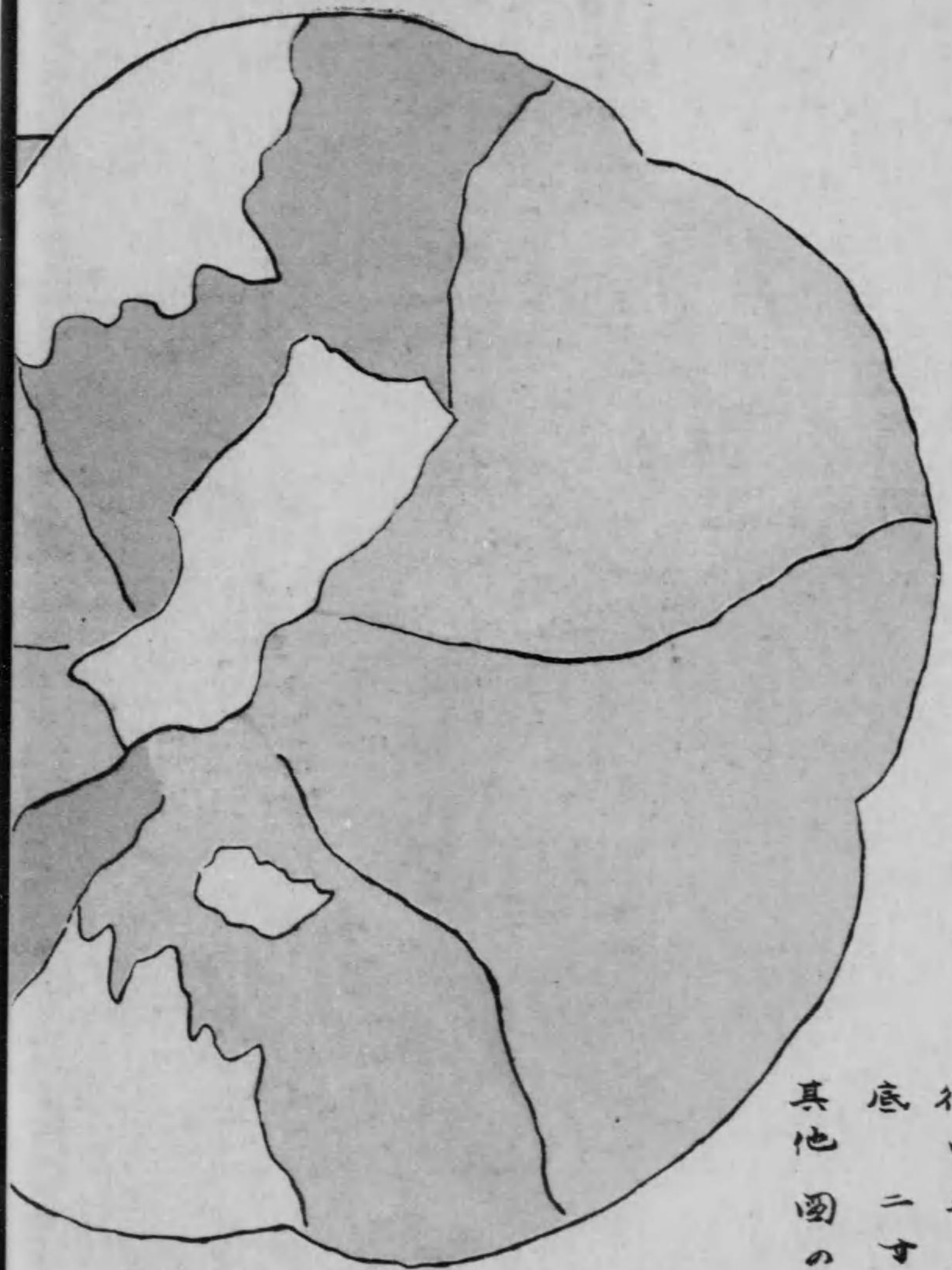
径口五寸二分五厘

高臺一寸七分



春古山梅形の井

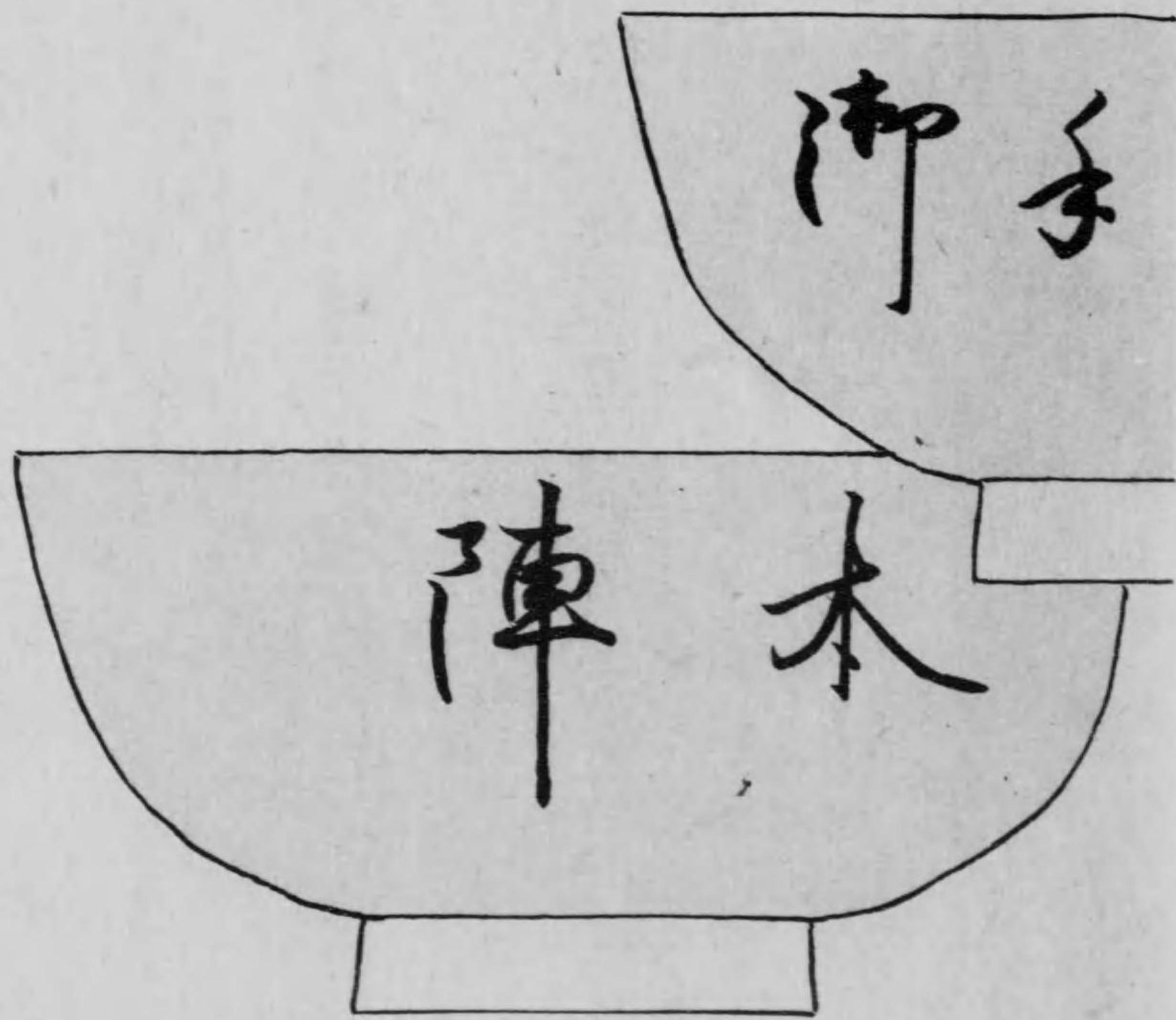
高 二十九分  
径口 五寸  
底 二寸九分  
其他 圖の如し



寛永十一年七月徳川三代將軍家光公御上洛之途  
 次尾刈長久手に於て此一泊の時此本陣用として  
 焼かゝりしと黄瀬戸茶碗

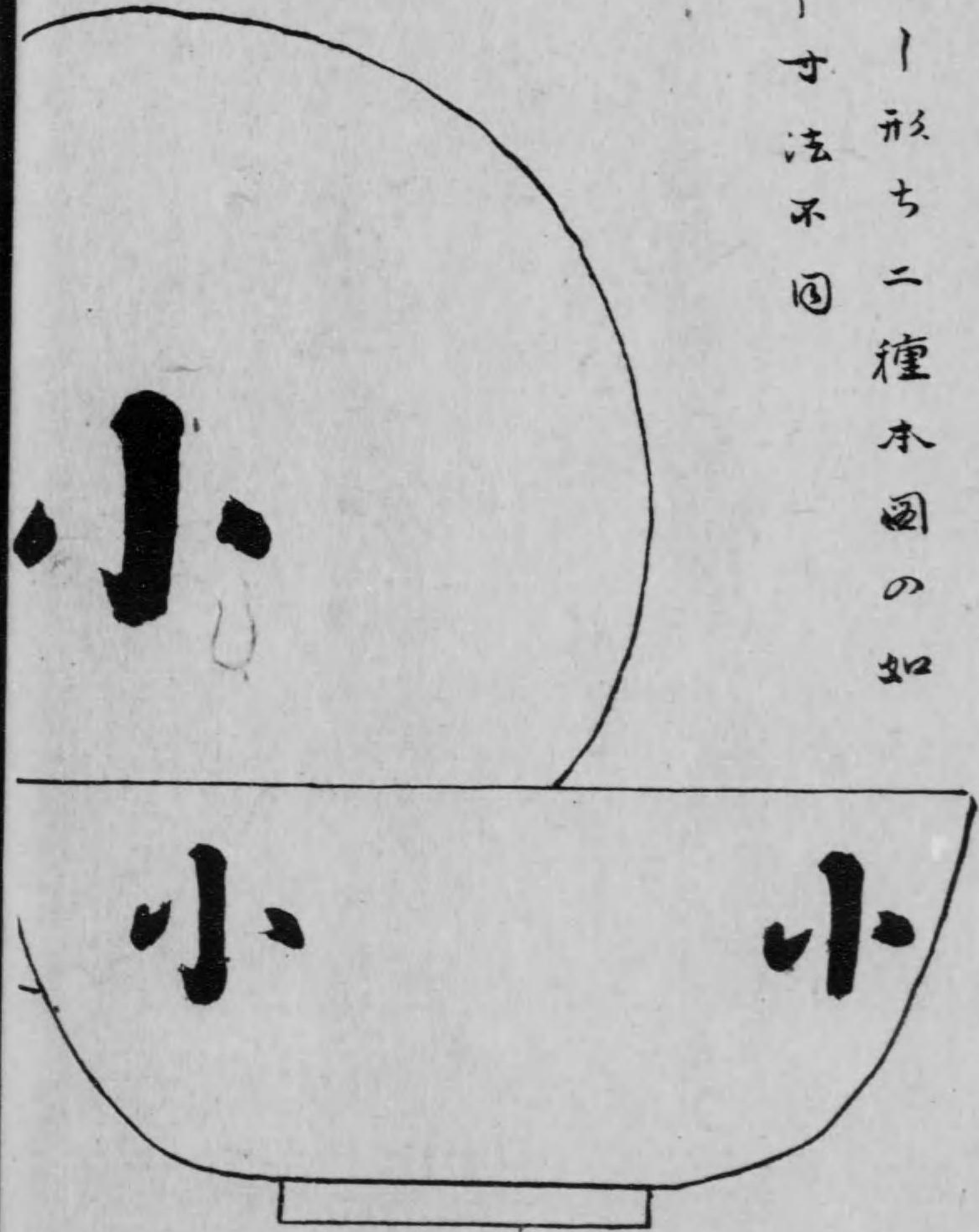
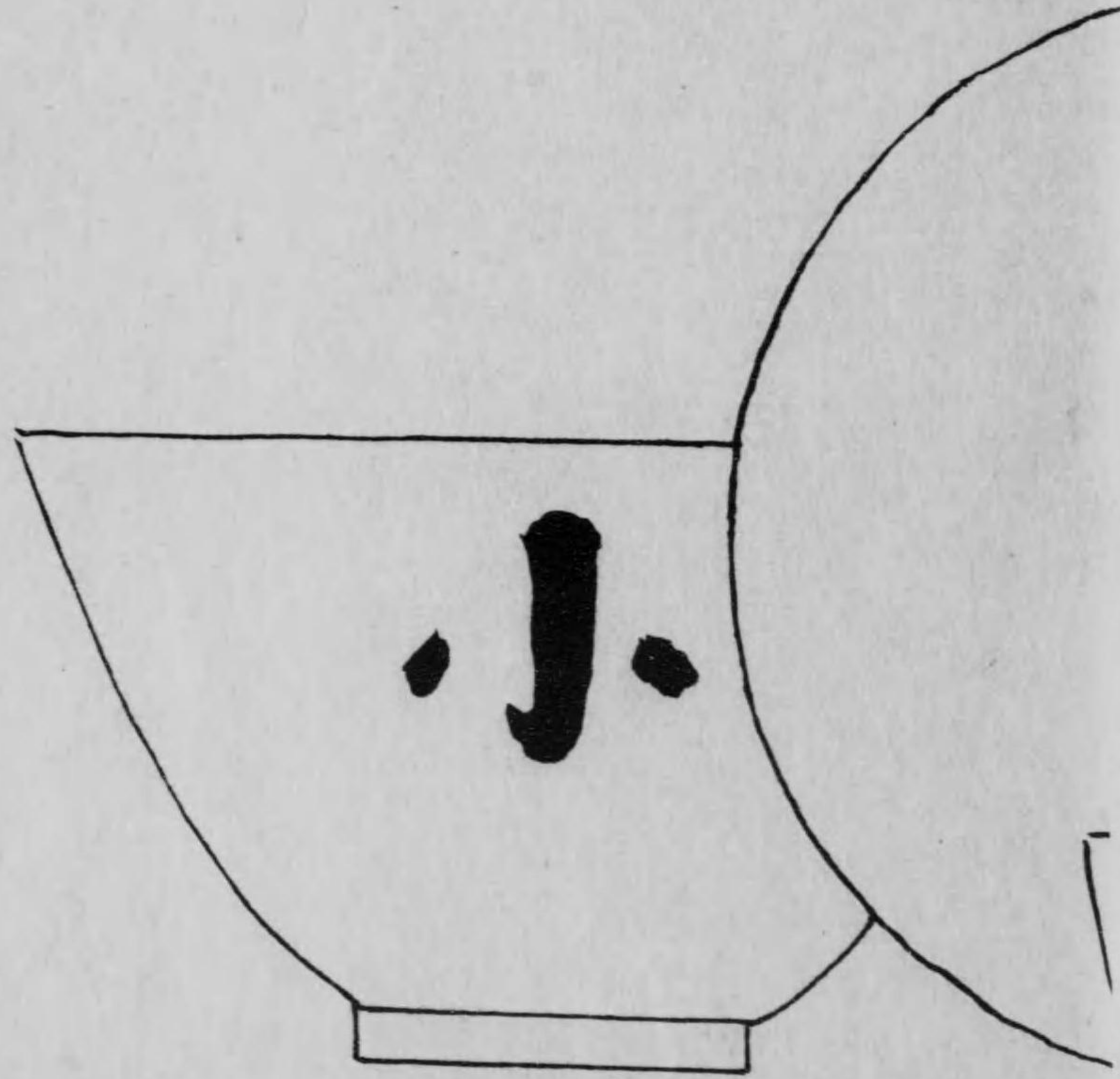


高一寸九分  
 径四寸  
 底一寸六分  
 高量三寸五分  
 量目五拾目



尾州家法小納戸茶碗

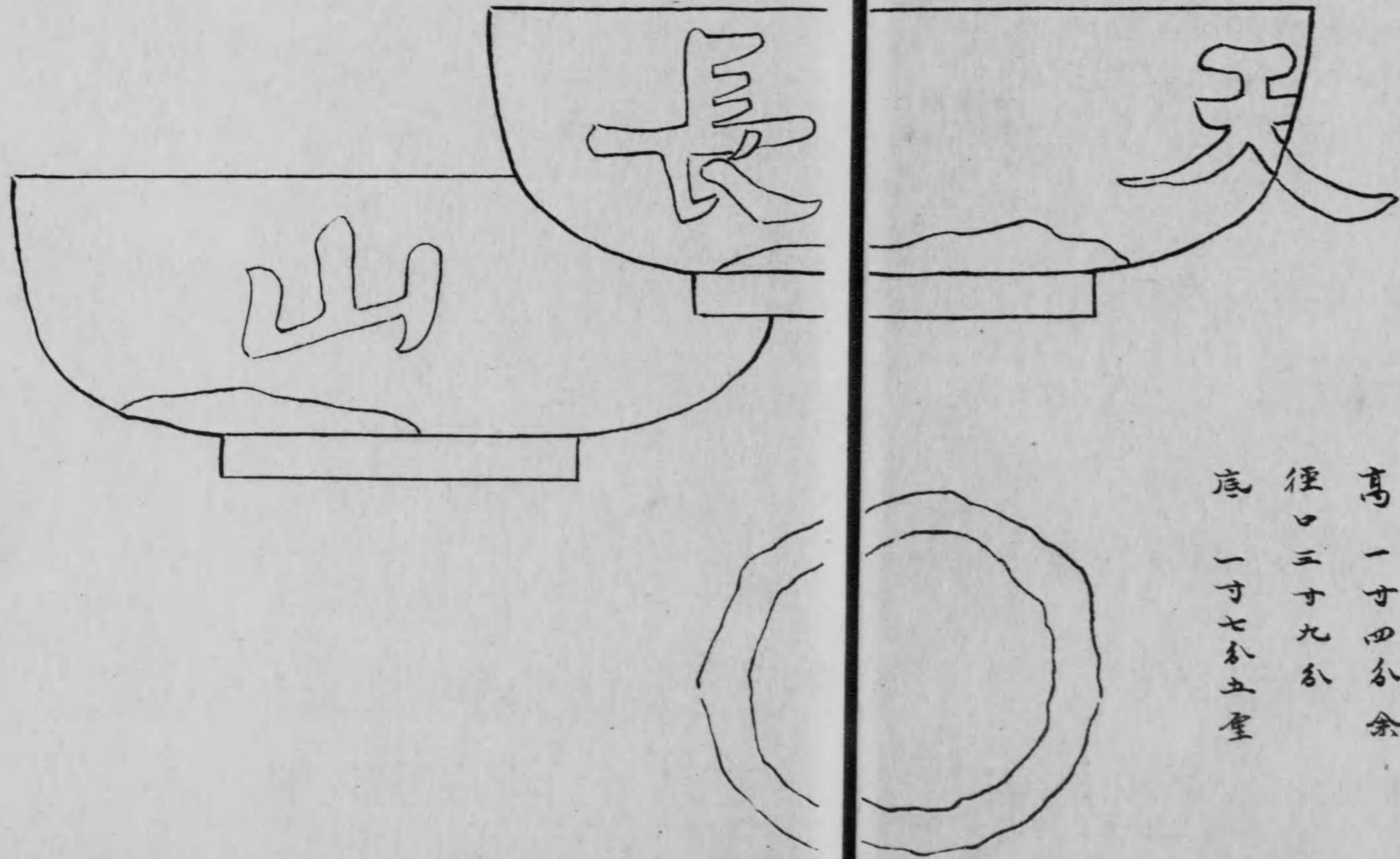
但一形有二種本圖の如  
一寸法不同



天長山の茶碗

但一研茶碗に類似の釉

高一寸四分余  
径口三寸九分  
底一寸七分五厘



地藏尊の正像

女に流深井袖といふが全体に樹一背面に  
関の如く眼一あり其作人小福

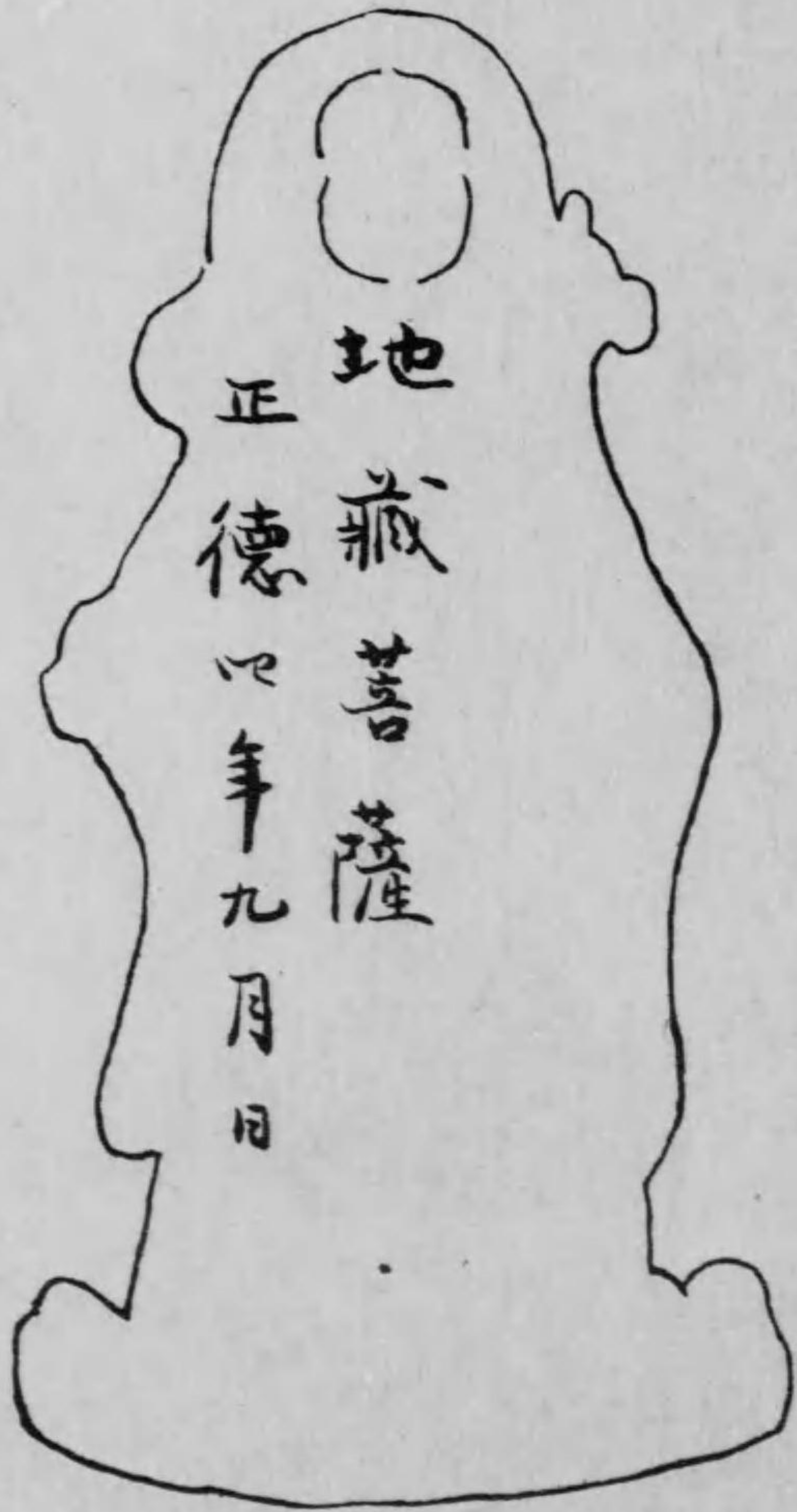
高四寸二分

胸一寸七分

其他関の如く

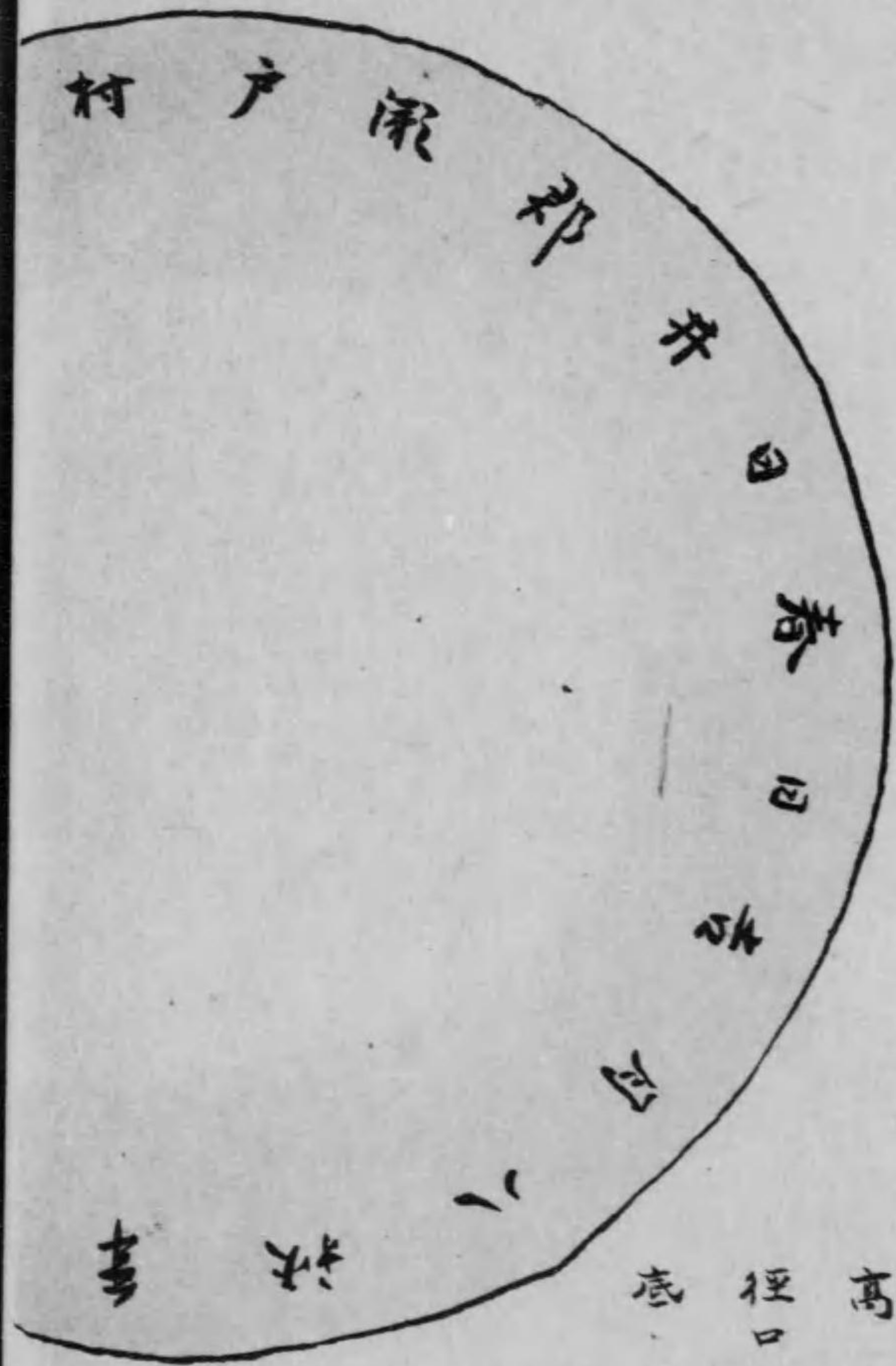
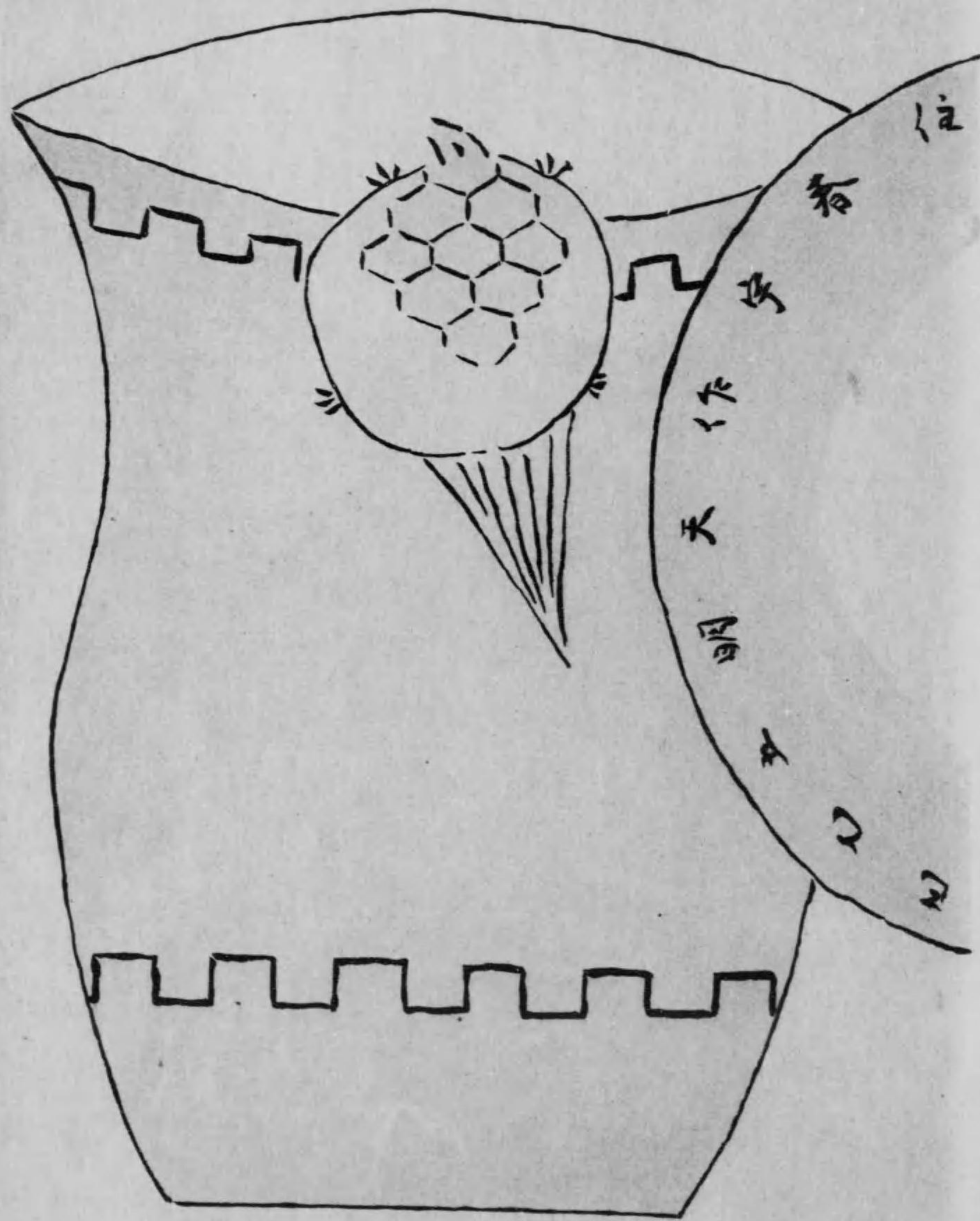


面背



地藏菩薩

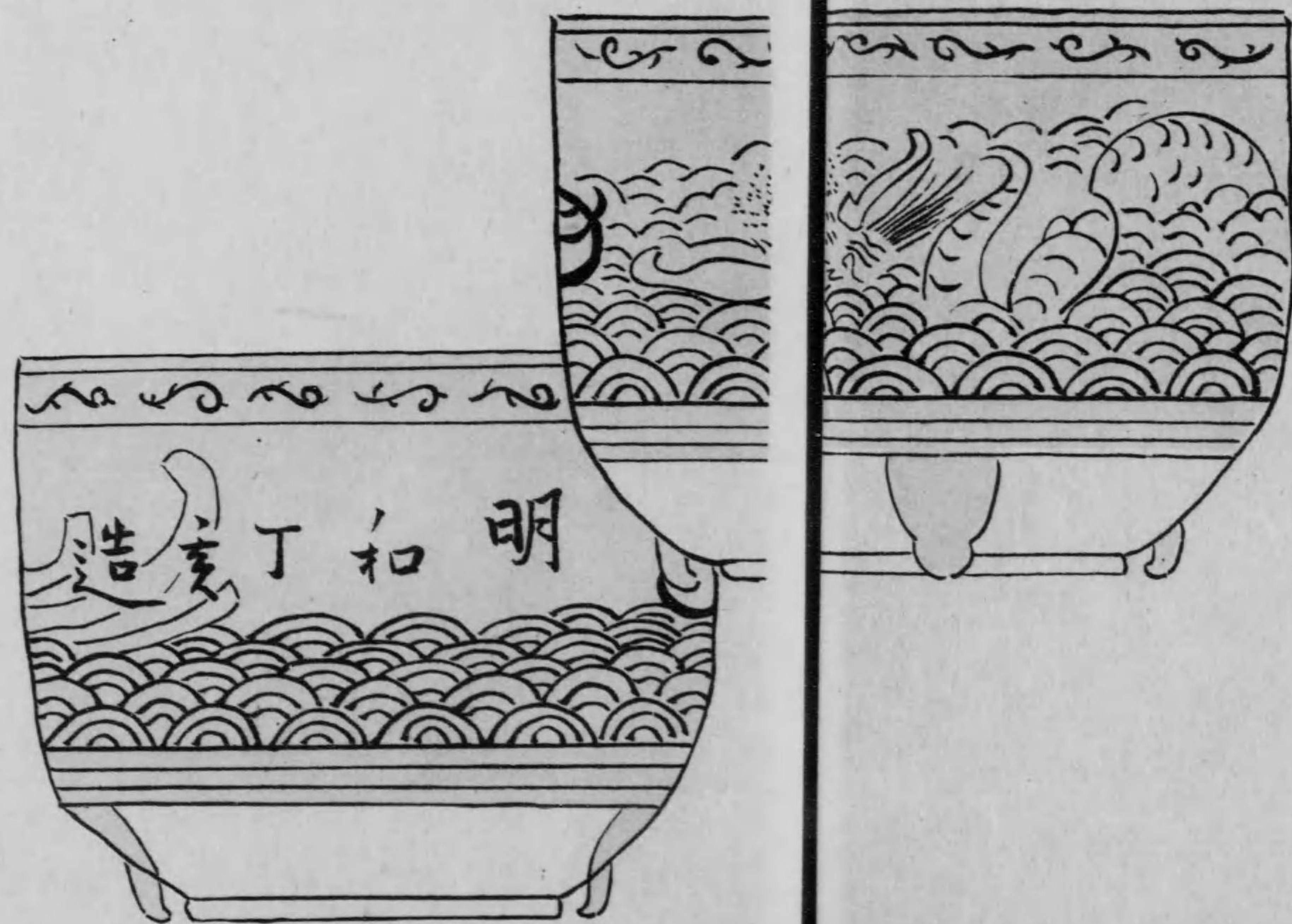
正徳四年九月日



高二尺五寸余  
 徑口二尺余  
 底一尺二寸余

瀬戸中古の名工加藤武右衛門春宇作青釉の  
 大水鉢  
 尾張熱田神宮前清火清茶屋(俗にきよはら)の法藏

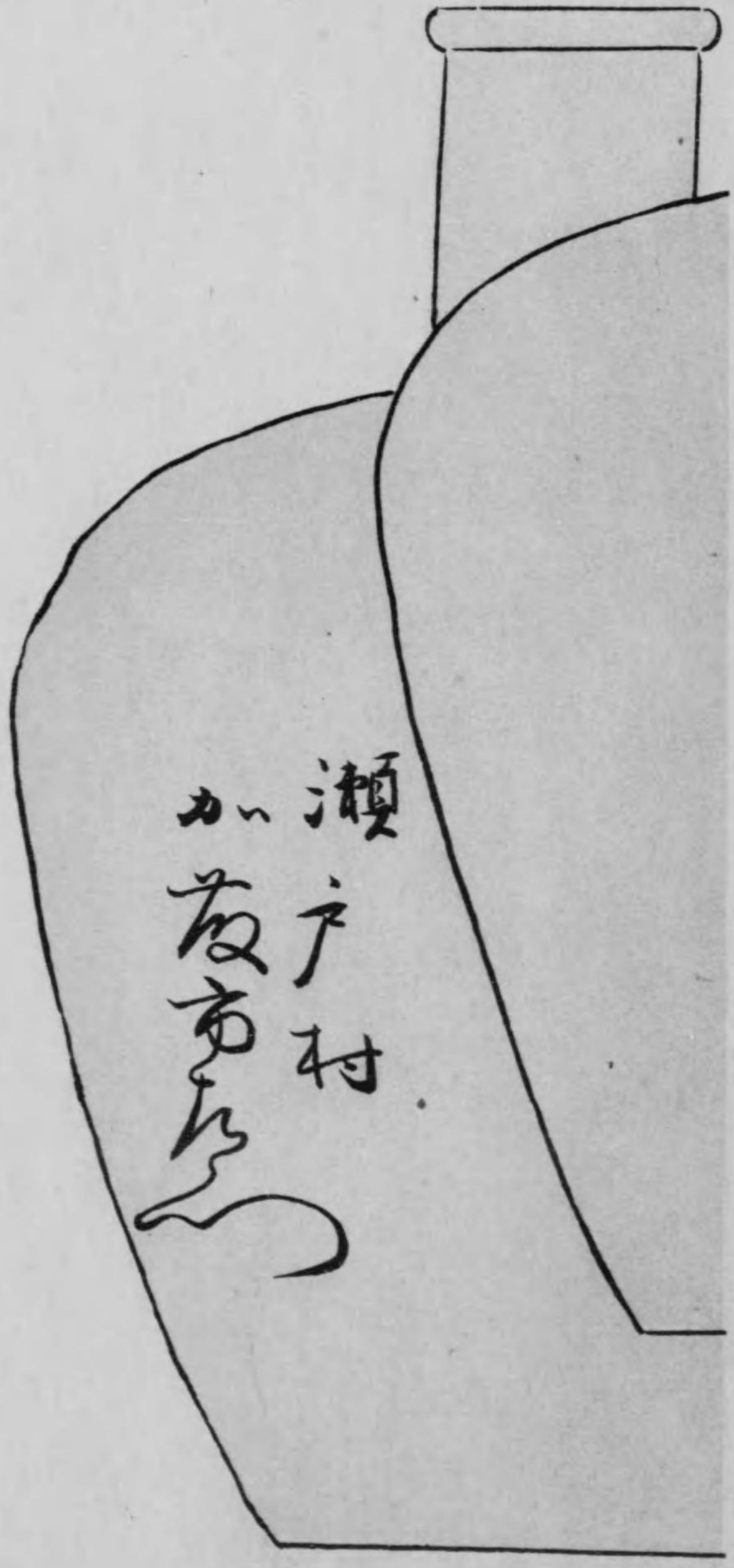
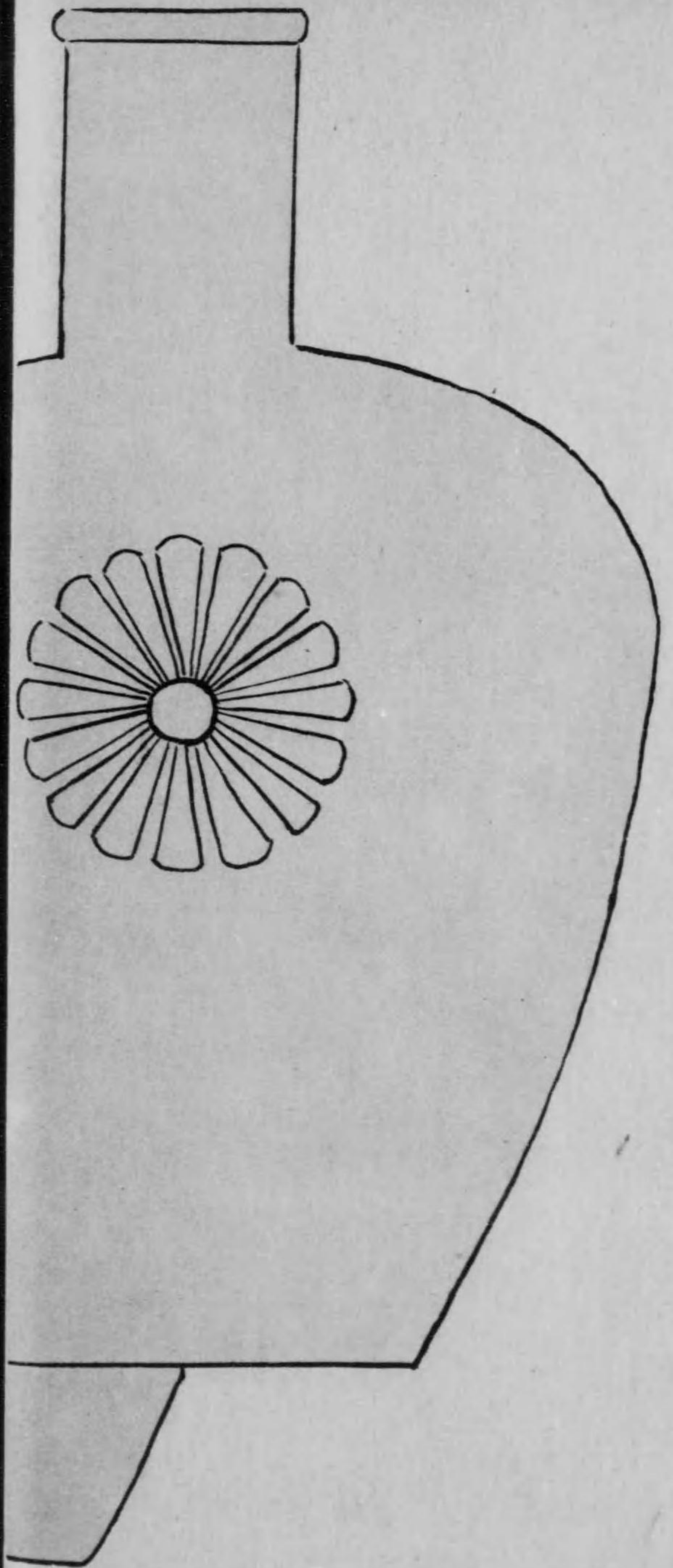
黄瀬戸細の香炉



高 二十六分  
径口 三寸二分  
臺 一寸六分

黄瀬戸釉の如神酒壺

但し安永年間之作形状寸法本圖の如し



瀬戸村  
加茂商店

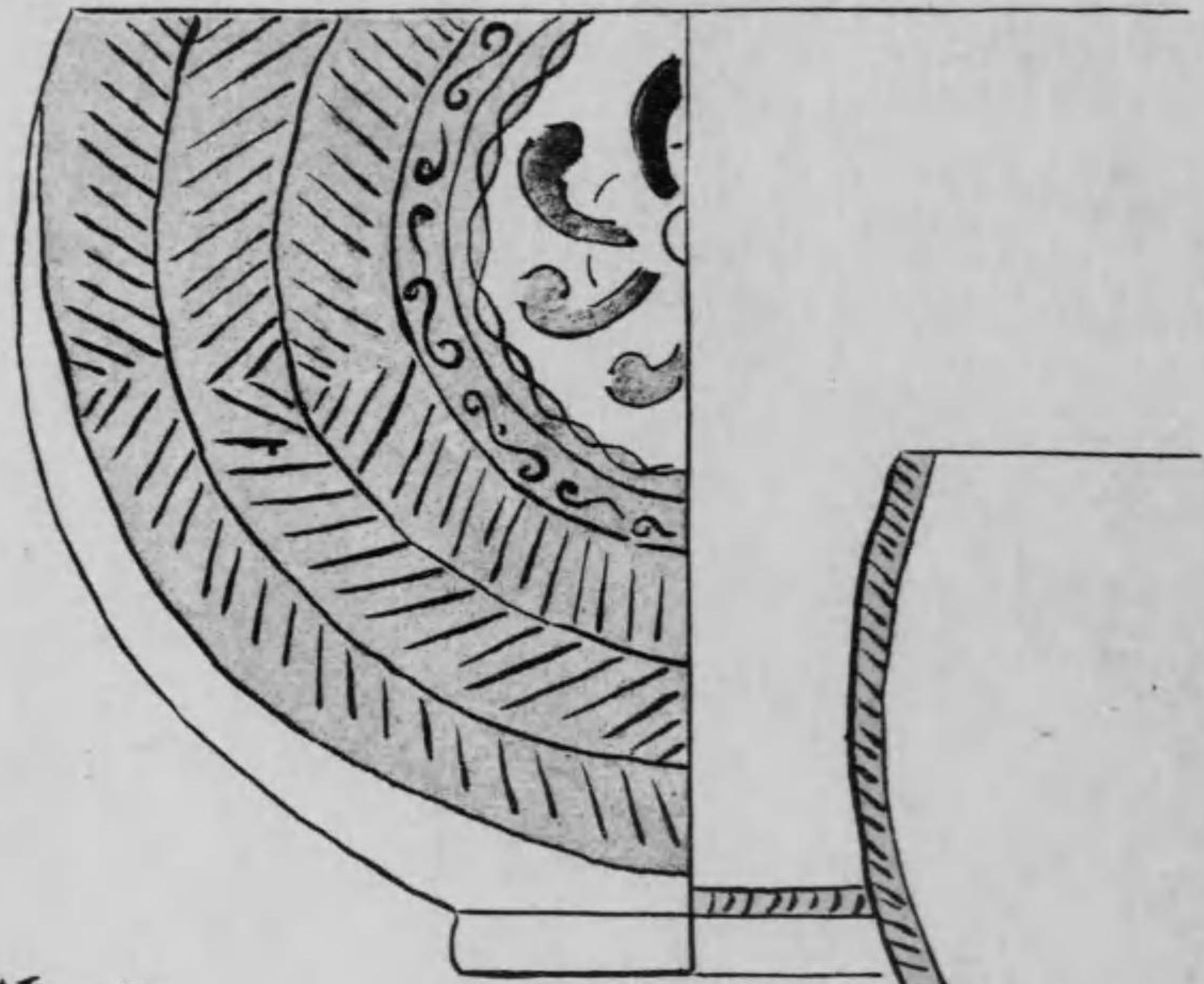


瀬戸の磁祖加藤民吉保賢作依形青華磁の茶碗  
 此碗と保賢尾張の於津金文左御門胤長よ  
 り製磁の法心得て初て試焼せし三つの内に  
 瀬戸物流藏元  
 たてし左のま  
 氏に贈りし貴  
 室の品ふり

瀬戸物問屋

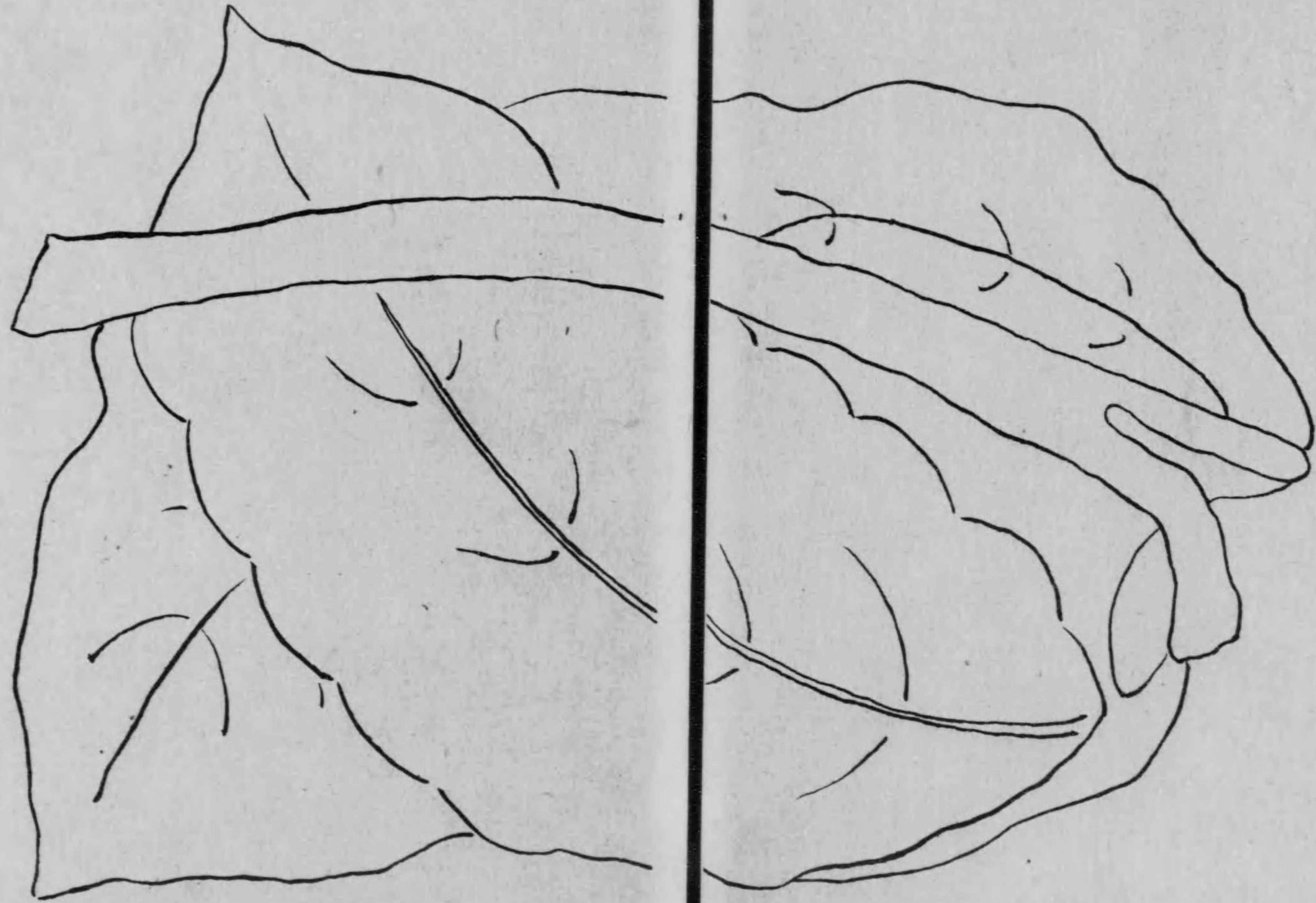
山内英助

吉田貞如



高 二寸九分  
 径口 三寸八分  
 三寸六分  
 底 一寸五分  
 其他圖の如し

加藤民吉作瑠璃地重木葉形の手鉢  
形状寸法図の如く裏面に文化年製とあり



瀬戸の陶工加藤善治作弘法大師の正像

貳子体の一地質柔にして釉薬が沁みこむ

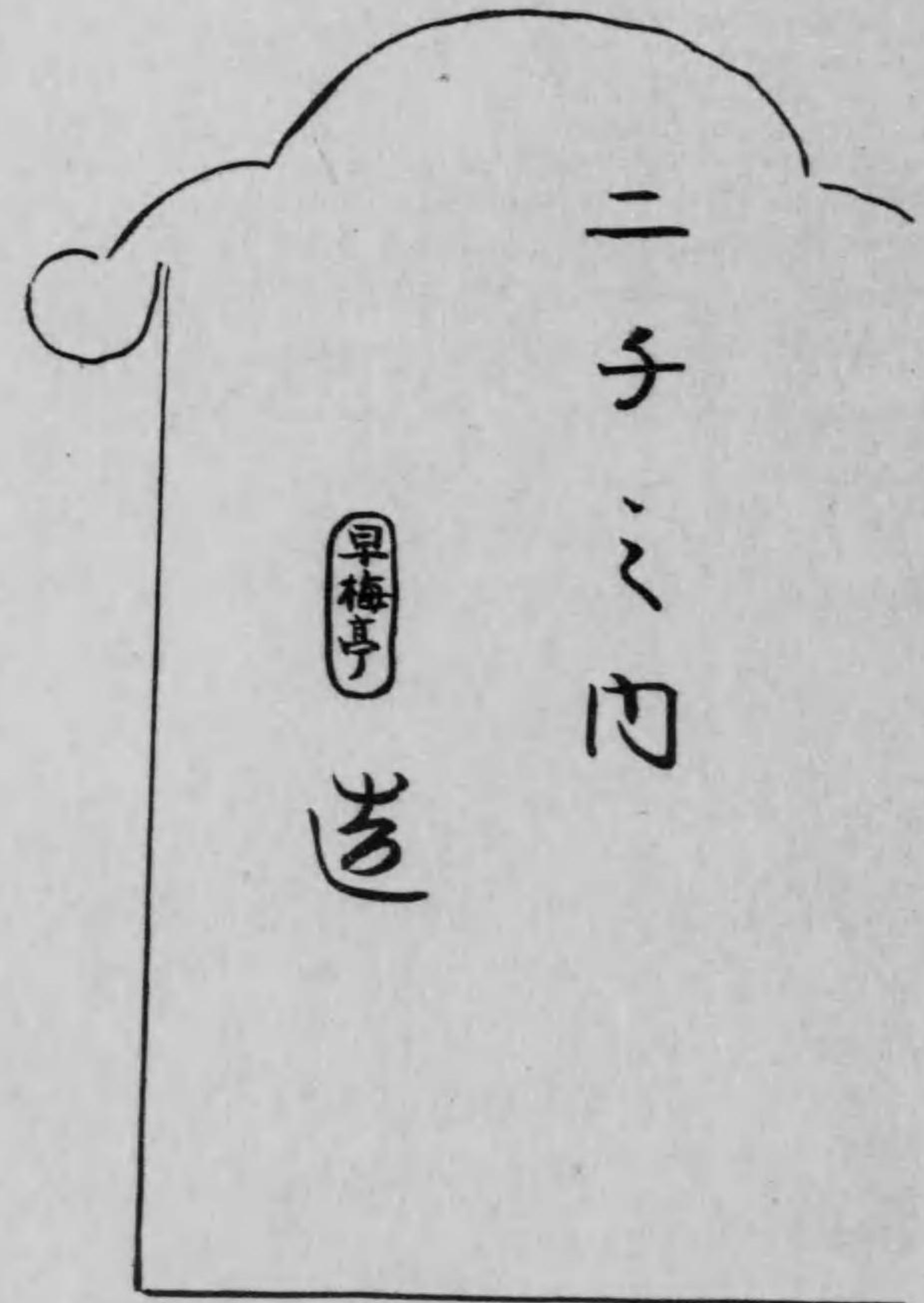


高三寸二分

幅二寸七分五厘

其他國の如し

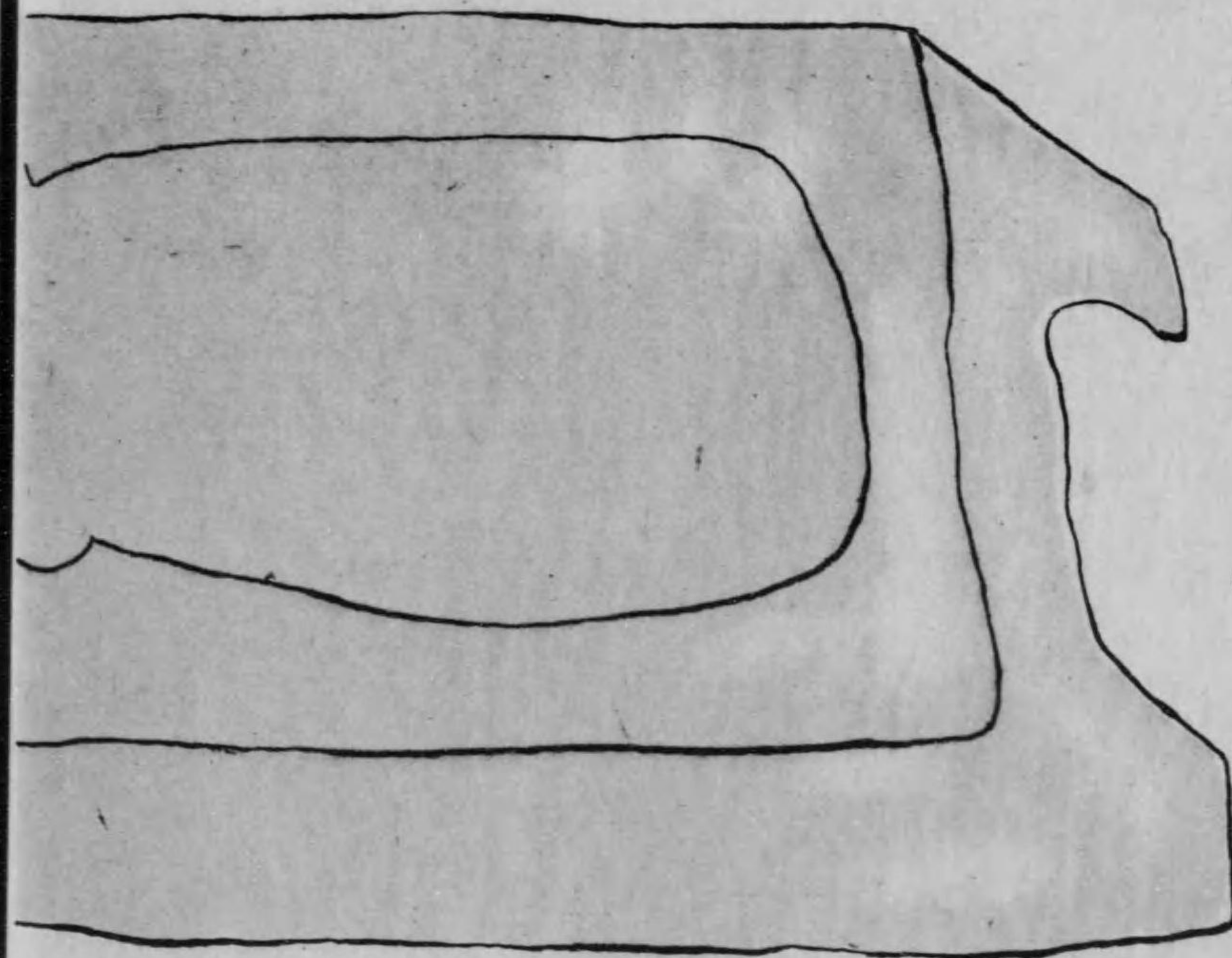
背 面



二子之内

早梅亭  
造

田中訥言作黃瀬戸釉の硯



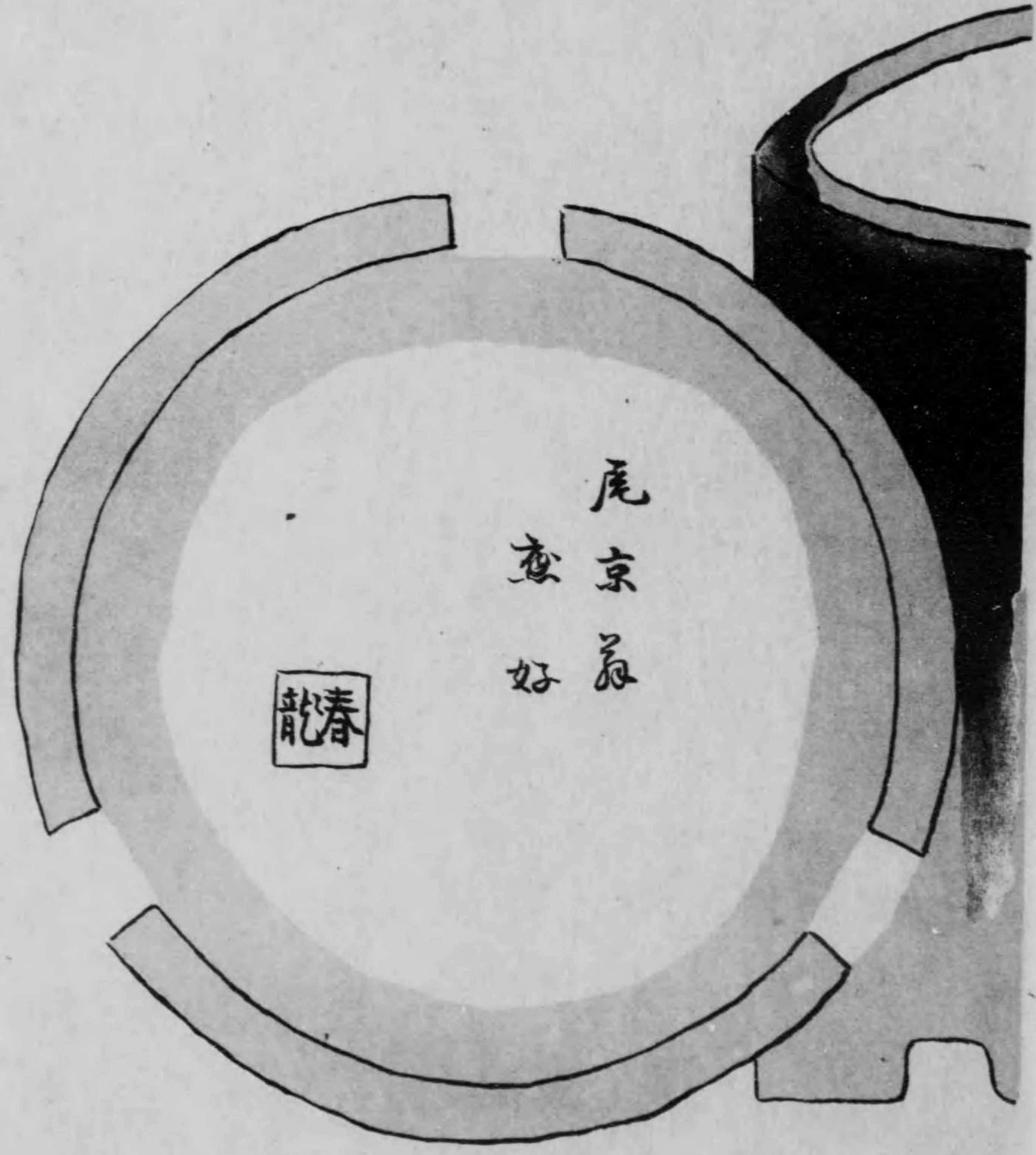
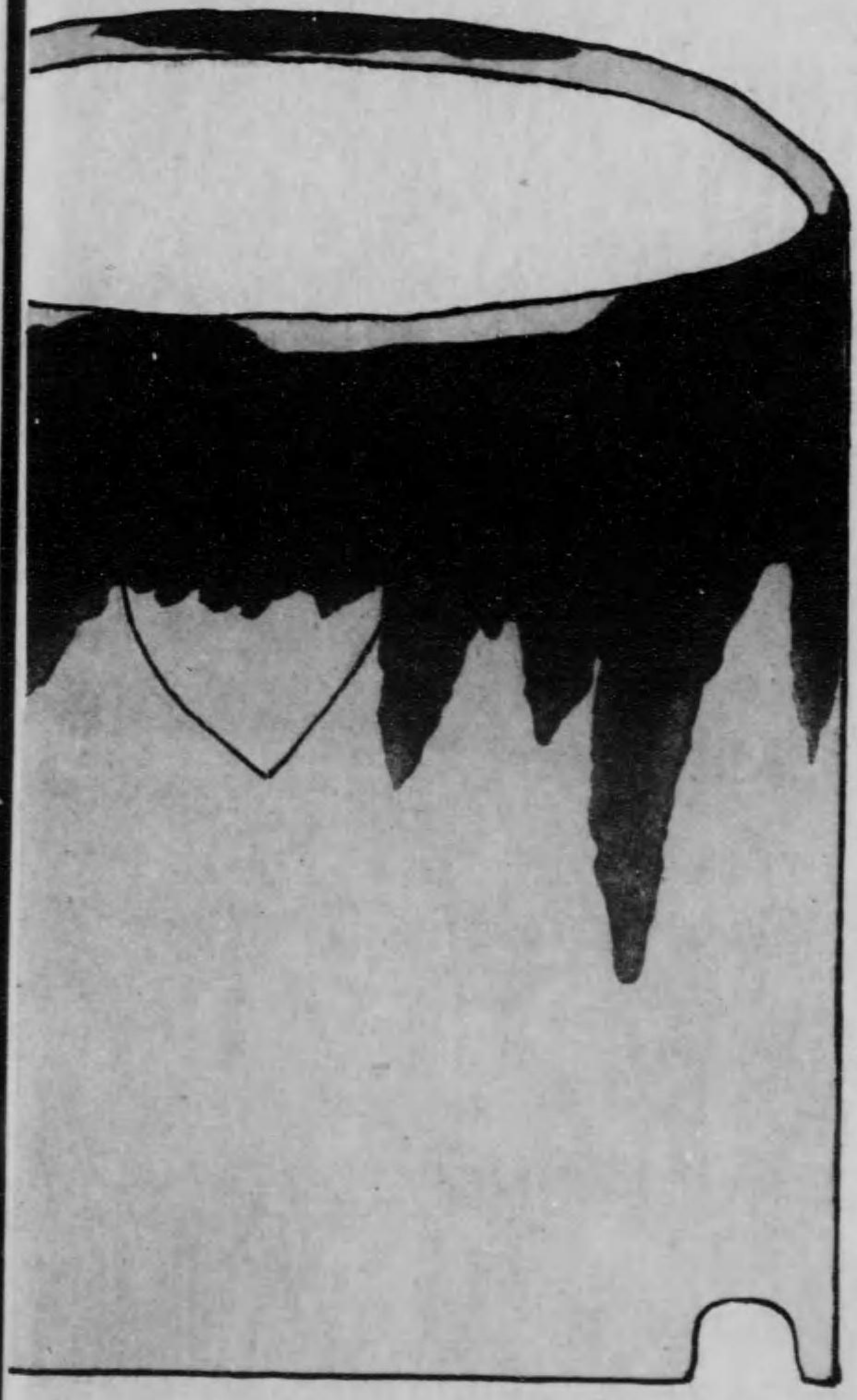
長 四寸九分  
幅 二寸三分余  
厚 九分  
墨溜幅一寸五分  
全深貳分

裏



唐木屋古細形古瀬戸釉の大鉢

高 七寸八分五厘  
 底 八寸二分  
 径 八寸三分五厘  
 措 四  
 厚 九七分五厘 不回  
 春龍印 方六分

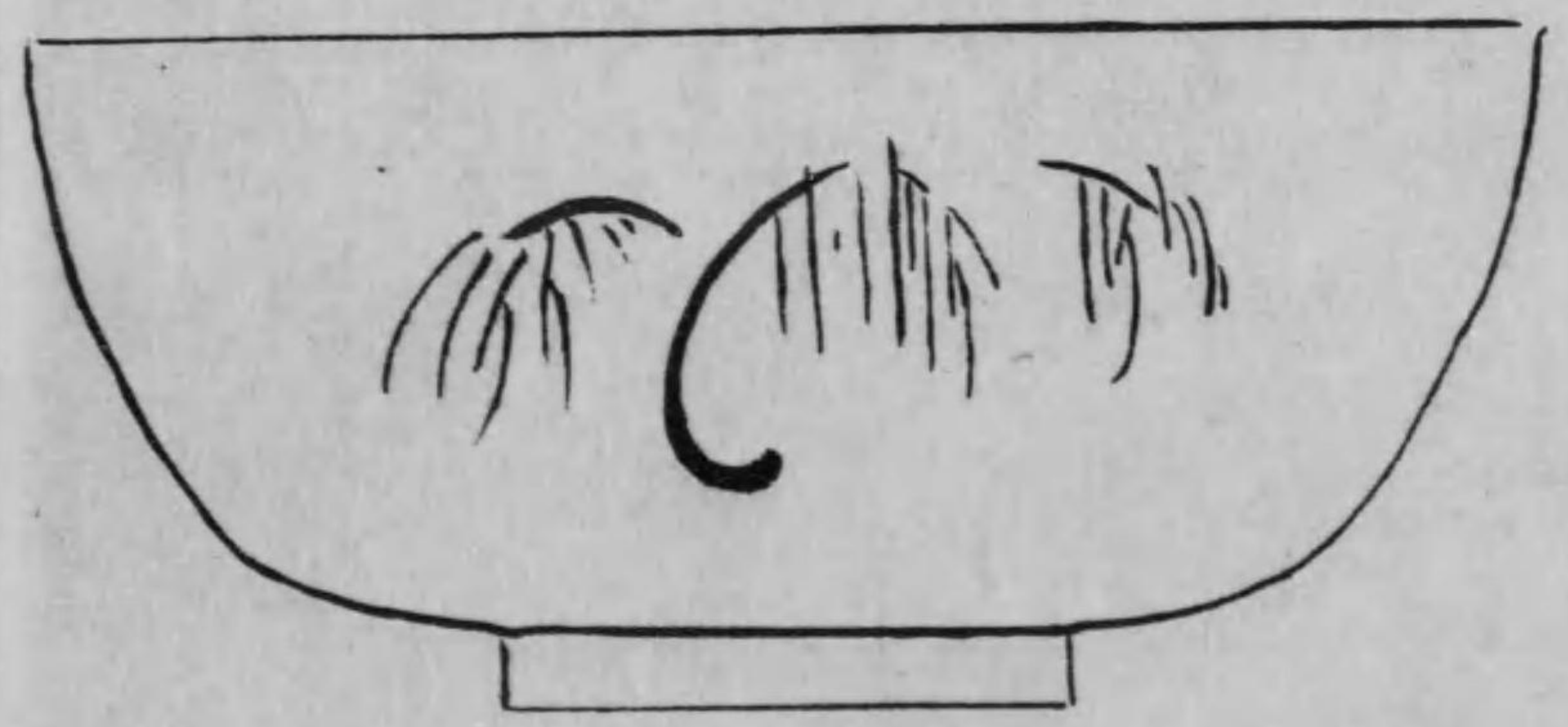
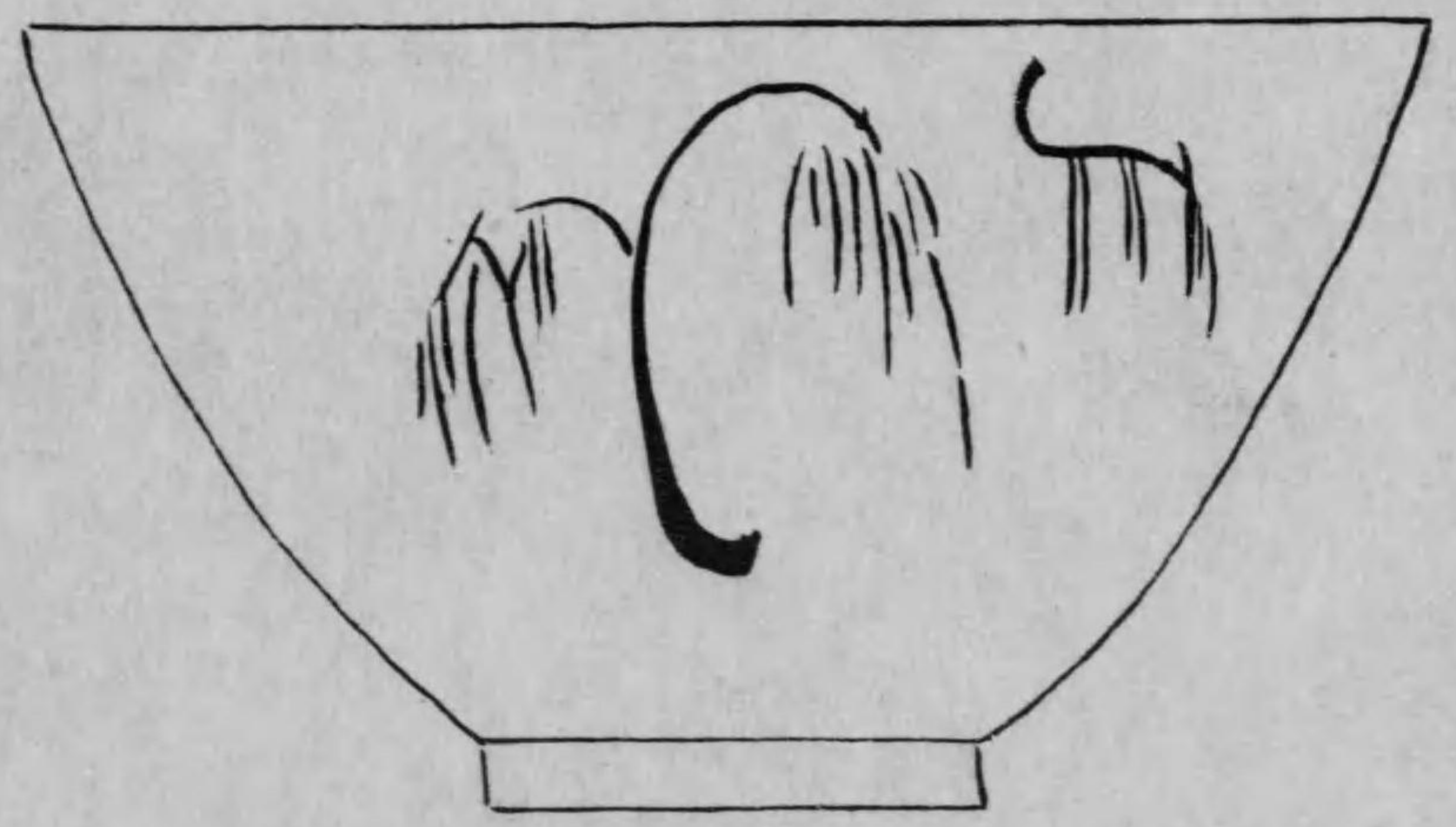


尾京最  
 煮好

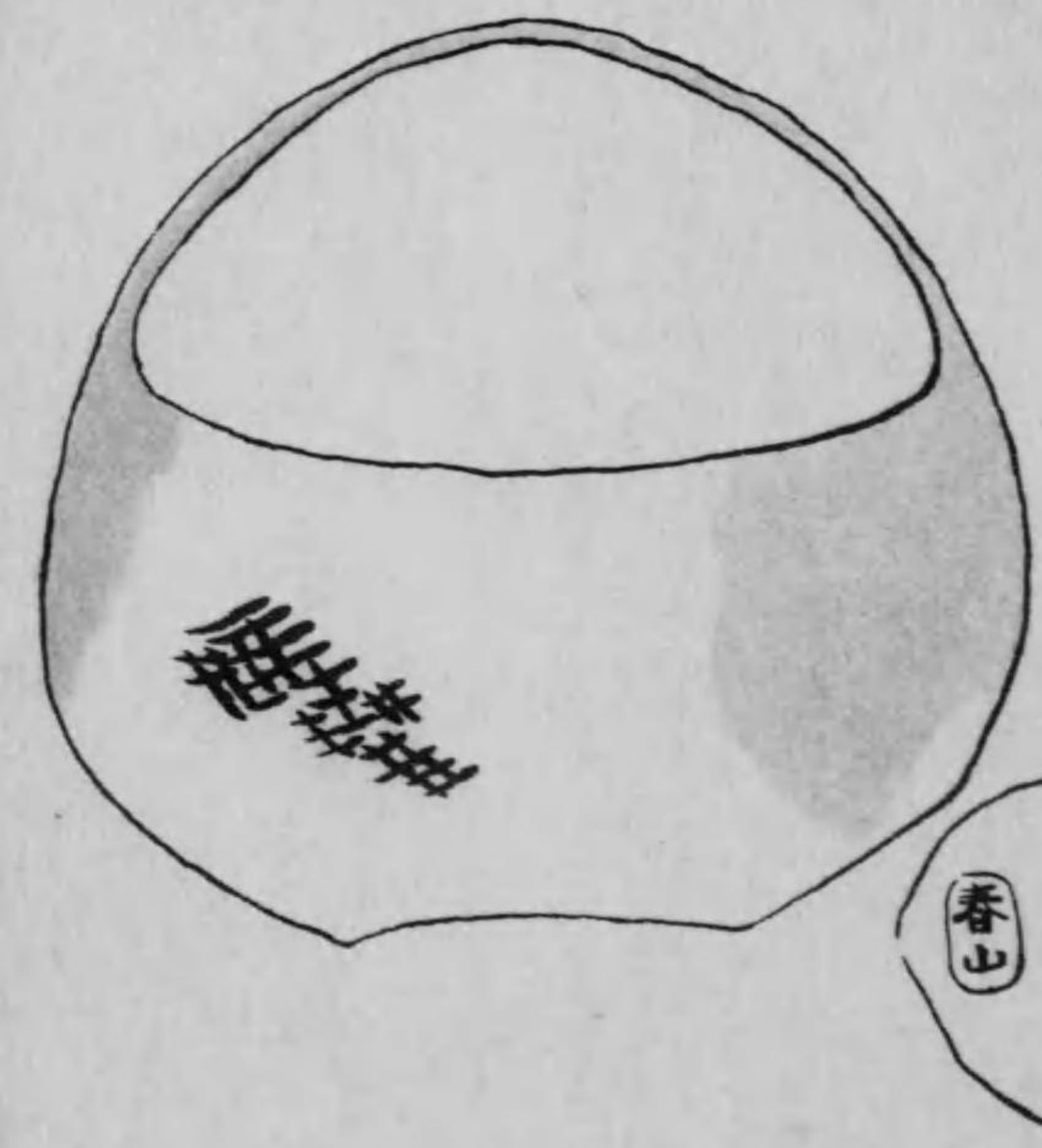
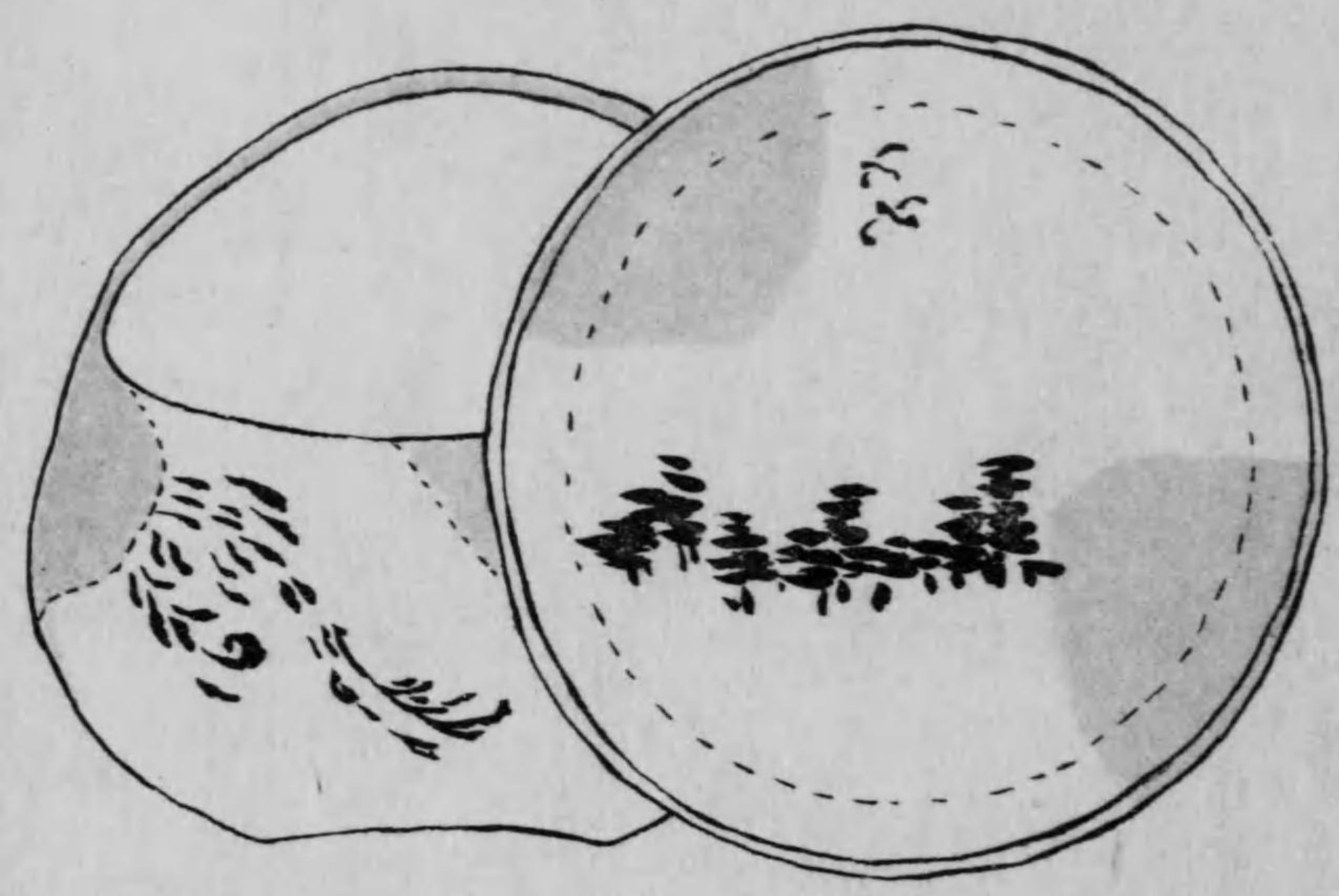


尾州家柳条碗

但一形有二種  
本圖の如し寸  
法不同



春山作織部釉の子鉢



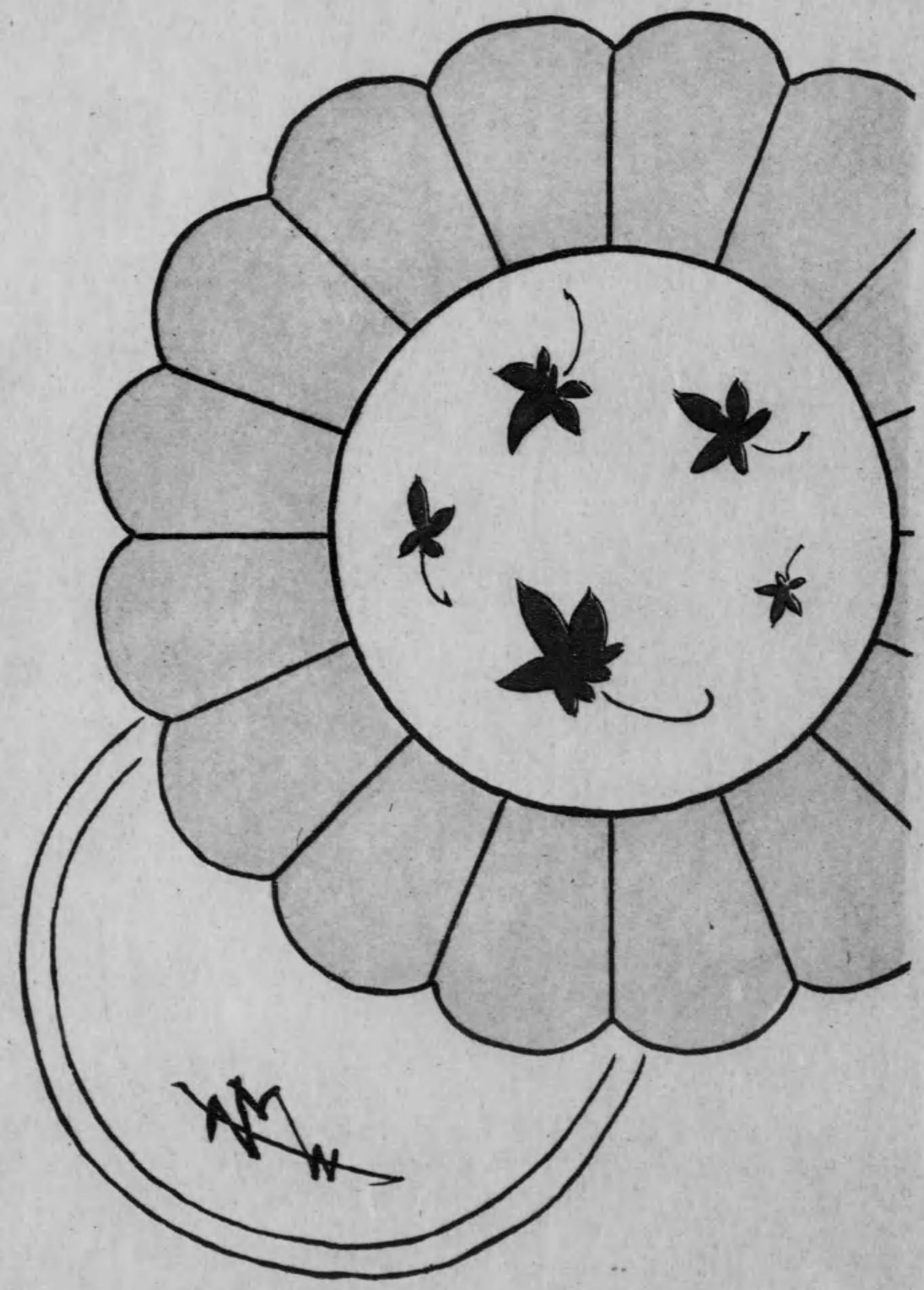
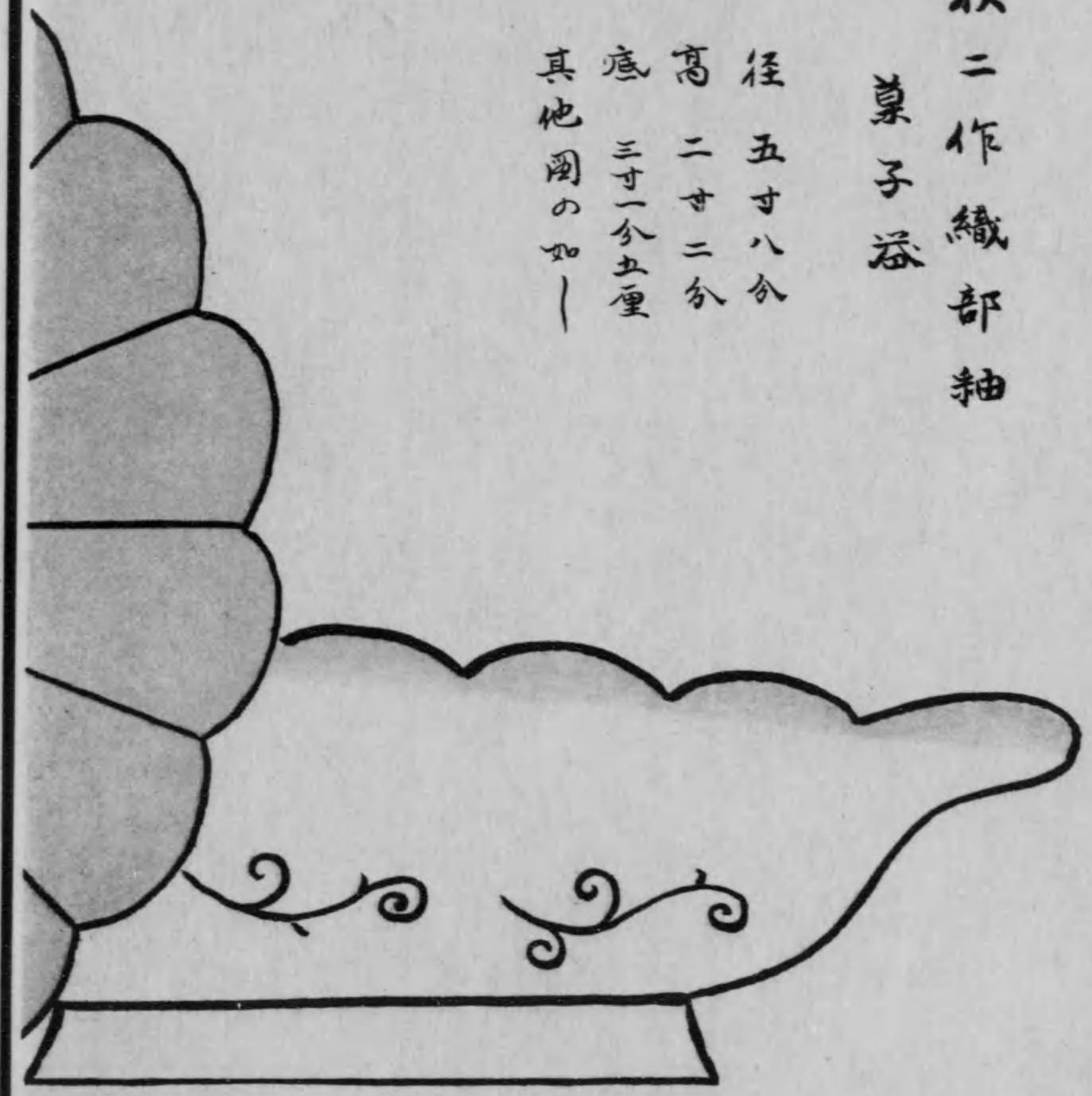
高 四寸七分五厘  
径口 四寸七分  
深 二寸四分五厘  
底 一寸八分

底

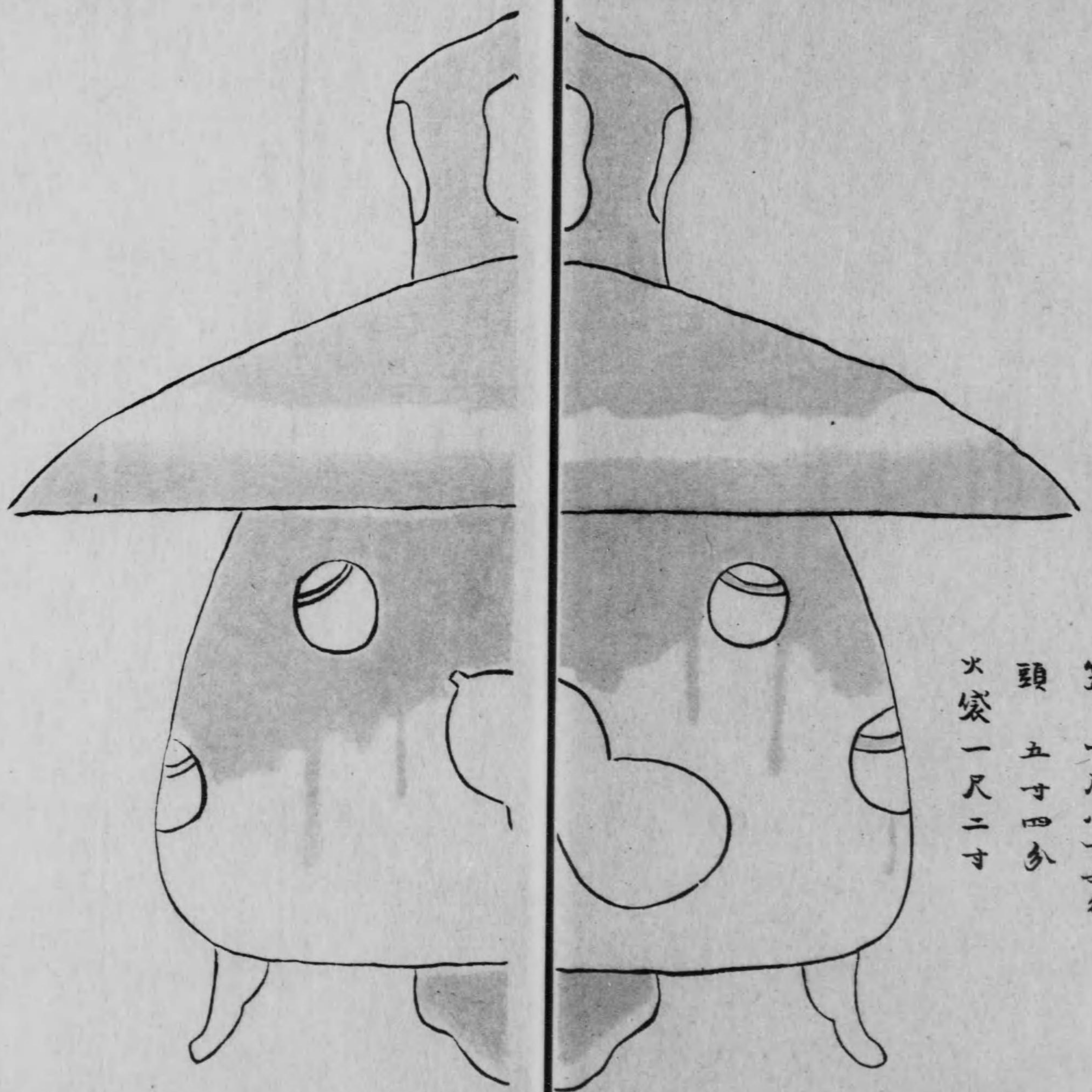


秋二作織部軸  
菓子盆

径 五寸八分  
高 二寸二分  
底 三寸一分五厘  
其他圖の如し



木澤寛作 助作 織部 細の置燈籠

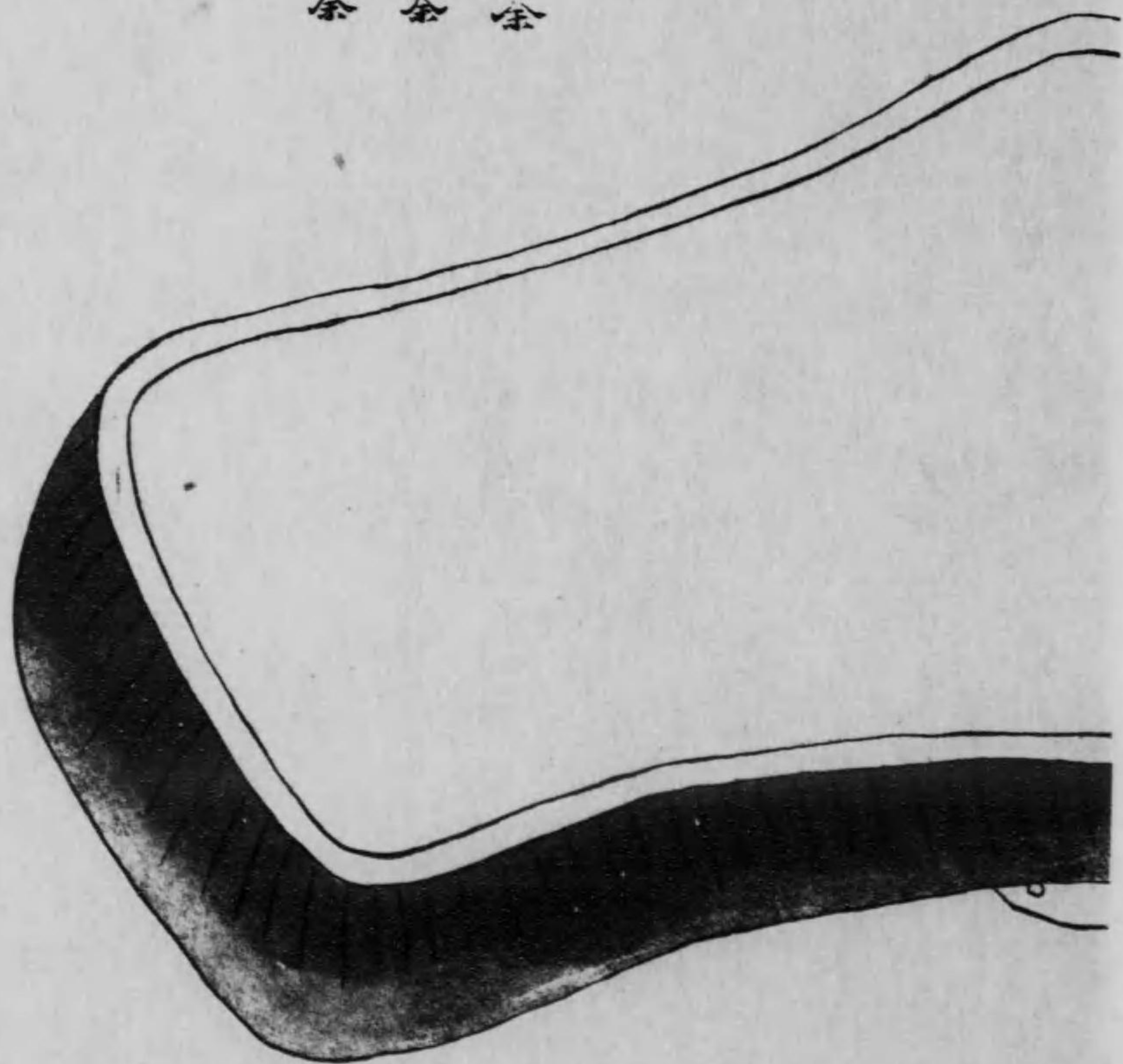


高 一尺九寸八分  
笠 一尺八寸六分  
頭 五寸四分  
火袋 一尺二寸



猿頭  
の  
硯

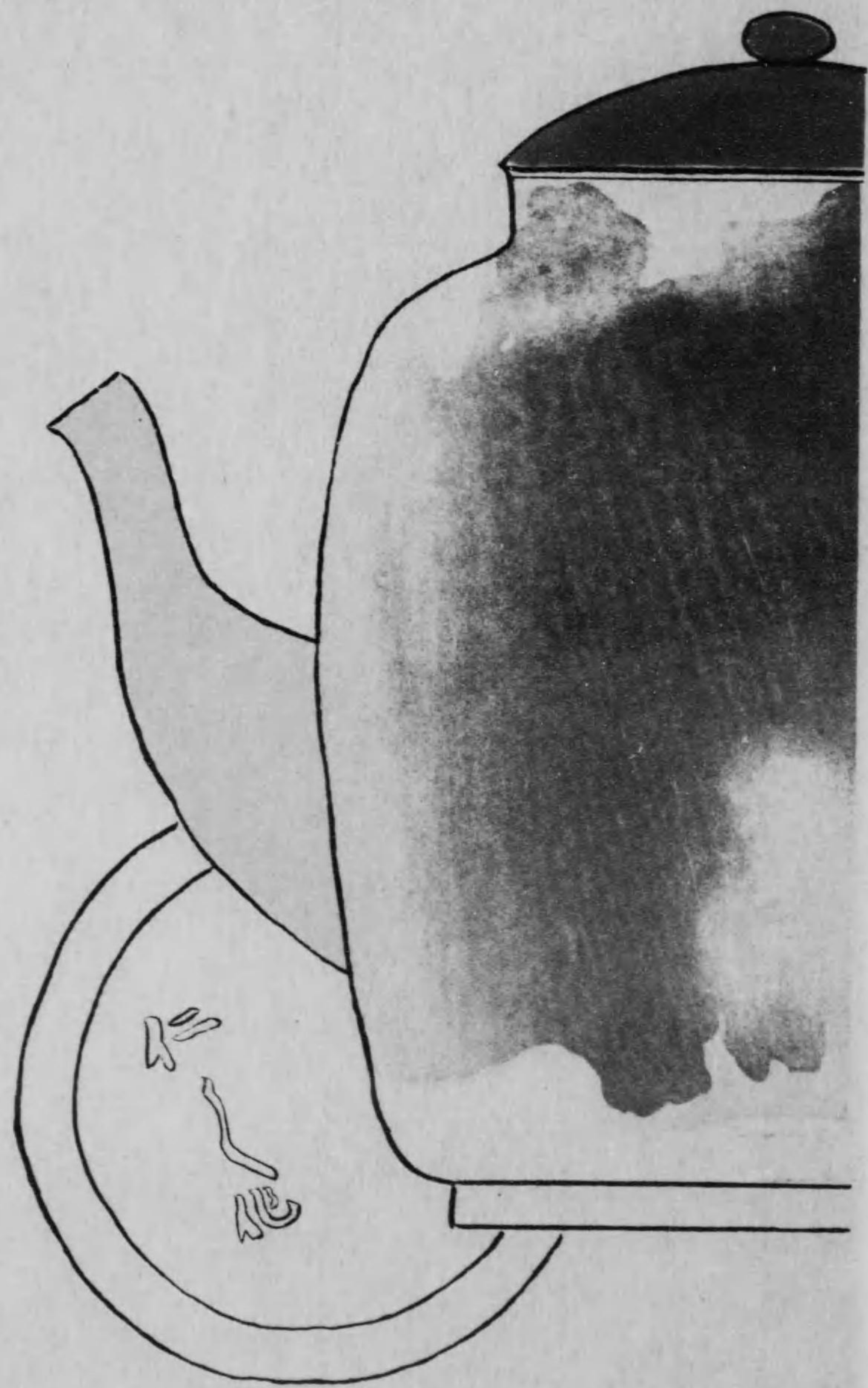
長 五寸八分  
幅 上二寸八分 下三寸八分  
高 一寸四分余



裏  
面



朝野群臣召物書曰 左辨官  
下尾張國應身遠進上猿頭硯  
長治元年九月甲寅春  
嘉永七年  
尾張國瀬戸陶工阿蘇之  
加藤吉右士門齋之



高六寸  
 肩三寸五分  
 口二寸三分  
 底二寸七分  
 其他圖の如し

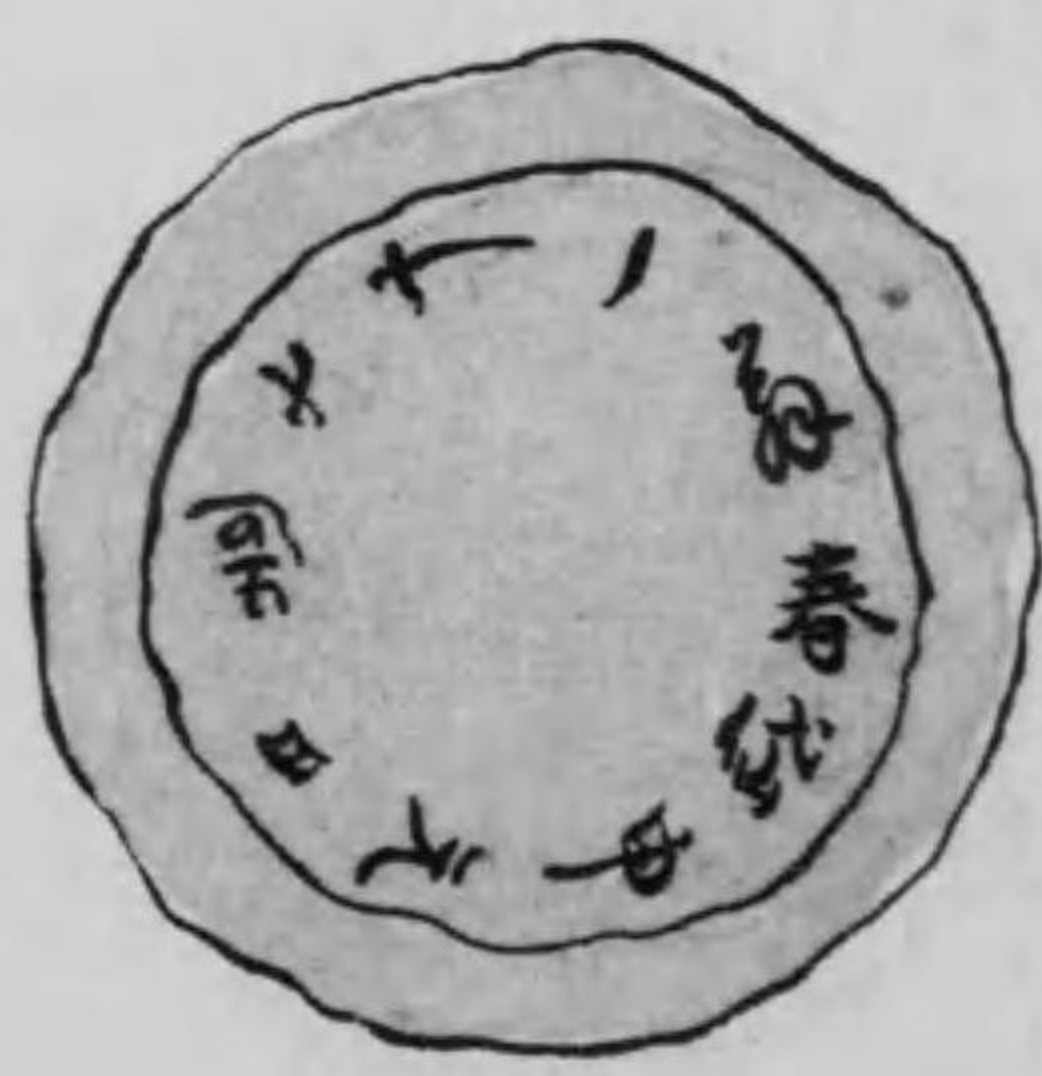
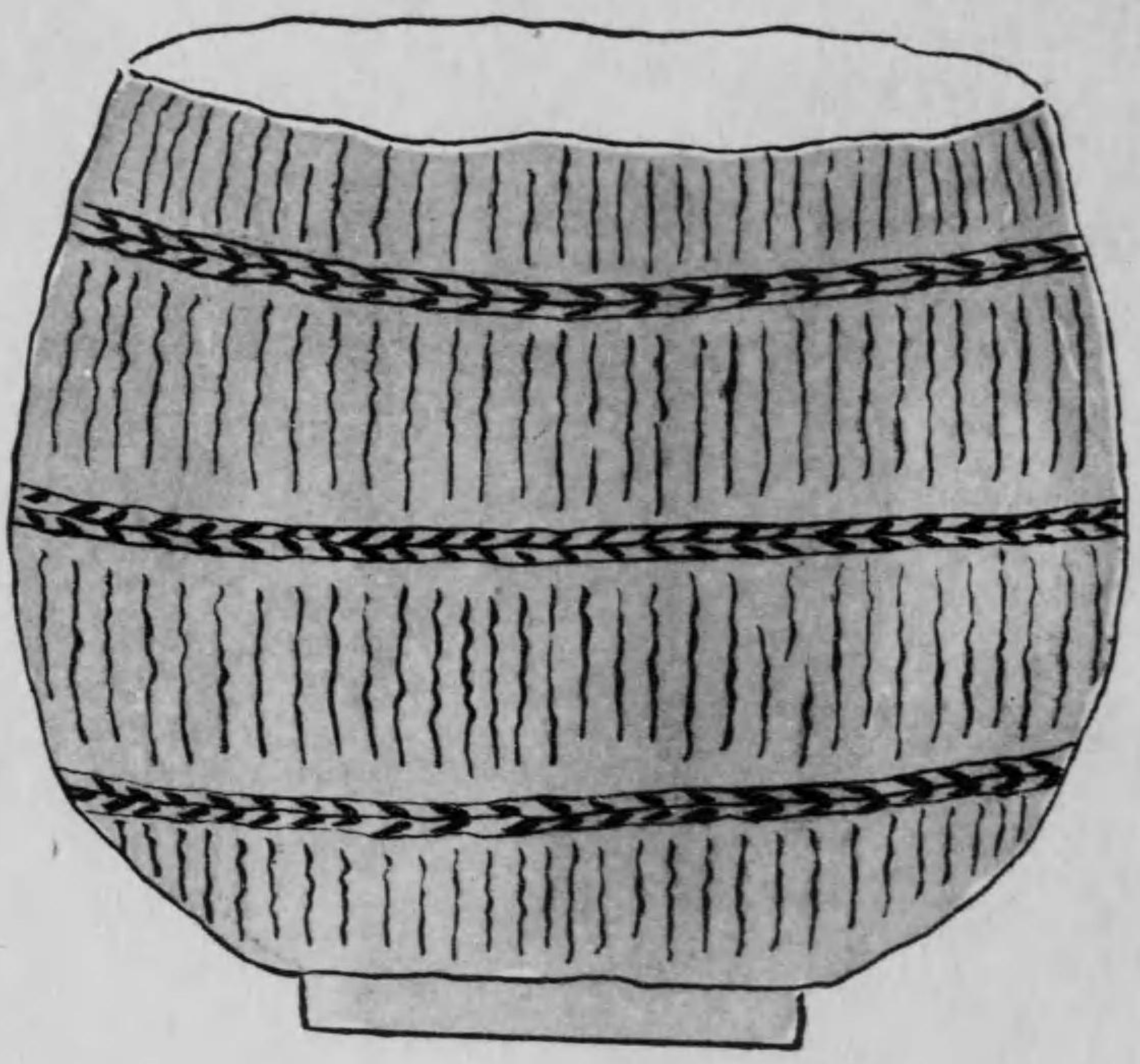
赤付窯加藤仁兵衛作力ナケ軸金流一の水次

春心作俵形赤茶碗形状寸法本圖の如し  
 附言瀬戸の赤茶屋と云ふを瀬戸深井寛の側ら  
 にあはぬ亭の事ふら

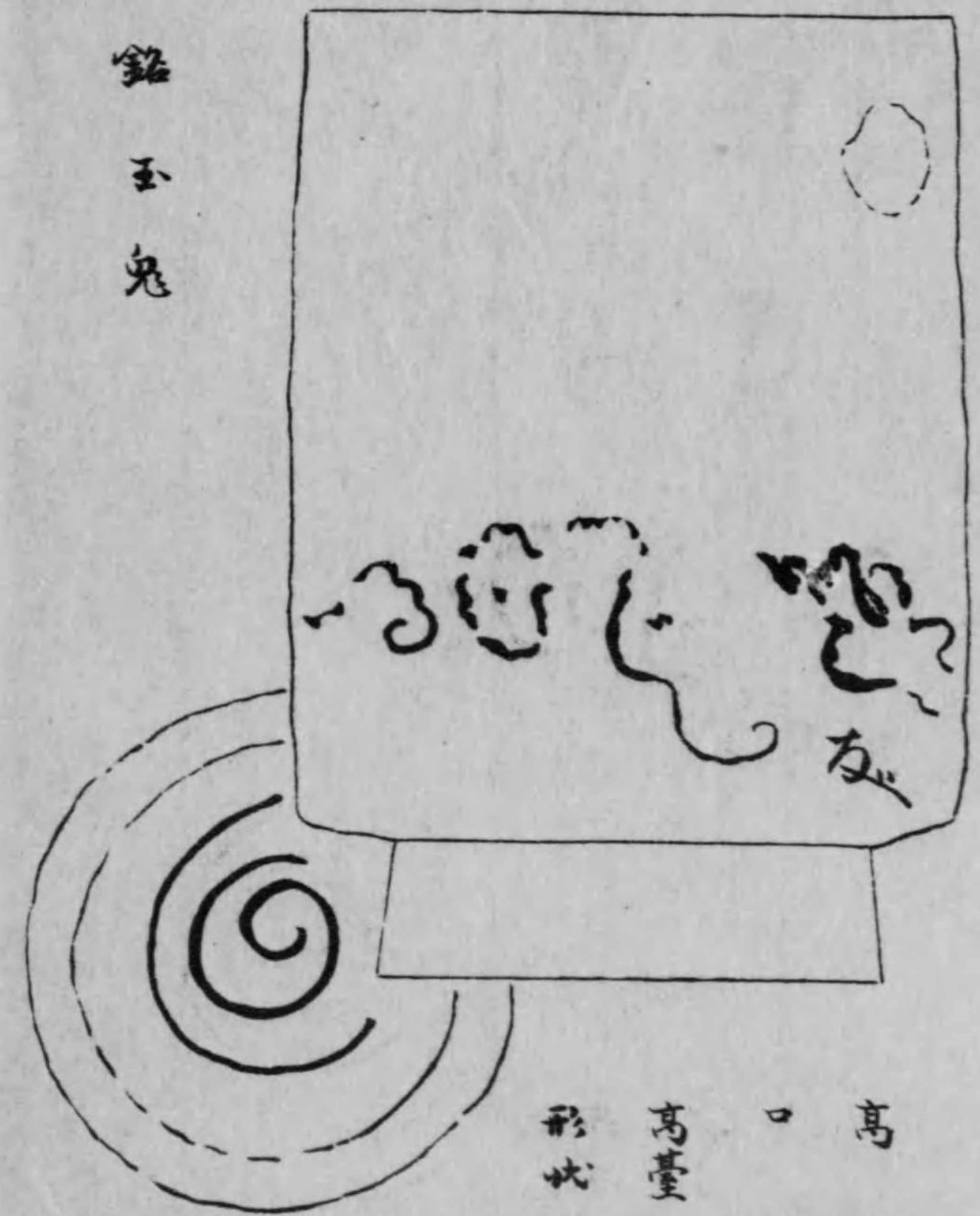
赤茶瀬戸の赤茶屋越年明る申  
 えり年経あきの方に向ひ作らぬ  
 手玉俵形——大小両突ひあて  
 小六九く正札三十一文

赤茶屋

申山月吉

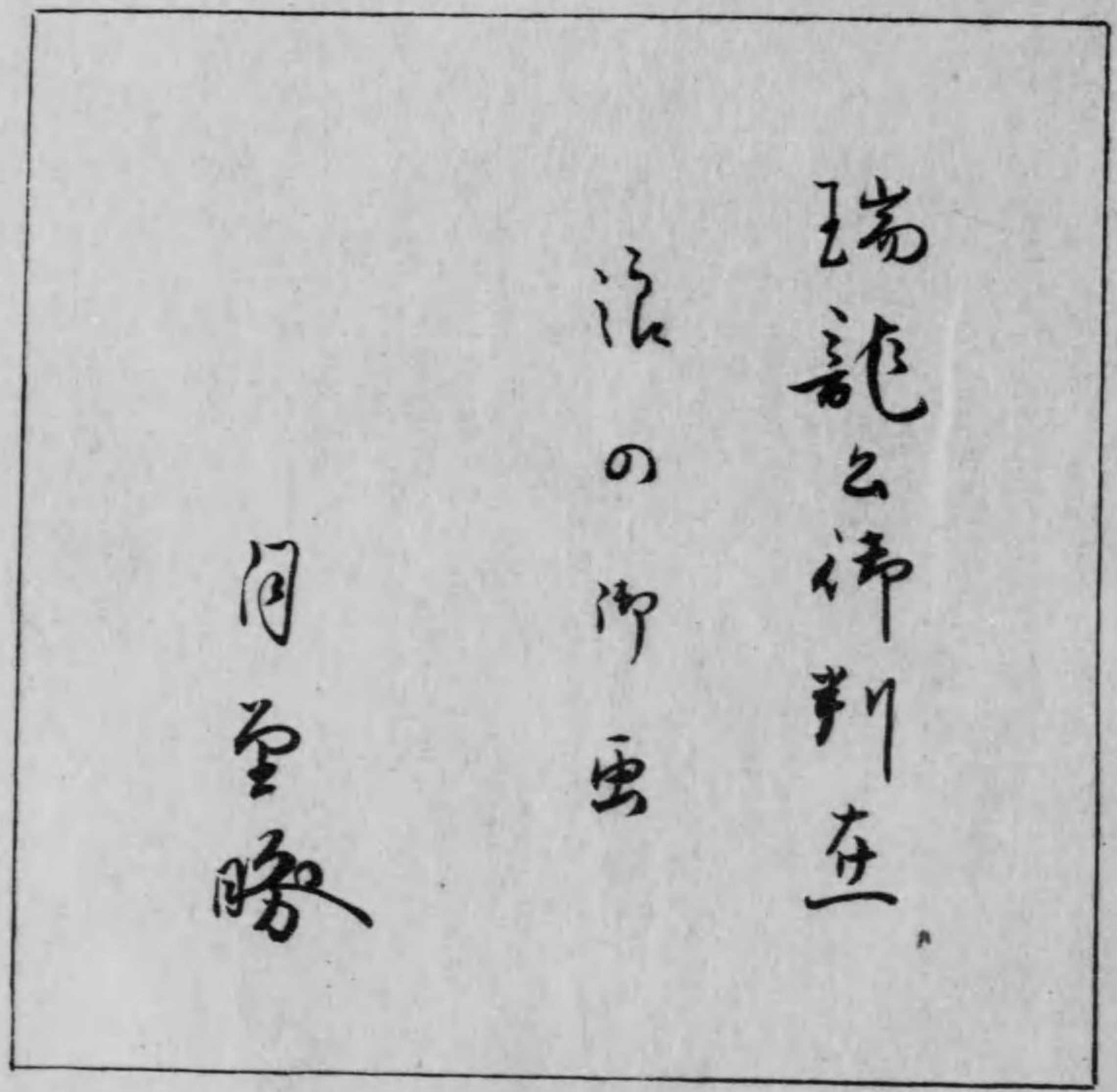


尾州家法二代光友彦の作法深弁細の茶碗  
 箱徒一位慶曆公の御筆



銘 玉 鬼

高 四寸  
 口 三寸二分  
 高臺 二寸五分  
 形 此圖の如し



月 聖 勝

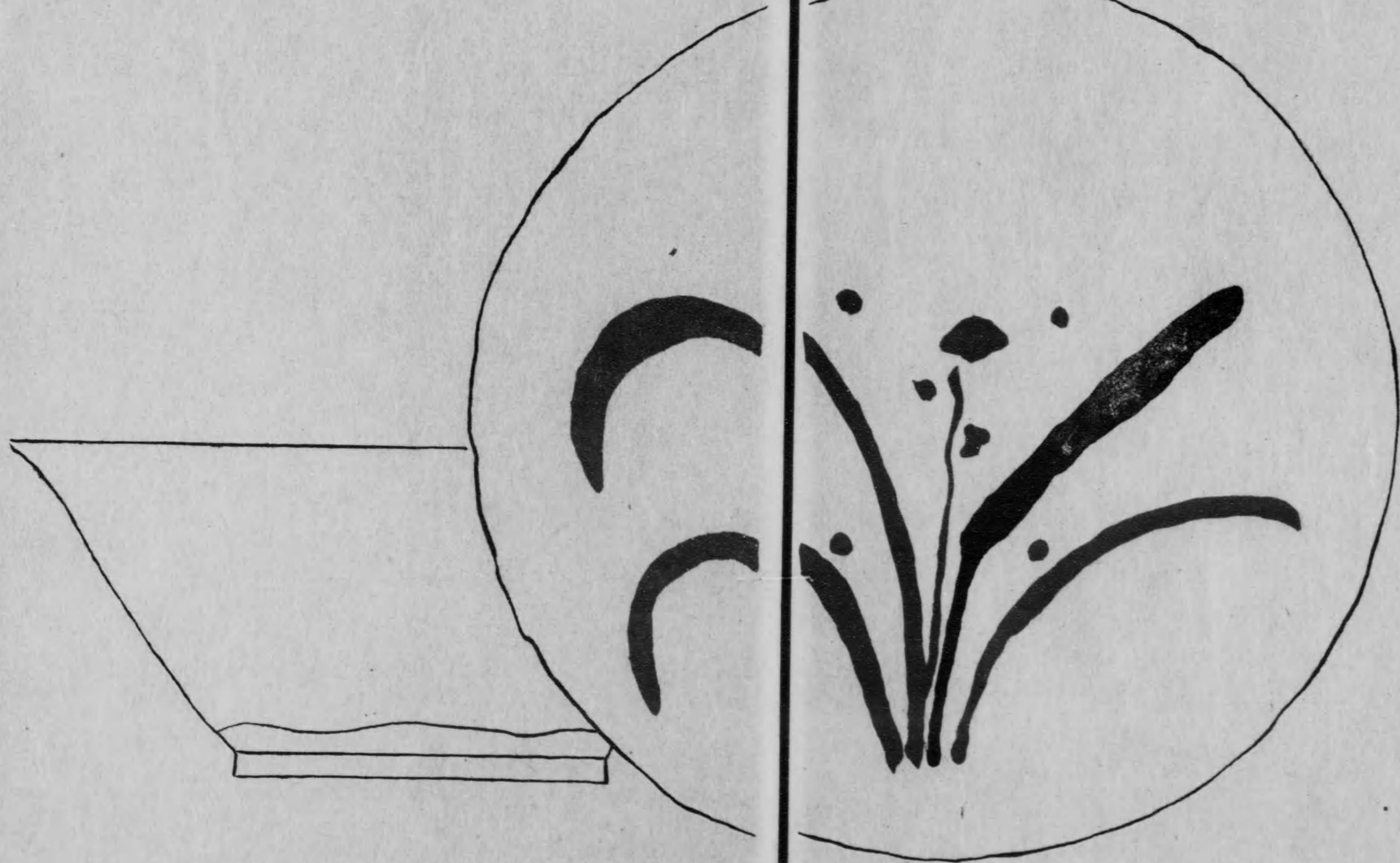
名子屋の人 島田某氏の所藏

蘭

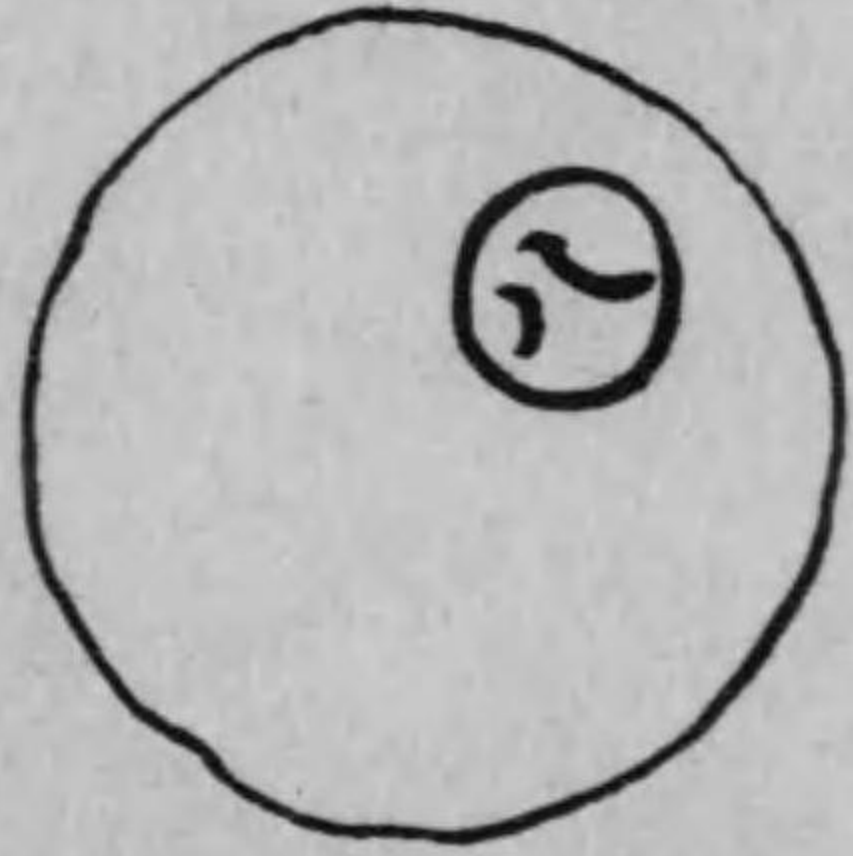
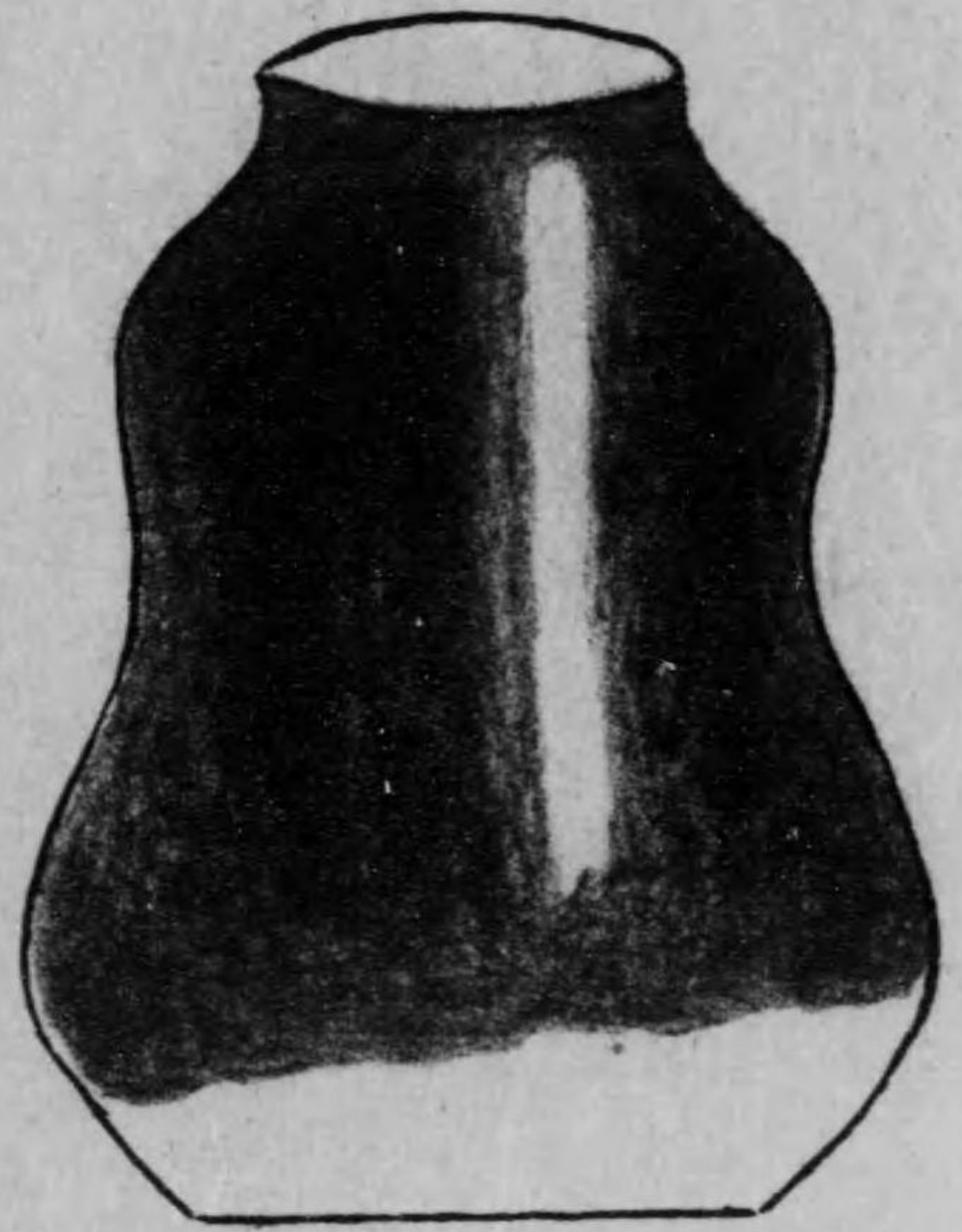
鉢

小の形

但し大中小三ツ組形状本圖の如し

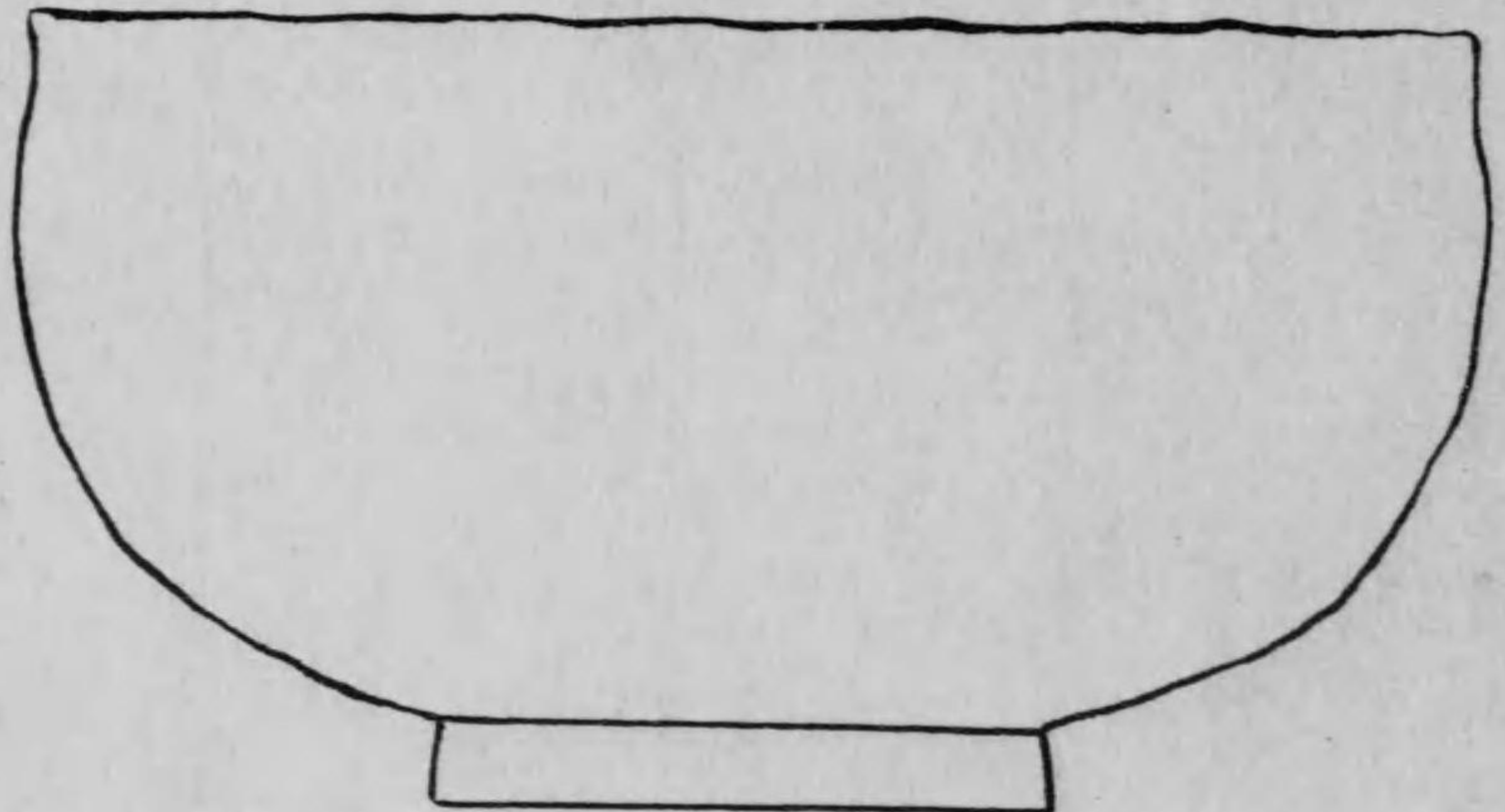


尾洲源僖彦作古瀬戸釉の茶入  
 形状寸法本圖の如し



尾洲源懿彦作萩山焼の茶碗

形状寸法本圖の如し普通  
 の萩山焼に異  
 質黄包の釉  
 細紋帯の  
 存在上好の  
 茶碗



臺海



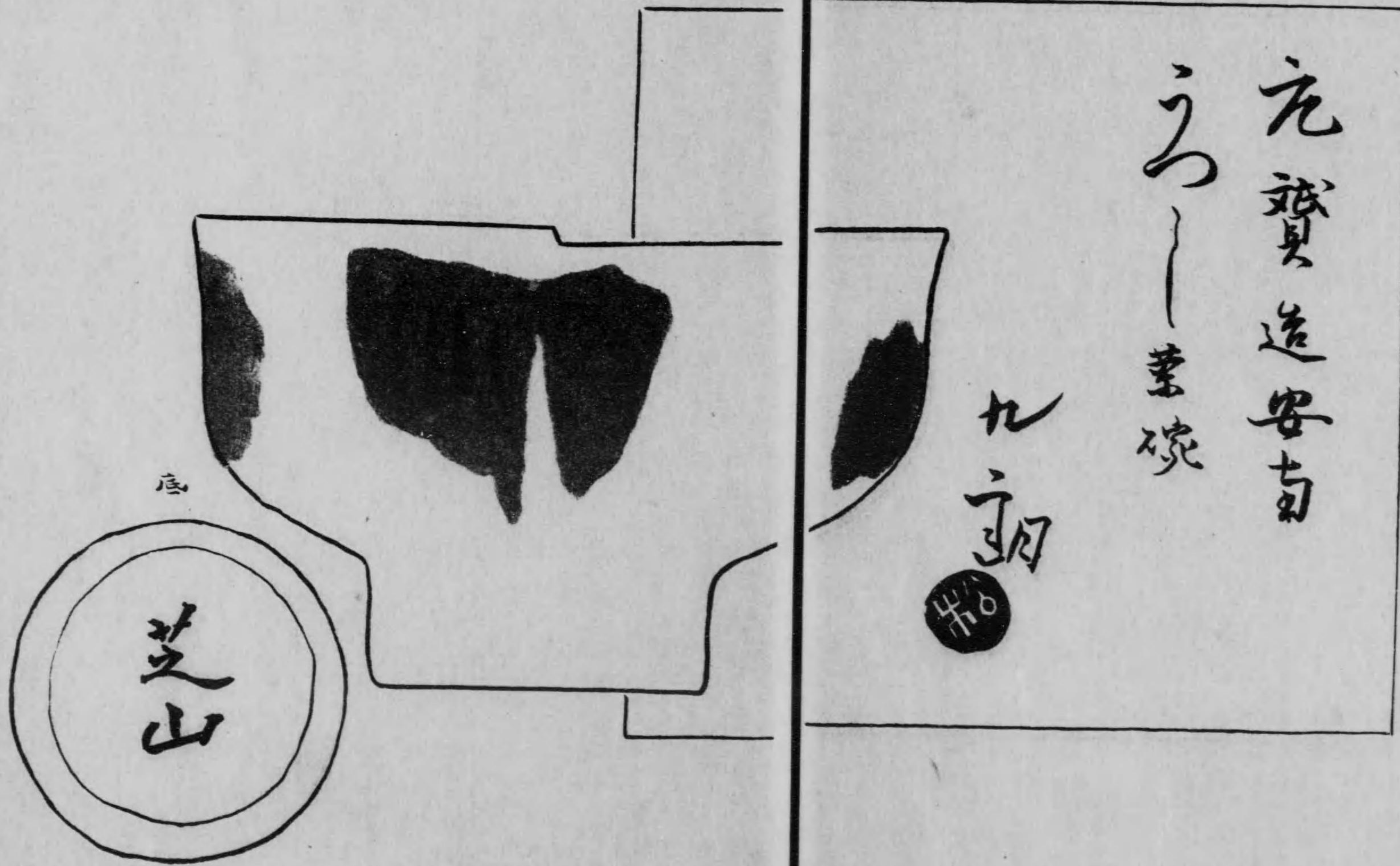
陳元贊の作  
廿南字系  
瓶  
形状寸法  
圖の如し

箱書

元贊造  
客書

うゝ  
葉碗

九朝



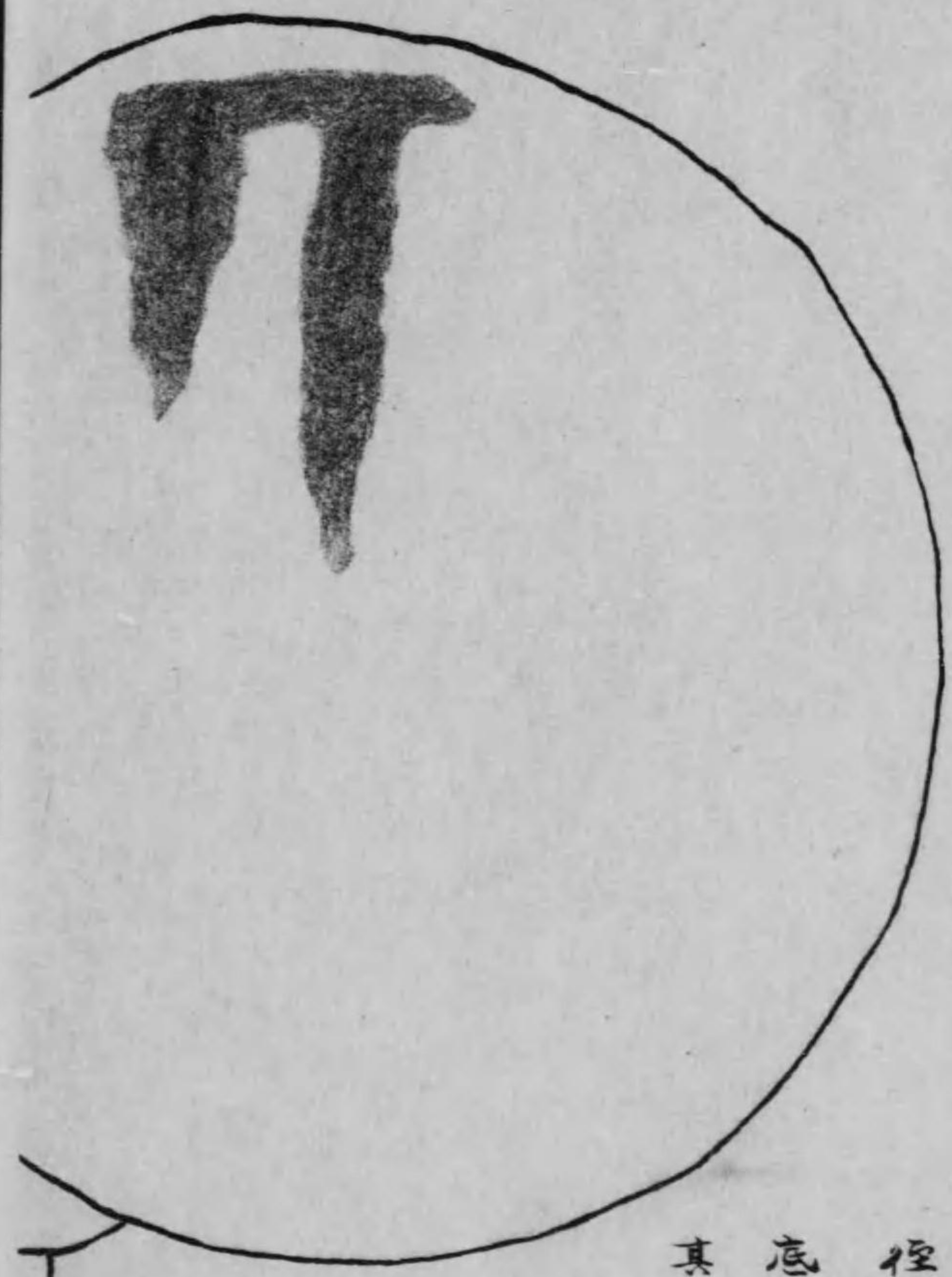
芝山

底

祖母懐の茶碗 尾加御座碗

地土萩山に於て深井釉成り一願係上好の  
器なり

銘 滝つ瀬

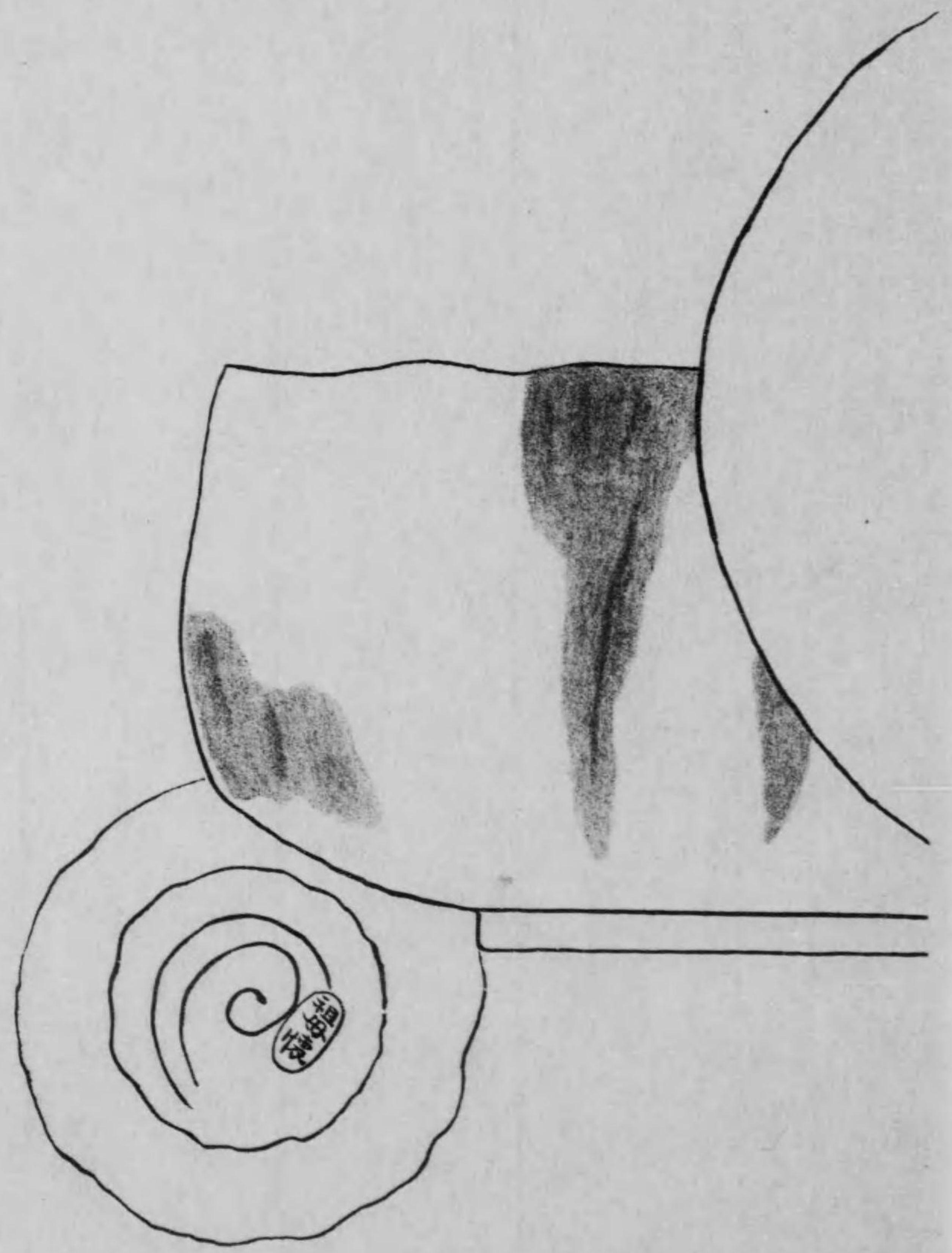


高 二寸四分五厘

径 四寸一分 三寸九分五厘 指四

底 二寸

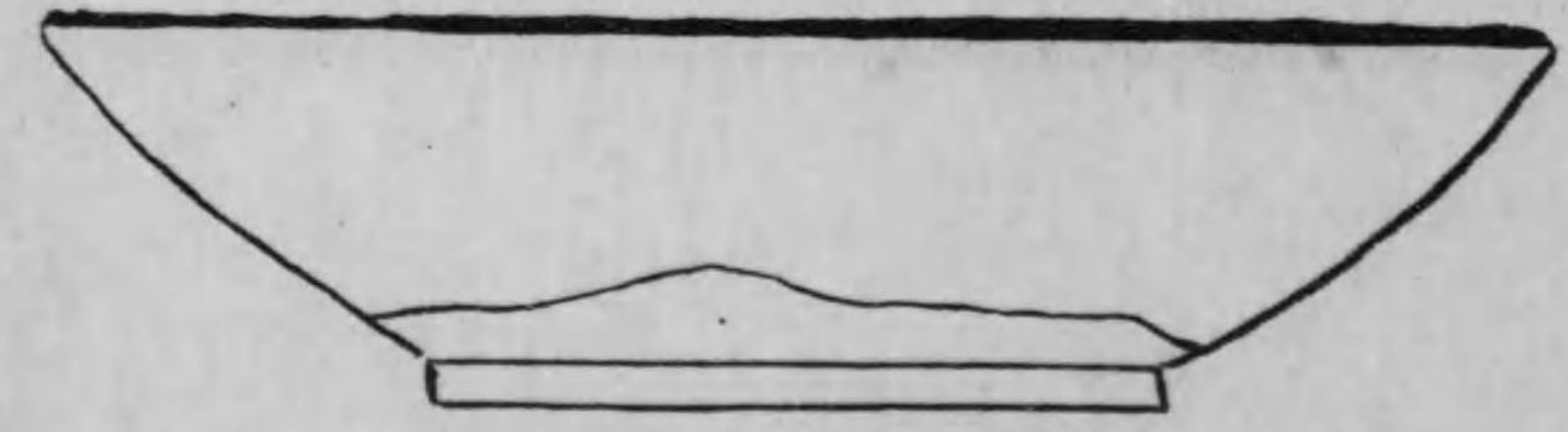
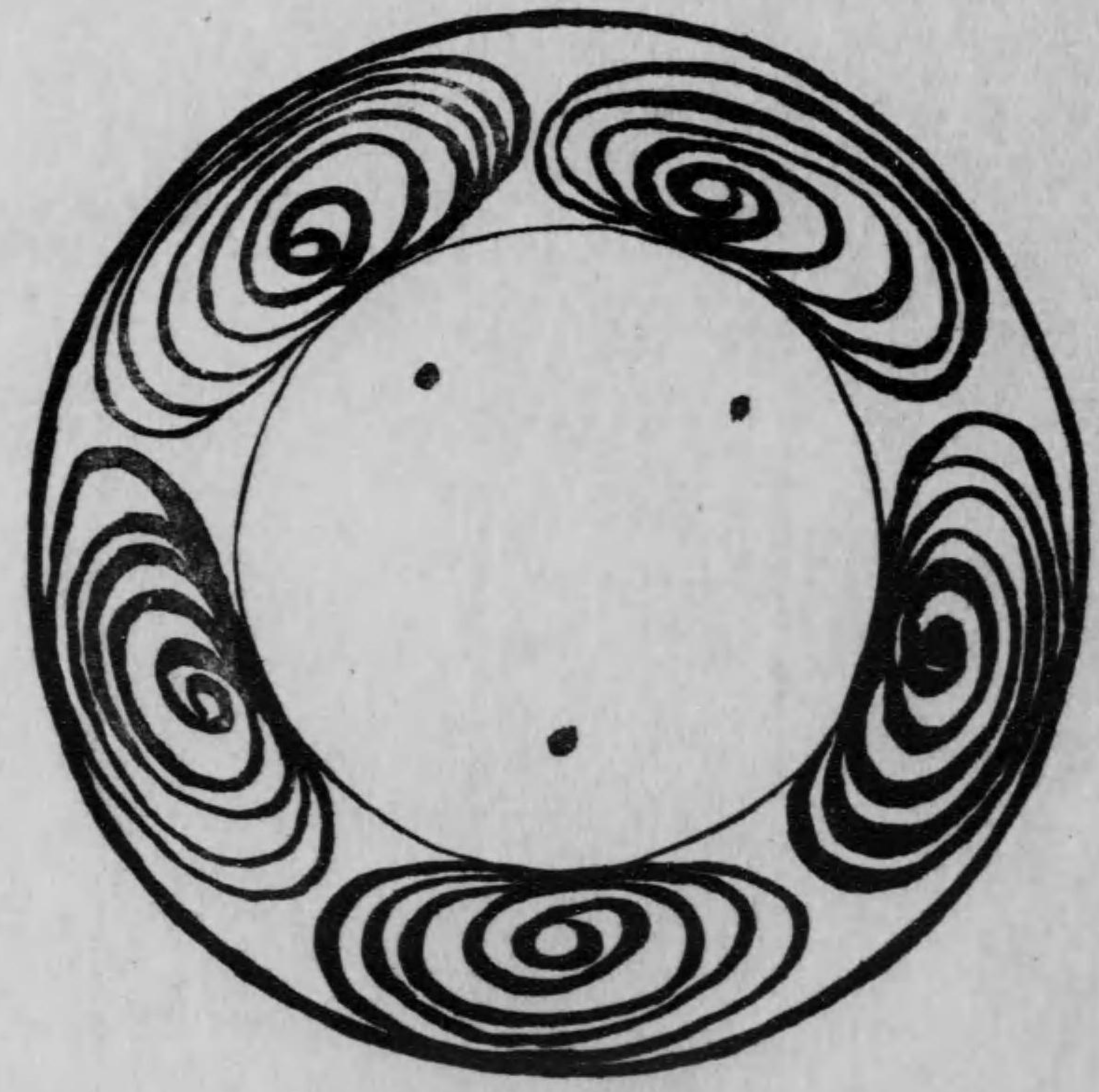
其他箇の如し





馬の目皿

但し寸法  
大中小本  
で形状本  
図の如し





山田廬山作龍見の観音

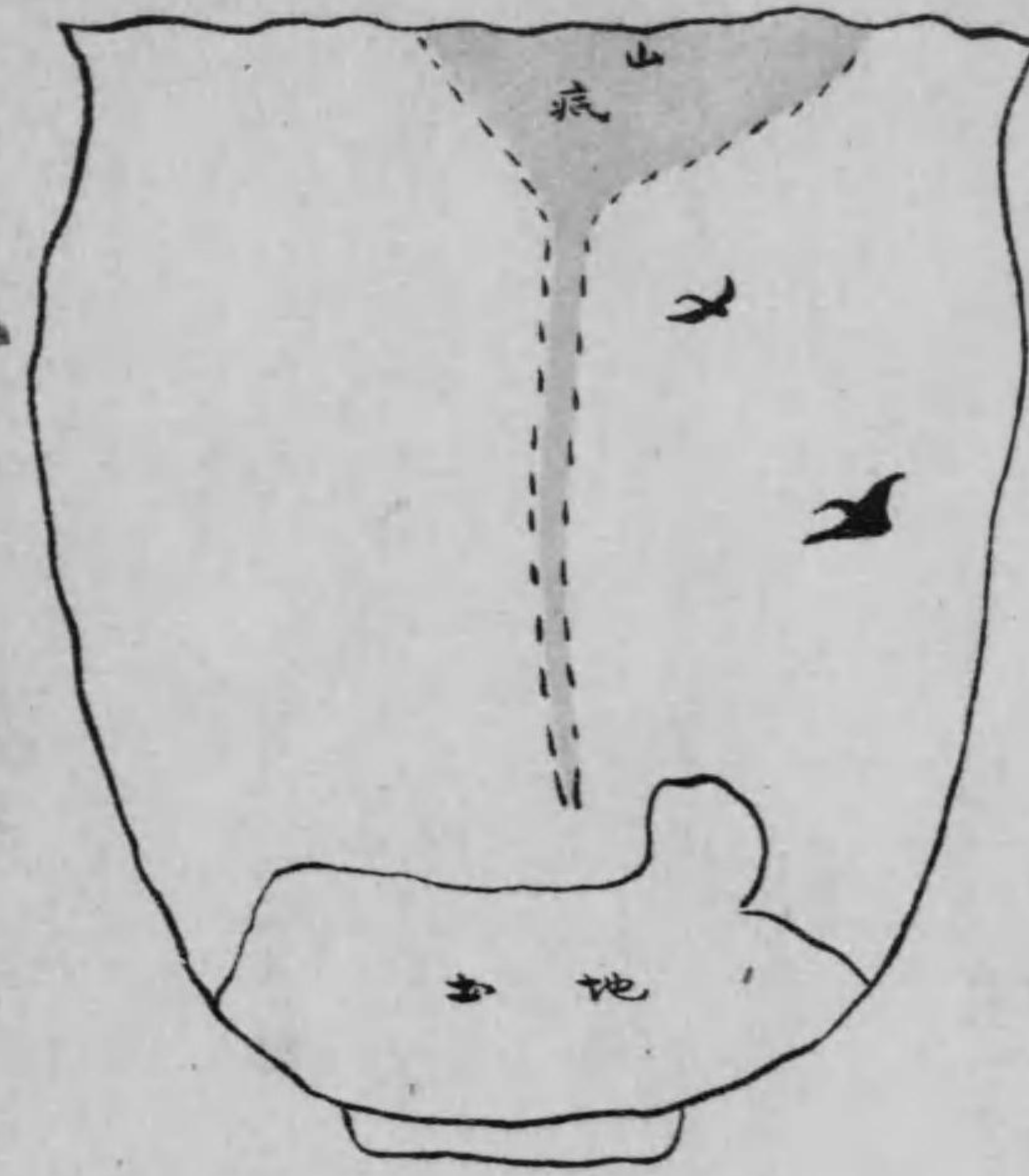
地質柔にして細葉以龍さば背面に左の印  
あり

廬山

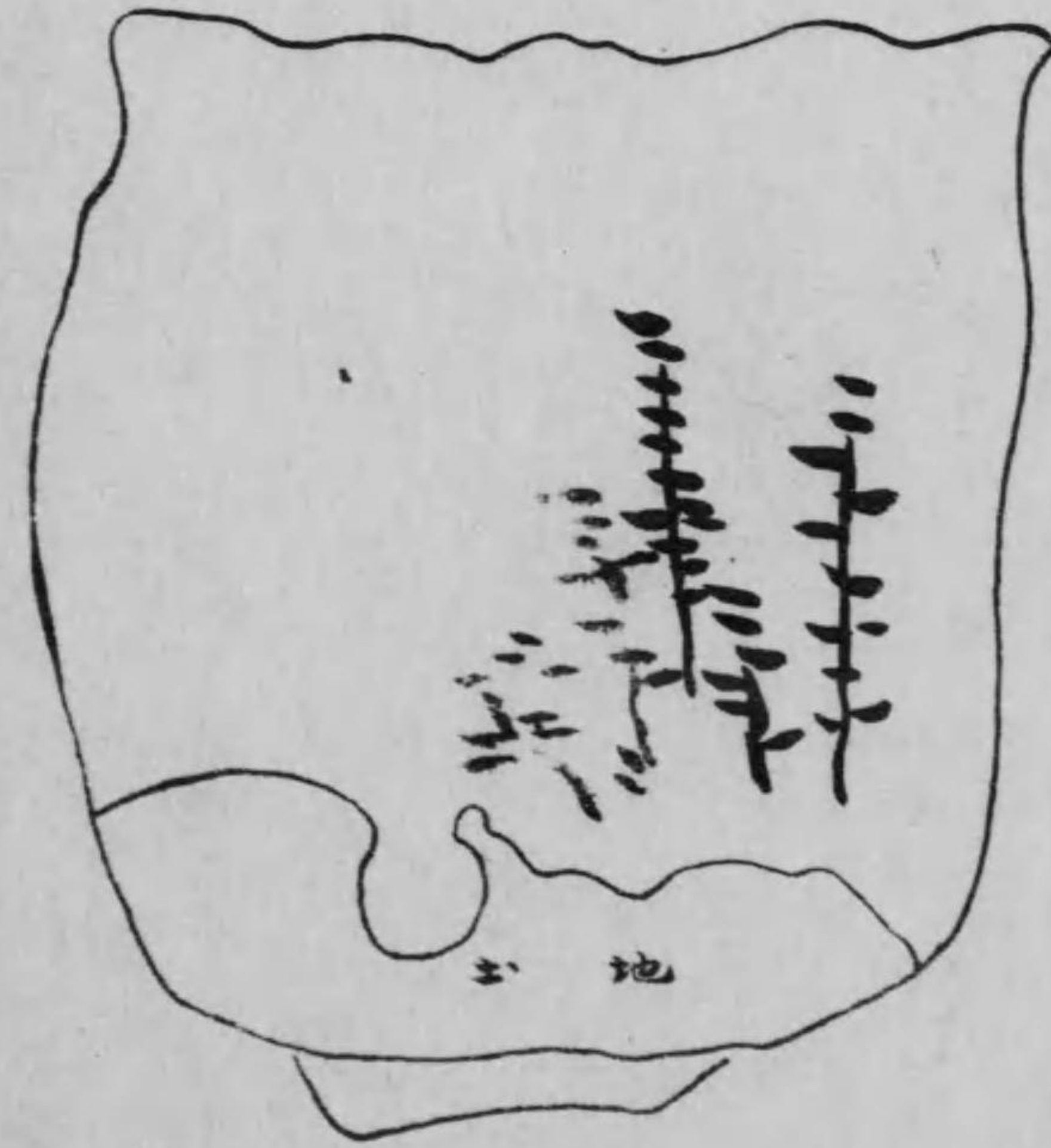
高七寸三分  
幅四寸八分  
其他圖の如し

九朗作志野茶碗

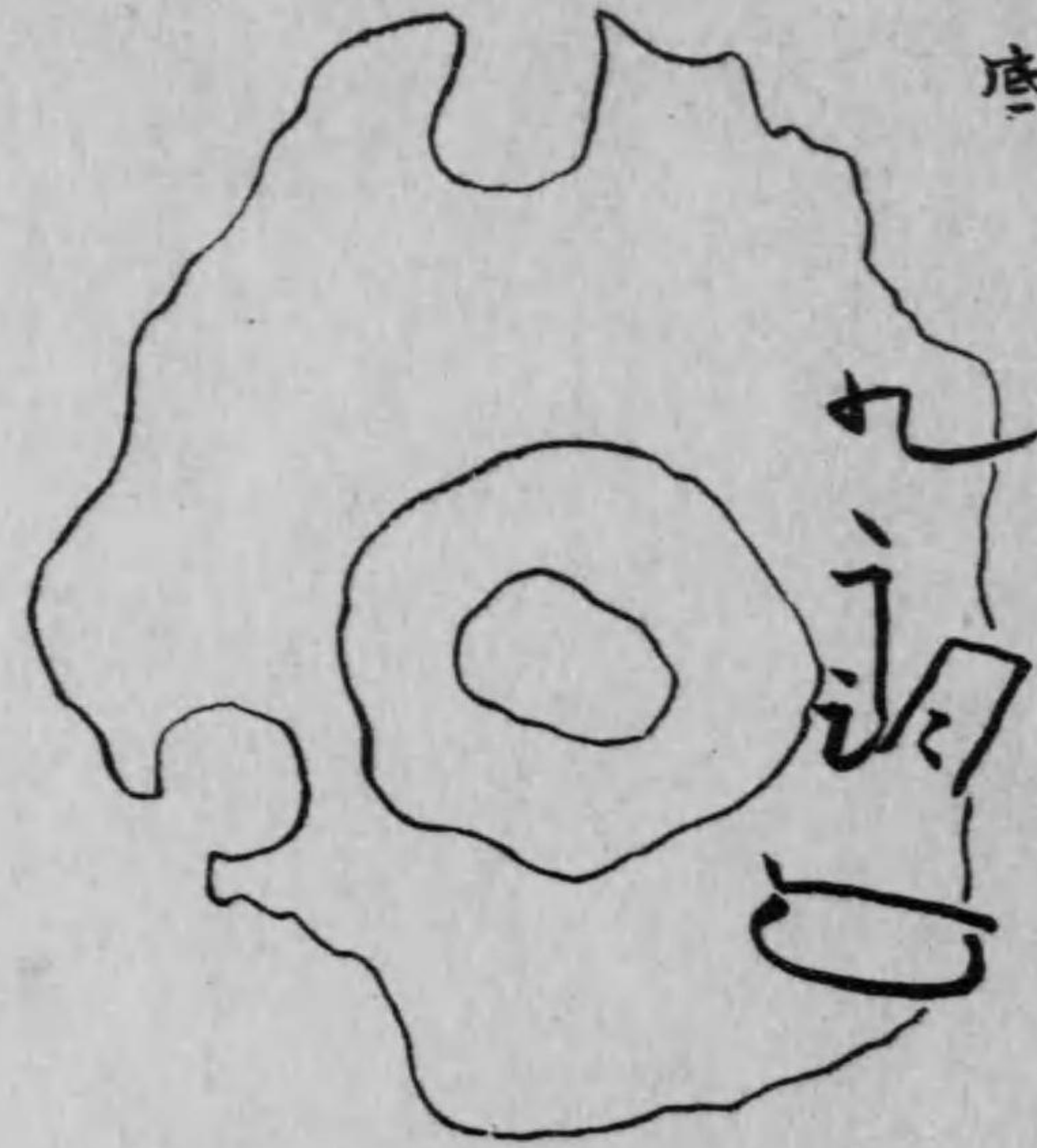
其一



高 三寸余  
 胸 三寸五分余  
 口径 三寸二分  
 指内 底 一寸二分  
 其他同の如し



底



其二

箱うらの書付

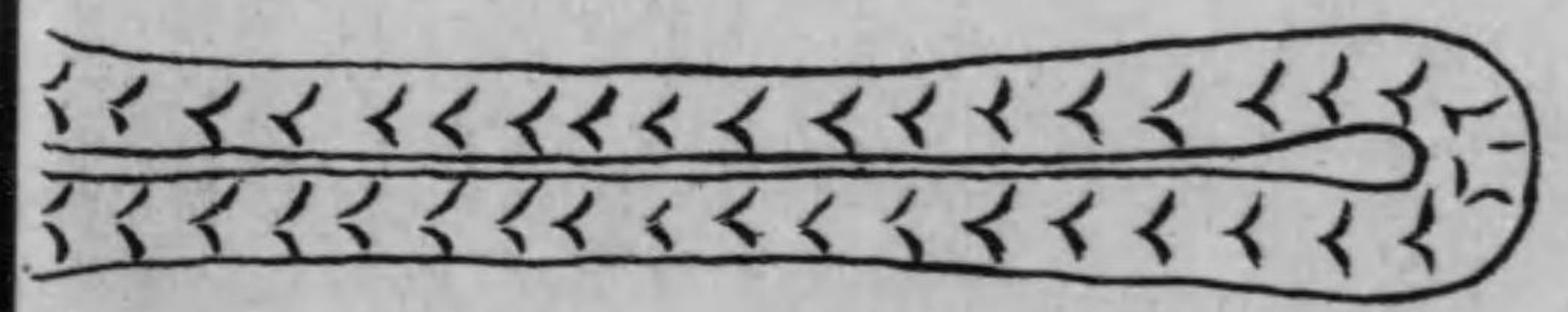
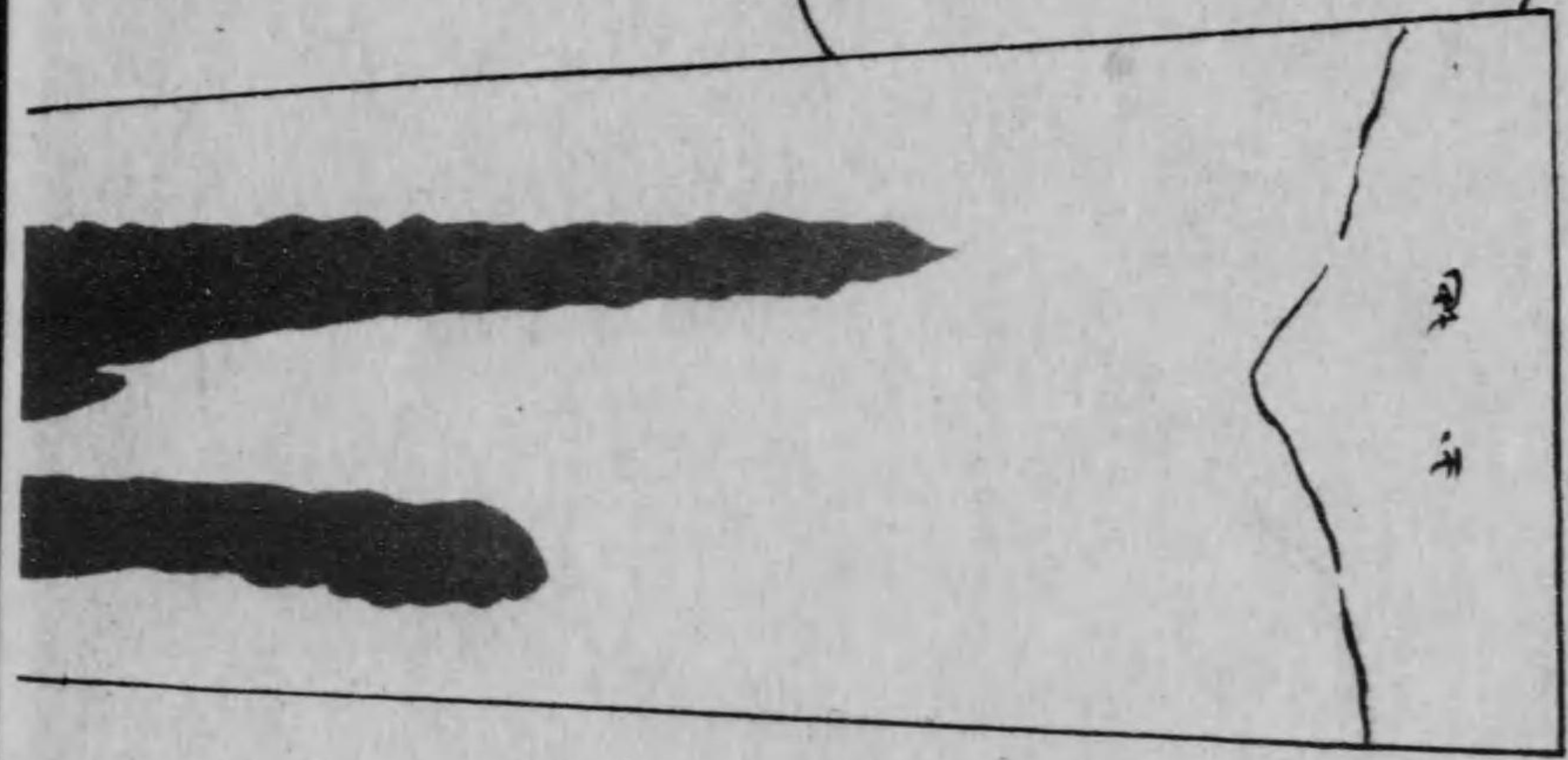
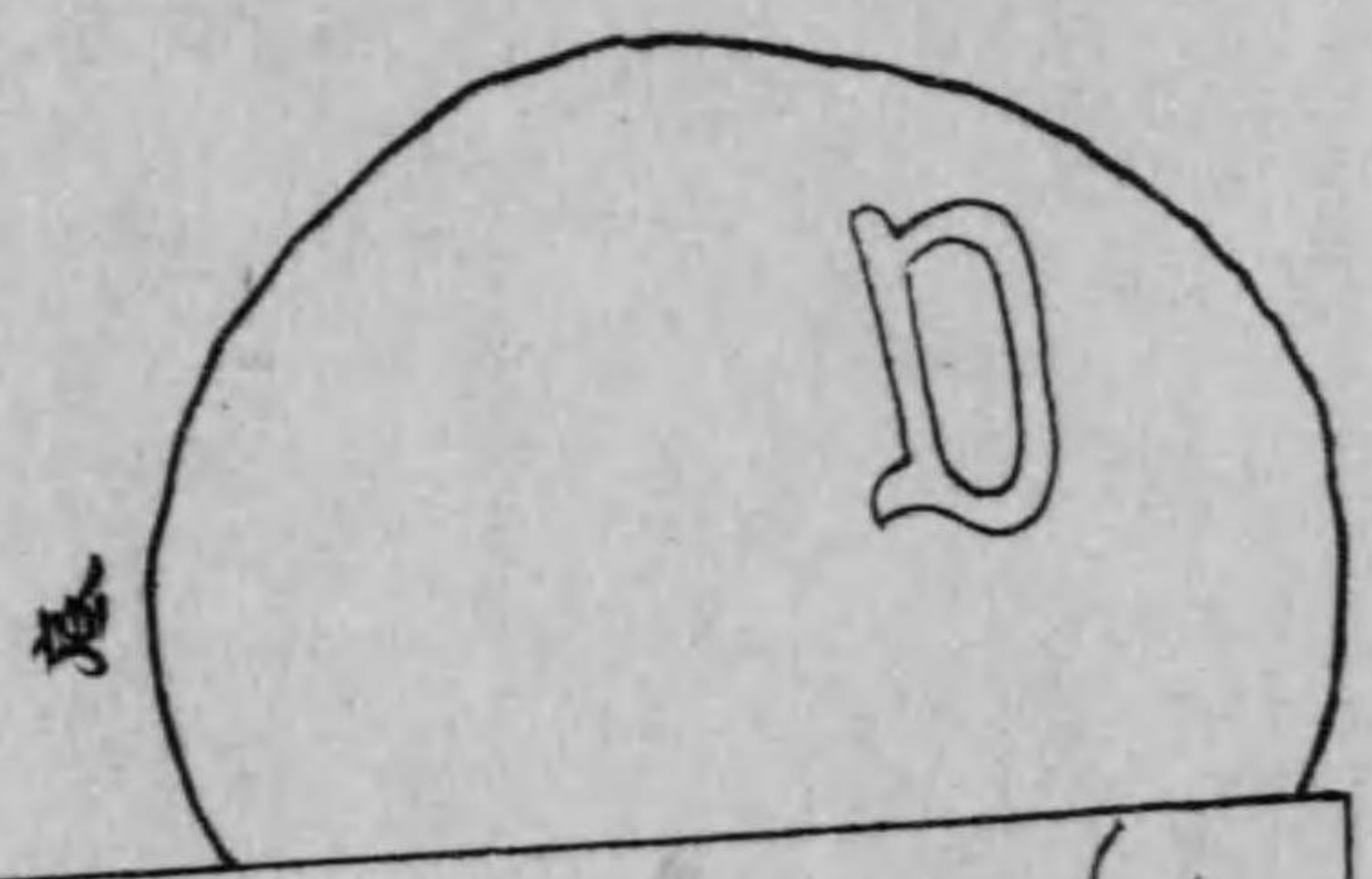
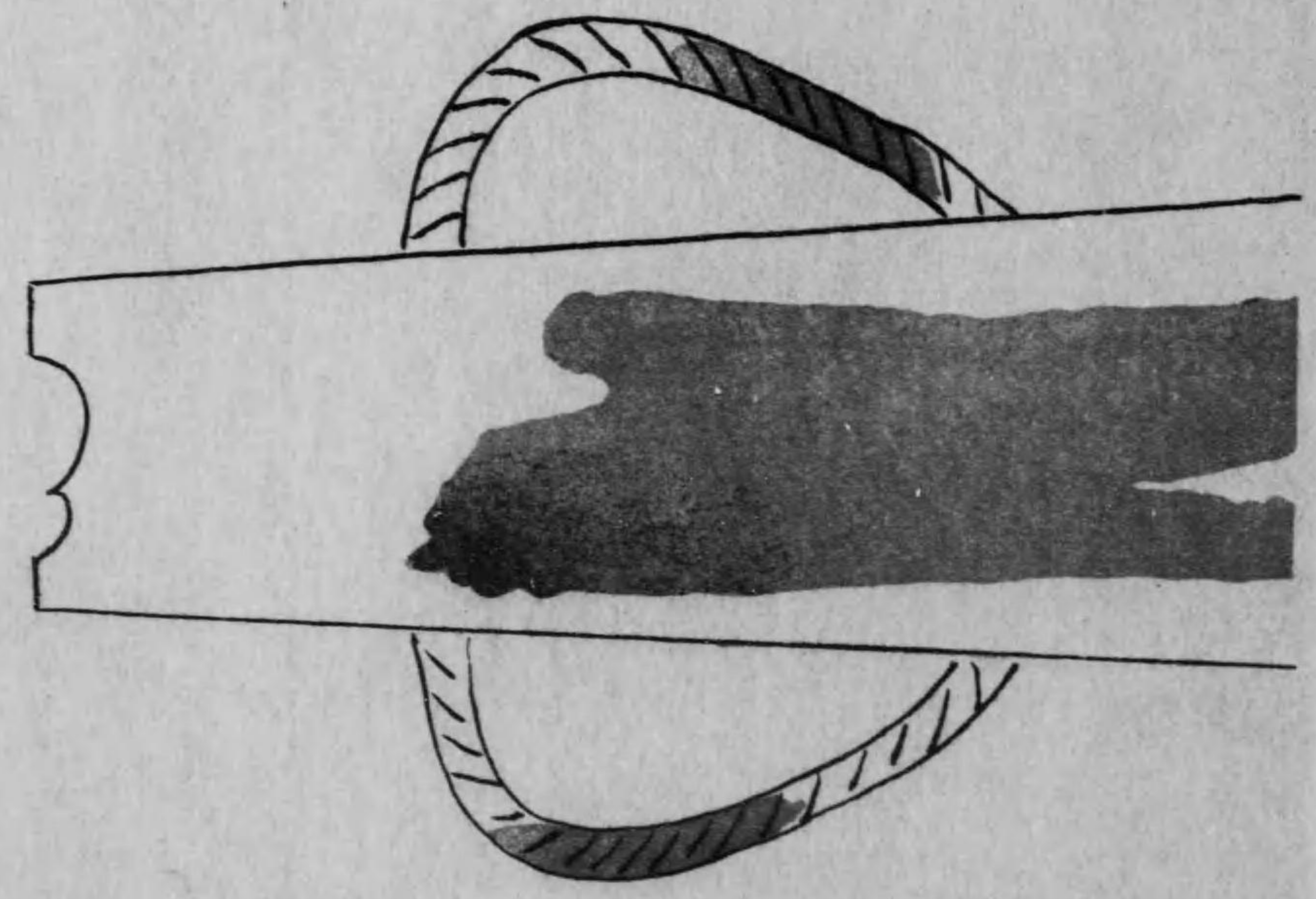
志野白造庵茶碗  
 我作てふ此ハ秘傳  
 心より子ト  
 天保九年夏月  
 六十七翁  
 九朗



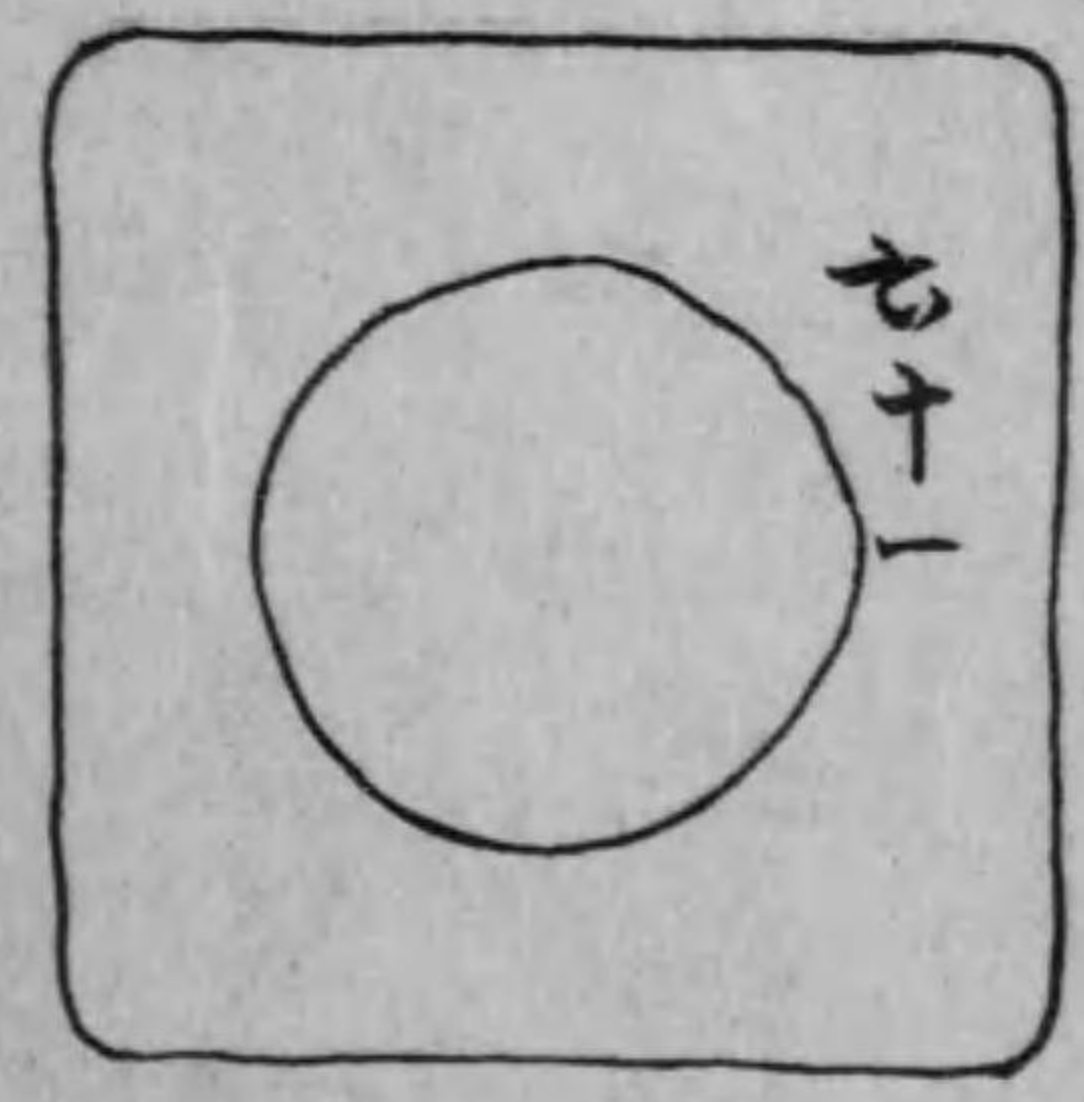
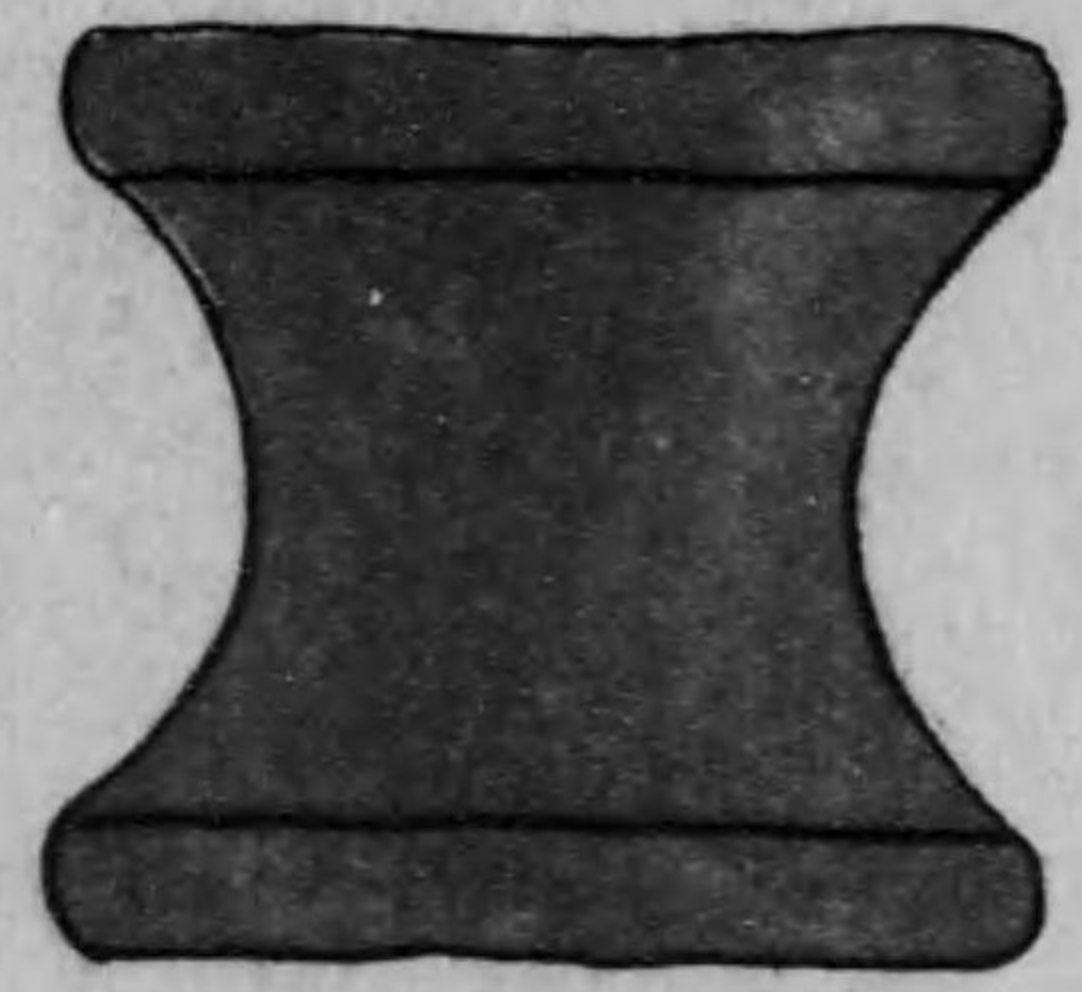
平氏九朗作

古瀬戸釉本の下位の彩生

形状を法本圖の如し



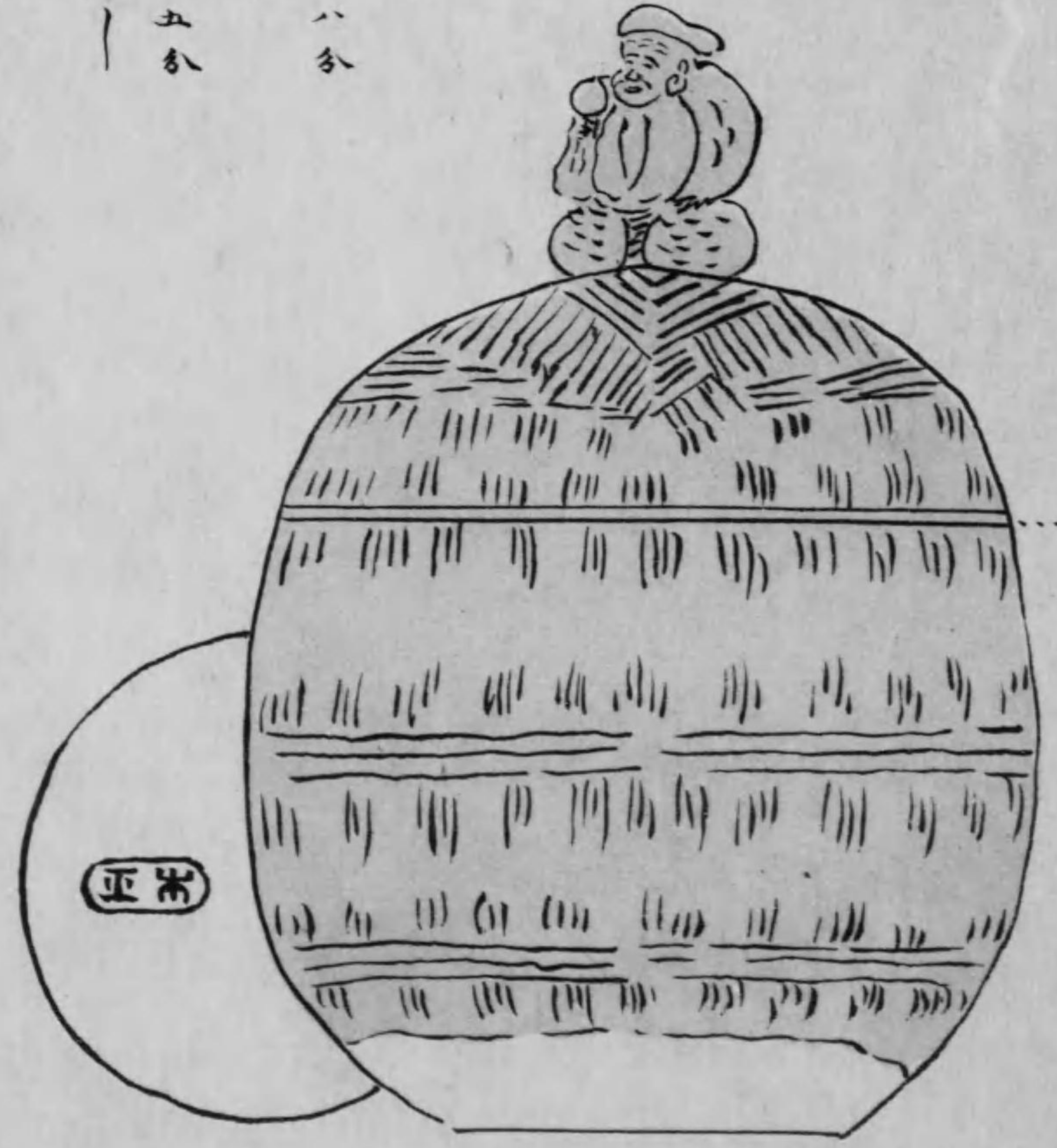
布袋堂喜樂作法深升細の蓋置



高 一寸五分  
 角 一寸七分  
 一寸六分五厘  
 底 九分

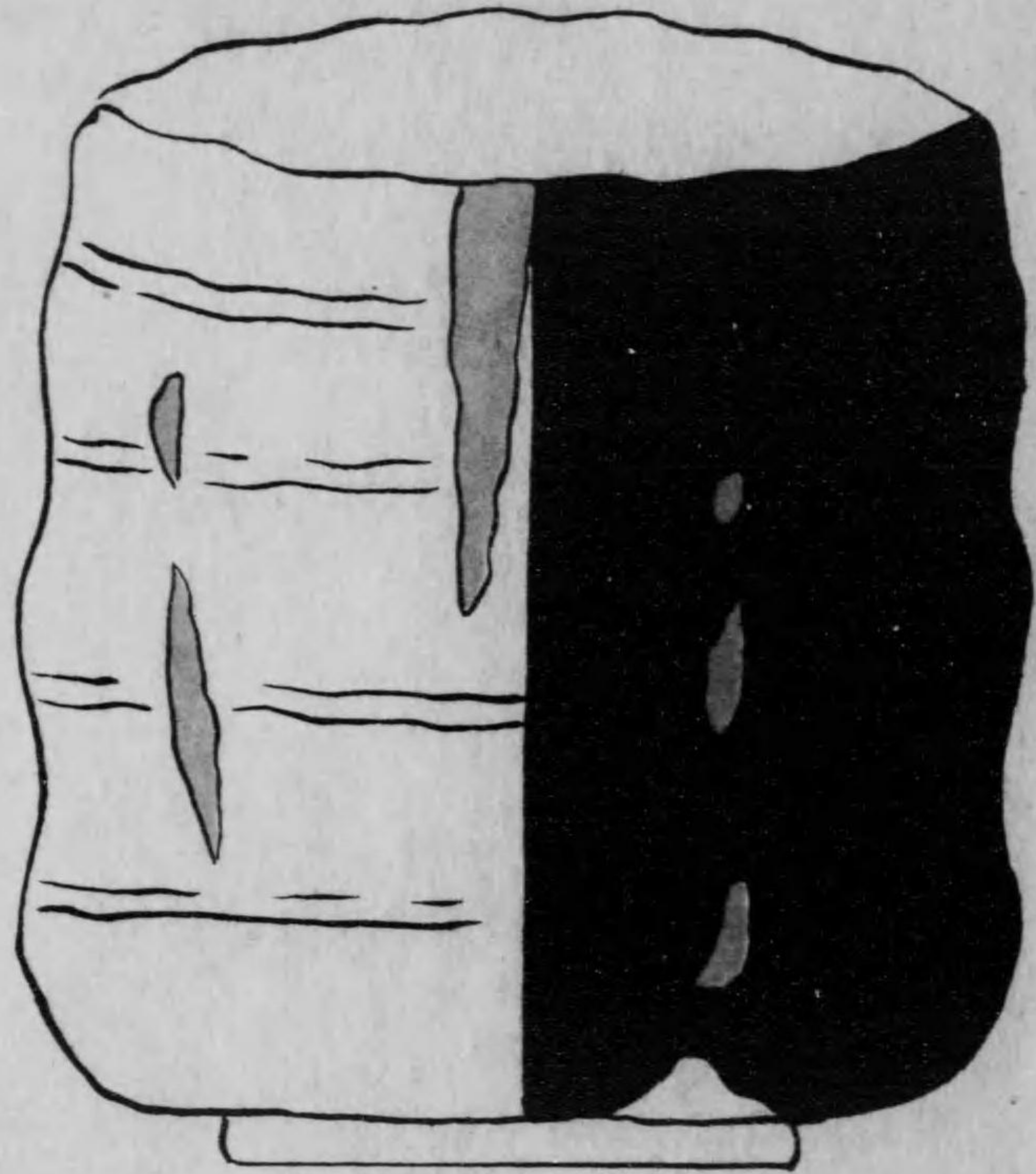
正不代作黄瀬戸の笠俵形置物

總高 三寸八分  
 胴 三寸  
 底 一寸五分  
 其他同の如し

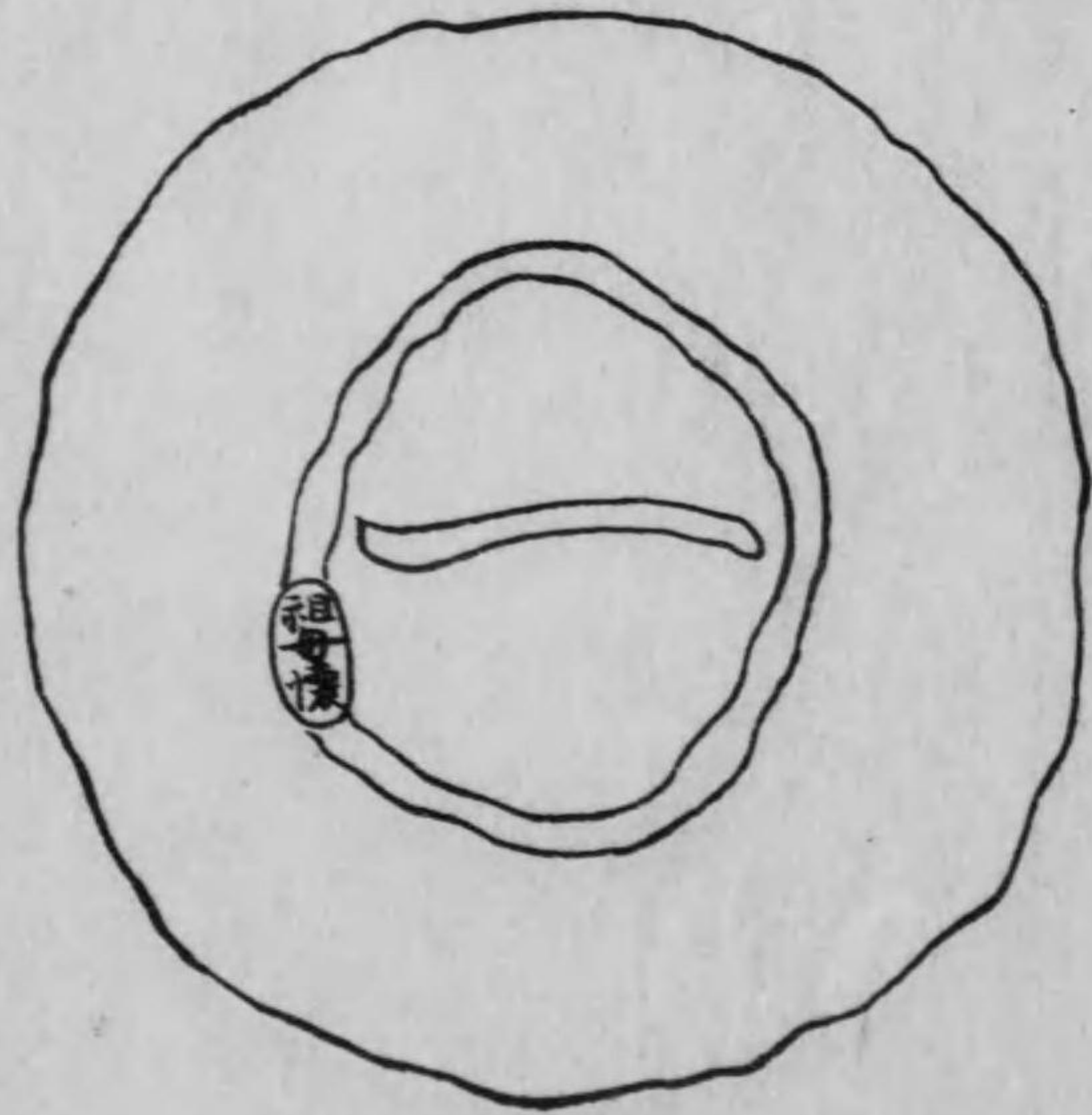


身蓋切合

高 三寸二分  
 径口 二寸八分  
 胴 三寸二分  
 底 一寸八分



底



正木 (代) 作  
 瀬戸黒  
 茶碗

裏箱

夜神樂也

月うけ長

豊馬帽子  
 号

癸卯仲冬

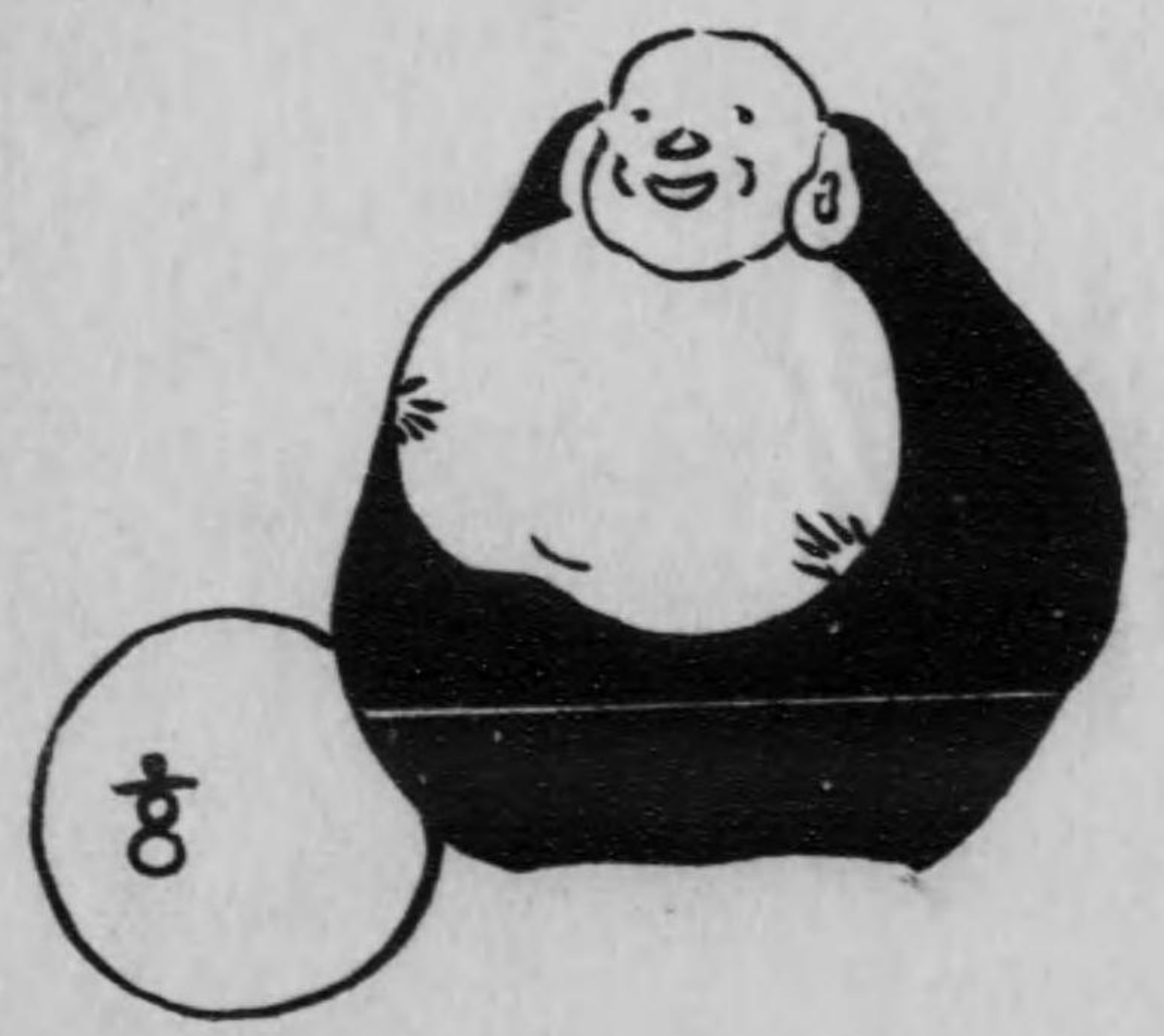
於金城中造之

著長



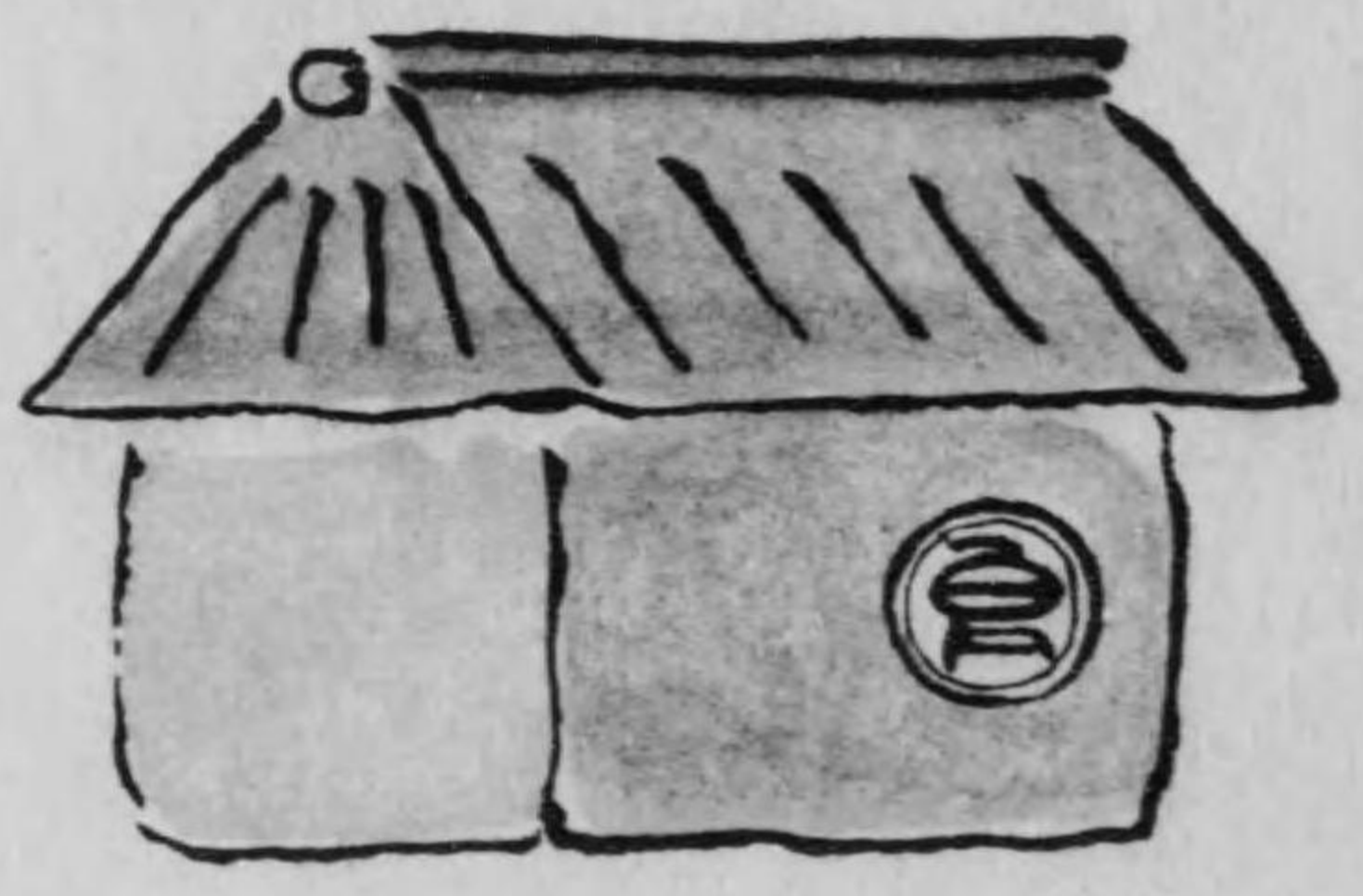
渡邊兵庫入道宗玄作黒細布袋の香合

形状寸法本圖の如し

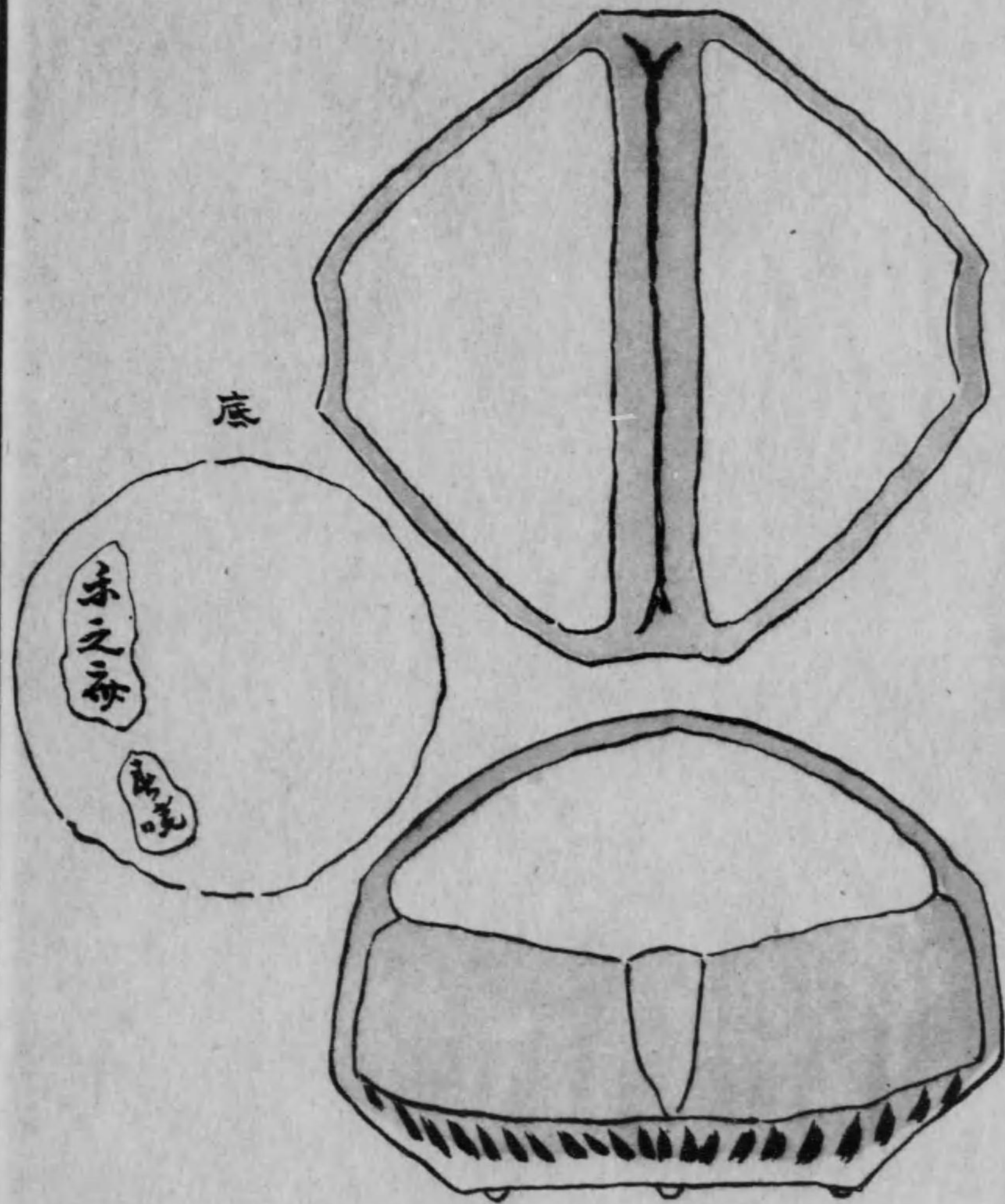


氷室長谷作法深井軸くも袋形の香合

形状寸法本圖の如し



春曉作織部細の子鉢



底	厚	口	腰	徑	深	高
五寸	三分	七分	五分二分	四寸	二寸	四寸

大正九年五月二十日印刷  
大正九年五月廿五日發行

(非賣品)

愛知縣東春日井郡瀬戸町ニッパ合併番地

編輯兼發行所 瀬戸陶磁工業同業組合

代表者 加藤祐右衛門

同縣中島郡一宮町貳百五十九番戸

印刷者 花雲堂主 村上敬一



7  
7  
11



11
375

終

